

# 洛書

RAKUSYO

— 令和元年度 研究紀要 —

札幌市学校図書館協議会

# 令和元年度研究紀要『洛書』

## 目 次

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ◆ もくじ                               | 1   |
| ◆ 巻頭言                               |     |
| 学校図書館の充実と一層の利活用を目指して ～今年度の活動を振り返って～ |     |
| 札幌市学校図書館協議会副会長 西川秀喜                 | 2   |
| ◆ 1. 令和元年度活動推進計画                    | 3   |
| 2. 令和元年度活動報告                        | 7   |
| ◆ 研究研修部                             |     |
| 1. 研究研修部                            | 11  |
| 2. 寄託図書研究部                          | 26  |
| 3. 学校図書館地域開放研究部                     | 27  |
| ◆ 事業部                               |     |
| 1. 感想文コンクール部                        | 31  |
| 2. 情報部                              | 32  |
| 3. 図書選定部                            | 33  |
| ◆ 会 則                               | 35  |
| ◆ 選定図書リスト                           | 39  |
| ◆ あと書き 札幌市学校図書館協議会 会長 富田 明好         | 101 |

## 令和元年度「洛書」巻頭言

学校図書館の充実と一層の利活用を目指して ～今年度の活動を振り返って～

札幌市学校図書館協議会 副会長 西川秀喜

令和元年度の「洛書」ができました。平成31年4月22日の総会で承認された活動計画に基づき、当協議会が一年間取り組んだ各部の活動報告がまとめられています。「洛書」は札幌市学校図書館協議会の研究紀要として毎年発行しておりますが、そこには、学校図書館運営の実務に関する情報や図書館を活用した授業の実践例など、学校図書館の充実と利活用につながる情報が掲載されております。

学校図書館に期待される機能と役割として、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の三つがあります。まず「読書センター」としては、本と親しみ読書を楽しむための指導に最も重要な役割を果たしています。豊かな感性と確かな言語能力を育み、生涯にわたる読書生活の基礎を形成する場として、今後もその重要性は変わりありません。札幌市読書感想文コンクールには、今年も大変多くの学校から御応募いただきました。日頃から地道に子どもたちの読書指導に御尽力いただいていることに感謝申し上げます。読書によって感動を味わい、自分と異なる考えを理解し、自らの考えをさらに深めることを体験する。さらに、その体験を通して得た自分の思いを言葉にすることで、子どもたちに伝える力を育むことができます。「洛書」の「選定図書リスト」には、子どもたちに読んでほしい本が校種や学年ごとに紹介されています。毎月2回の選定会で、選定委員が実際に手に取って読み、議論の結果選ばれたものです。一人でも多くの子どもたちが読書の楽しさを体験できるよう、活用していただきたい情報です。

また、札幌市学校図書館協議会の活動方針には、「札幌市の特色ある教育を進めるための研修・研究の充実」を掲げています。具体的には、実務研修として司書教諭や学校図書館司書の基礎的な実務の具体例等を伝えていくこと、また、「学習センター」「情報センター」としての役割や学び方の指導についての研究を深め、授業研究を通じて教育課程に寄与することを目指して活動に取り組んでいます。学習指導要領においても、学校図書館の機能と役割について、「読書センター」に加え、「学習センター」「情報センター」として位置付けられ、計画的な利用によってその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させることが求められています。子どもたちが自ら学びに向かい、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造していく「主体的・対話的で深い学び」を実践する場として、学校図書館が大きく期待されているのです。札幌市学校図書館協議会では、実務研修と授業研究を通じて、学びを支える学校図書館の在り方について情報を発信してきました。

今年度の実務研修会は、図書館運営についての講演会と図書館クリニックを実施しました。講師には札幌市立もみじの森小学校司書教諭の安藤理恵子氏をお招きし、図書館クリニックでは北海道立図書館の小川靖子氏にご助言をいただき札幌市立常磐中学校の図書館をリニューアルしました。また、授業研究では、札幌市立屯田北中学校においてに第42回札幌市学校図書館協議会研究大会を開催しました。授業者の松森亮介教諭が学校図書館司書の堀内久美子さんとの連携により、生徒一人一人の情報活用能力の基礎を身につける学習が展開されました。授業づくりでは、事前の参考図書資料一覧の作成に対するサポートや、資料を探す生徒に対するアドバイスなど、学校図書館司書が図書館を活用した課題探究的な学習に不可欠な存在であることが再確認されました。さらに、今年度は高等学校研究部を代表して、市立札幌旭丘高等学校の藤原國晃教諭による、「高等学校における学校図書館の利用について」という発表がありました。

このように札幌市学校図書館協議会では、研究研修と各事業を通して学校図書館の一層の充実発展と、札幌市の特色ある教育の推進に寄与することを目指して活動しております。その活動を記録し、貴重な情報を提供すべく作成しております「洛書」を是非ご一読ください。

最後になりましたが、今年度も札幌市教育委員会をはじめ幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の教職員の皆様や教育関係諸団体及び協賛各社の多大なる御支援と御協力をいただきましたことを、この場をお借りし深くお礼申し上げます。

# 推 進 計 画

はじめに

札幌市では「札幌らしい特色ある学校教育の推進」の中で生涯にわたる学びの基盤として【読書】を取り上げ、教育の柱として取り組んでいる。そのために、中学校への学校図書館司書の配置、さっぽろっこ読書プラン（第3次子どもの読書活動推進計画）の策定などの方策がとられている。このような状況の中、一斉読書として朝読書を行う学校がほとんどとなり、読書に目を向ける学校も増えた。

しかし、新学習指導要領に謳われる「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす」ためには、一斉読書だけでなく、教科・領域の学習と結び付けた読書指導や学び方の指導、資料活用学習に広げていくことが必要である。

そのためには司書教諭や学校図書館司書の活躍が不可欠である。しかしながら、多くの司書教諭や学校図書館司書が、どう活動すればよいのかわからなかったり、学校事情で継続的に担当することができなかったりなど、まだまだ十分に活動できる環境とはいえない。

本会では、これまでも司書教諭を対象にした実務研修を行い、司書教諭の取組に寄与してきた。また、すべての教師が学校図書館を有効に活用しながら読書指導や学び方の指導、資料活用学習に取り組んでいけるよう授業実践研究を行ってきた。

これらを踏まえ今年度は、「学校教育を支え、生きる力を培う学校図書館の充実」のために以下の2点を重点として、活動していきたいと考えている。

## 取 り 組 む の 重 点

### 1 札幌市の特色ある教育を進めるための研修・研究の充実

- 実務研修などで、学校図書館における司書教諭や学校図書館司書の基礎的な実務の具体例を伝えていく。
- 授業研究を通して、「学習センター」・「情報センター」としての役割や学び方指導等を学び、教育課程に寄与できるようにする。
- 司書教諭や学校図書館司書の交流機会を設け、日常の読書活動が充実するよう、学校図書館の活用の仕方について実践を通して検証し、広く発信していく。

### 2 家庭・地域社会・公共図書館との連携のあり方の検討

- 開放図書館、公共図書館との効果的な連携や地域ボランティアとの協働について具体例を収集し、発信していく。

これらの重点の実現のため、研究部・事業部それぞれが以下のように取り組みを進めていく。

## ○研究部計画

### 研究主題

# 「未来を拓く力を育む学校図書館」 ～学びを支える学校図書館を目指して～

#### 1 主題の解説

近年、学校教育の中で「読書活動」の重要性がクローズアップされ、注目されている。現行の学習指導要領（平成20年改訂・小学校23年、中学校24年全面実施）で「言語活動の充実」が謳われたことや、朝読書の活動の広まりなどがその一因と考えられる。子どもたちは読書活動を通して、読む力を高め、豊かな人間性を育んでいる。

子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業の在り方そのものも大きく変化する可能性が指摘されている。このように変化が激しく、未来が不透明な今の社会において、子どもたちが自立して生きていくためには、「生きる力」を育む必要がある。多くの情報が溢れる社会に対応するために、子どもたちがこれまで学んできた知識や技能を活用して、自ら考え、判断し、表現する学習を積み重ねていくことで「生きる力」が育まれると考えられる。現行の学習指導要領は、この理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視している。

新学習指導要領(平成29年)では、「何を学ぶか」という知識の質・量の改善に加え、「どのように学ぶか」という学びの質を重視している。社会とのつながりを意識した「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」を実現し、子どもたちが社会の激しい変化の中でも何が重要か判断でき、多様な人々と協働して問題を解決し、新たな価値を創造していく力を育んでいく必要がある。子どもたちの学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していくための視点としていわゆる「アクティブ・ラーニング」が提示されているが、その実施には、「学習センター」・「情報センター」としての「学校図書館」が効力を発する。

また、新しい時代に必要となる資質能力のひとつとして「どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵養）」があげられている。読書活動は豊かな感性を養い、思考を深め、豊かな心と創造力を育んでいくと考えられており、学校図書館がもつ「読書センター」としての機能も更に重視されていくと考えられる。学校図書館は子どもが楽しんで自発的に自由な読書を行うための場でもある。読書を通して子どもたちが身に付けた力は自らの生活を豊かにし、未来を拓くエネルギーとなって子どもたちに蓄積されていく。豊かな情操を育み調和のとれた人間へと成長し、社会や他者とつながって未来をたくましく生き抜く力を身に付けるために、学校図書館の充実・発展は不可欠なのである。

以上のことから、これからの学校図書館では、「読書センター」としての機能を充実させるとともに、「学習センター」・「情報センター」として、学び方の指導を通して探究的な学習を支え、「生

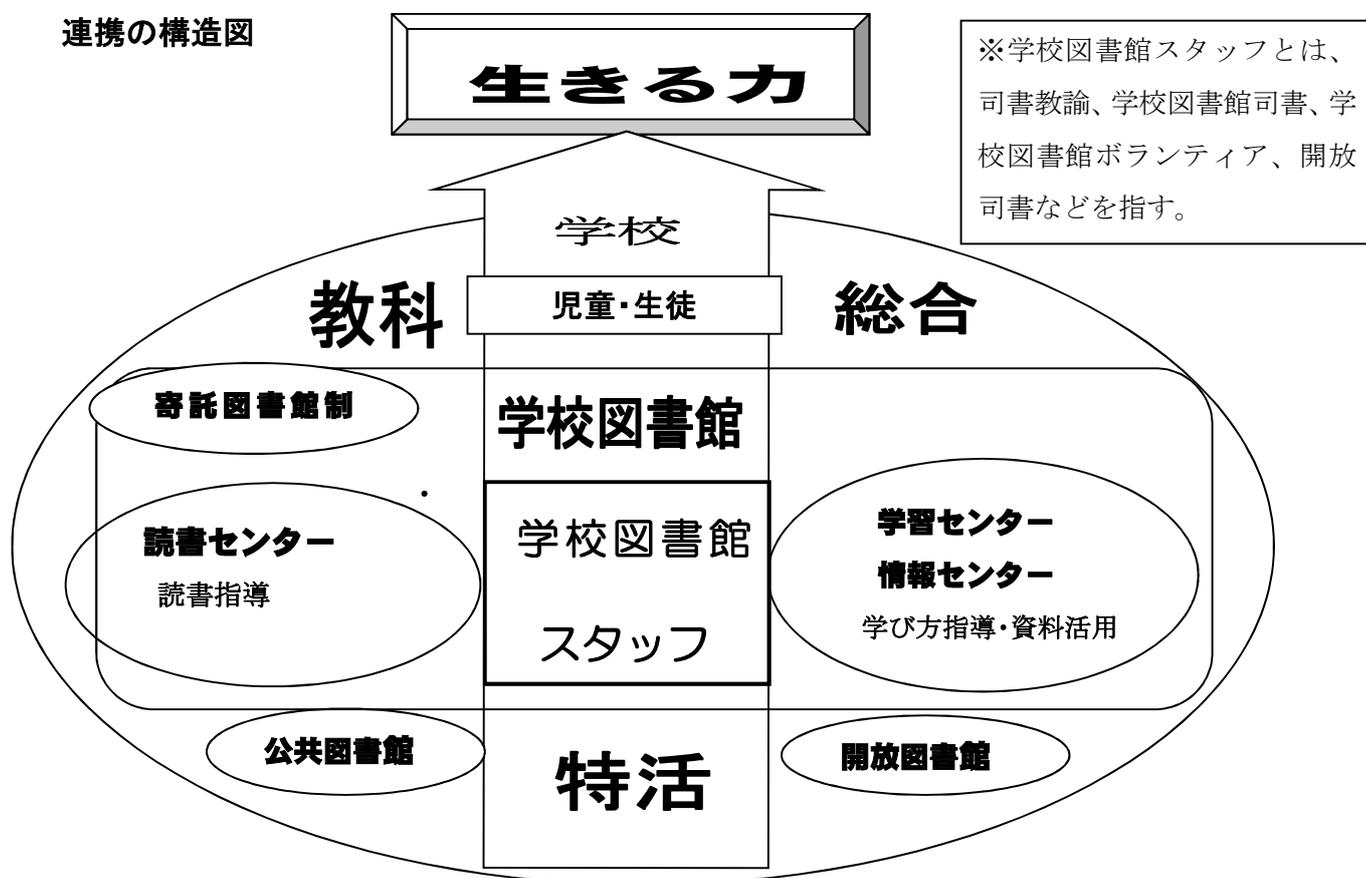
きる力」を育む教育課程の展開に寄与しなければならない。このような研究と実践を通して、子どもたちが様々な世界とつながりながら学ぶ楽しさを味わってほしいと考える。

ここ札幌市では、中央図書館を中心とした地区図書館・区民センター図書館・地区センター図書室と学校図書館の連携、札幌市えほん図書館の整備、寄託図書館制度、学校図書館地域開放事業、中学校への学校図書館司書の配置など学校図書館の充実に取り組んでいる。このような読書環境の中、子どもたちが自らの力で学び取ったことを生かし人、物、地域などにつながる「生きる力」を育み、読書を通じて一人一人の子どもの豊かな心を培う学校図書館の役割を大切にしたいと考え、本研究課題を設定した。

### 研究の重点

- (1) 多様な学習を支える「学習センター」・「情報センター」としての学校図書館の研究
- (2) 豊かな心を育む「読書センター」としての学校図書館の研究
- (3) 司書教諭、学校図書館司書や学校図書館スタッフの役割と、その協働のあり方についての研究
- (4) 学校間ネットワーク・地域・公共図書館・家庭との連携のあり方についての研究
- (5) 特別な支援を必要とする児童・生徒を支える学校図書館の研究
- (6)

### 連携の構造図



## ○研修について

| 回数   | 日時       | 実施場所(講師名)  | 内容                                  |
|------|----------|--|-------------------------------------|
| 第1回  | 4月22日(木) | 札幌市中央図書館<br>●講師<br>札幌市立<br>もみじの森小学校<br>司書教諭<br>道SLA研究部員<br>安藤 理恵子氏 | 講演<br>はじめよう 図書館運営<br>～一年の見通しをもとう～   |
| 第2回  | 7月26日(木) | 未定(今年度は中学校)<br>●講師<br>北海道立図書館<br>未定                                | 「学校図書館クリニック10<br>～みんなで図書館をリニューアル!～」 |
| 研究大会 | 12月)     | 第42回研究大会<br>未定<br>今年度は中学校の予定                                       |                                     |

## 2 令和元年度 札幌市学校図書館協議会 活動報告

平成 31 年度としてスタートし、年度途中で令和元年度へと改元された今年度の札幌市学校図書館協議会の活動は、「未来を拓く力を育む学校図書館 ～学びを支える学校図書館を目指して～」を研究主題とし、2 回の実務研修会と北海道学校図書館研究大会旭川大会での提言発表（中学校・学び方の指導）、第 42 回札幌市学校図書館研究大会の開催等を推進してきた。このほか事業として、第 65 回札幌市読書感想文コンクールを行い、札幌市中央図書館において表彰式を開催した。

### 活動日・活動内容

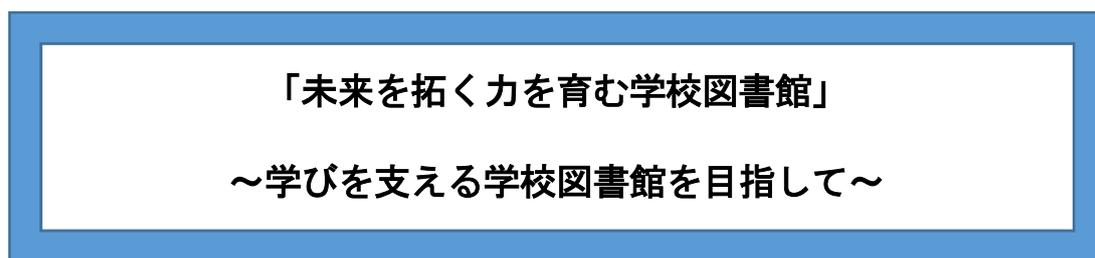
- 4 月 1 1 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 4 月 1 6 日（火） 第 1 回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・総会準備。今年度活動方針の確認。研究推進。
- 4 月 2 2 日（月） 札幌市図書館協議会総会 〈会場 札幌市中央図書館〉  
・研究主題。各部計画。役員選考提案・承認。  
・会計報告。予算案提案・承認。  
第 1 回実務研修会 〈会場 札幌市中央図書館〉  
・「はじめよう 図書館運営～一年間の見通しをもとう～」  
講師 札幌市立もみじの森小学校 司書教諭 安藤 理恵子 氏
- 4 月 2 5 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 5 月 9 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 5 月 1 3 日（月） 第 2 回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・各部年間計画・細案検討。図書館クリニックの検討。研究推進。
- 5 月 2 3 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 5 月 2 4 日（金） 旭川提言に向けた第 3 回中学校研究部会 〈会場 八条中学校〉
- 6 月 1 3 日（木） 第 3 回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・図書館クリニックの検討。読書感想文コンクールの検討。研究推進。
- 6 月 1 3 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 6 月 2 7 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 7 月 5 日（金） 第 4 回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・図書館クリニック確認。読書感想文コンクールの検討。研究推進。
- 7 月 9 日（火） 旭川大会提言に向けた第 4 回中学校研究部会 〈会場 八条中学校〉
- 7 月 1 1 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 7 月 2 5 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 7 月 2 6 日（金） 第 2 回実務研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・「図書館クリニック ～みんなで図書館をリニューアル！～」  
・「百科事典を使いこなそう ～ポプラディアの活用例～」  
講師 株式会社ポプラ社 西山 朋光 氏  
教育コンテンツ事業局 教育コンテンツ営業部 東日本エリア  
シニアディレクター  
助言者 小川 靖子 氏（北海道立図書館総務企画部企画支援課主査）
- 8 月 8 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 8 月 1 9 日（月） 旭川大会提言に向けた第 5 回中学校研究部会 〈会場 八条中学校〉
- 8 月 2 2 日（木） 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉

- 9月12日(木) 読書感想文コンクール 1次審査会 〈会場 八条中学校〉  
図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 9月18日(水) 旭川提言に向けた第6回中学校研究部会 〈会場 清田中学校〉
- 9月26日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 10月 2日(水) 読書感想文コンクール 2次審査会 〈会場 八条中学校〉  
・佳作賞、優良賞、特別賞、学校賞の決定(案内状発送)
- 10月 4日(金)～5日(土)  
第43回北海道学校図書館研究大会 旭川大会 参加協力  
・中学校 学び方の指導 提言 佐藤 菜保 教諭(清田中学校) 他
- 10月10日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 10月17日(木) 第47回中学生作文コンクール 1次審査会 〈会場 真駒内中学校〉
- 10月21日(月) 第47回中学生作文コンクール 2次審査会 〈会場 真駒内中学校〉
- 10月24日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 10月25日(金) 読書感想文コンクール表彰式準備作業 〈会場 八条中学校〉
- 10月28日(月) 第5回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・読書感想文コンクール表彰式準備。研究推進。  
第42回研究大会に向けた第1回研究部会 〈会場 常盤中学校〉
- 11月10日(日) 第65回札幌市読書感想文コンクール表彰式 〈会場 札幌市中央図書館〉
- 11月12日(火) 第6回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉  
・洛書発行計画、執筆分担。研究大会細案、役割分担。  
第42回研究大会に向けた第2回研究部会(指導案検討) 〈会場 常盤中学校〉  
・プレ授業12/5(木)、9(月)、11(水)実施(屯田北中学校)
- 11月14日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 11月28日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 12月12日(木) 第42回札幌市学校図書館協議会研究大会 〈会場 屯田北中学校〉  
・公開授業 中1 国語科「根拠を明確にして魅力を伝えよう～鑑賞文を書く」  
授業者 屯田北中学校 松森 亮介 教諭  
支援者 屯田北中学校 堀内久美子 学校図書館司書  
・実践報告 「高等学校における学校図書館の利活用」  
発表者 市立札幌旭丘高等学校 藤原 國晃 教諭  
研究協力 市立札幌新川高等学校 遠藤 彰 教諭  
市立札幌啓北商業高等学校 源田久美子 教諭
- 12月12日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 12月26日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 1月 9日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 1月23日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 2月13日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 2月27日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉
- 3月 4日(水) 第7回事務局研修会 〈会場 常盤中学校〉 ※中止(メールにて実施)  
・反省。暫定版年間計画、次年度計画の作成。洛書発刊。
- 3月12日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉 ※中止
- 3月26日(木) 図書選定会 〈会場 札幌市教育委員会〉 ※中止

研究研修部



# 1. 研究研修部



## I 実務研修実施日程

| 回数 | 日時        | 実施場所(講師名)  | 内容   |
|----|-----------|--|--|
| 1  | 4月22日(月)  | 札幌市中央図書館<br>○講師<br>札幌市立もみじの森小学校司書教諭<br>道SLA研究部員<br>安藤 理恵子氏   | 講演<br>「はじめよう 図書館運営<br>～1年の見通しをもとう～」  |
| 2  | 7月26日(金)  | 札幌市立常盤中学校<br>○講師<br>株式会社ポプラ社<br>教育コンテンツ事業局<br>教育コンテンツ営業部<br>東日本エリアシニアディレクター<br>西山 朋光氏<br>○アドバイザー<br>道立図書館企画支援課主査<br>小川 靖子氏   | 「学校図書館クリニック10<br>～みんなで図書館を<br>リニューアル!～」<br>演習<br>「百科事典を使いこなそう<br>～ポプラディアの活用例～」                         |
| 3  | 12月12日(木) | 第42回<br>札幌市学校図書館協議会研究大会<br>会場校 屯田北中学校<br>○授業公開<br>授業者 松森 亮介教諭<br>支援者 堀内 久美子氏<br>(学校図書館司書)<br>○提言<br>市立札幌新川高等学校<br>遠藤 彰 教諭<br>市立札幌啓北商業高等学校<br>源田 久美子 教諭<br>市立札幌旭丘高等学校<br>藤原 國晃 教諭 | 授業公開(幼・小・中・高合同)<br>学び方の指導<br>国語 中1<br>「根拠を明確にして魅力を伝えよう<br>～鑑賞文を書く～」<br><br>「高等学校における<br>学校図書館の利活用について」 |

## Ⅱ 第42回札幌市学校図書館協議会研究大会報告

日時 令和元年12月12日(木) 5時間目 屯田北中学校1年6組 33名

授業者 松森 亮介教諭

支援者 堀内 久美子 学校図書館司書

教科 国語科

単元名 「根拠を明確にして魅力を伝えよう～『鑑賞文を書く』」

### 1) 研究討議

#### (1) 授業者から

北海道学校図書館協議会研究大会 旭川大会で報告された佐藤菜保教諭(札幌市立清田中学校)の実践を参考に授業を組み立てた。図書で調べる際に、交流を取り入れることで視点を広げることを図った。ただ調べさせるのではなく、何のために調べ、何のために交流するのかという意図を生徒に感じてほしかった。また情報カードの指導は5月に一度行っており、再度授業に取り入れることで書き慣れさせることもねらいの一つだった。情報カードを書けていない生徒が一部いたが、全体を通して生徒たちは緊張しながらもよく頑張っていたと思う。



#### (2) 北海道学校図書館協議会研究大会 旭川大会に関する補足 向陵中学校の杉田教諭から

鑑賞文は国語科に関わらず、様々な教科で取り入れられている。しかし、「良い」「すごい」などの浅い感想で終わってしまうケースが多く指導に困っているという声が多かった。そこで国語科で鑑賞文に対してどのように指導すればよいのかを考え、実践された発表があった。そこでは「語彙の獲得」と「情報を活用する」という観点から取り組むべきであるとされ、「根拠を明確にして魅力を伝えよう」という単元名で実践が行われた。その実践の中で「作品の良さの裏付け」や「疑問の解決」、「知識の獲得」、「解釈の深まり」などが見られた。また情報カードに関しては、題名に疑問形を使うことや奥付から図書情報を引き出すことが良いと確認された。



#### (3) 討議内容

参加者を6グループに分け、それぞれで討議をした後、全体で交流をした。

##### 1グループ

語彙力や表現力の低下はそれぞれの現場でも確認されている。しかし、今回の授業では量・質共に書けている生徒が多いと感じた。辞典やポプラディアを上手に使い、各図書から必要な情報をしっかりと読み取ることもできていた。司書と担任の声掛けも良かった。

##### 2グループ

ただ情報カードに書かせて終わるのではなく、交流することで視点が広がっていた。そのままコピーすることを禁止したこと





も非常に良かった。また、今回の資料の一つにある「図書一覧」はとても分かりやすかった。これによって指導しやすくなり、時間短縮にもつながる。

どのページに必要な情報があるのかを付箋で目印につけておくと進まない生徒の助けになったかもしれない。

### 3 グループ

丁寧に鑑賞文を書く機会が実際の現場では減多にない。今回の授業では、どのような視点で資料に向かうべきかを生徒が理解して活動していた。また、根拠を探す際に困っている生徒には司書がアドバイスしていたことも良かった。

### 4 グループ

生徒がパソコンで作成したレポートを見ると、ホームページの情報を丸写ししたり、言葉の意味を知らずにそのまま使っていたりした。今回の授業では、図書から必要な情報を選び抜いたり、知らないことがあれば辞書を使って意味を調べたりすることができていた。そして、集めた情報からさらに選んで書かせるのもよかった。



### 5 グループ

本が充実しており、それらを手渡す司書の存在が授業を大きく支えていると感じた。テレビの画面を使って視覚的に生徒に指示していることは効果的だったと思う。また、発達段階に合った本や情報カードの利用が話題になった。小学校では交流の際に「良い」という意思表示に留まるが、中学校ではさらに「評価して検証」することまで求められるのだと感じた。



授業時間の都合上難しいとは思いますが、やはり調べる時間をもう少し確保したい。また、美術書には著者の意見も入っているため、それを受けて自分はどう思うかなどを考えさせることも大切だと感じた。うのみにしてしまう危険がある。

### 6 グループ

情報カードの使い方が良かった。ノートと比べてカードは小さいため、書く抵抗感が少なく互いに交流しやすいと感じた。

視点に注目した情報カードを授業者から紹介するのは良かったが、少し枚数が多かった。また、新たな視点を発見するという目的上、全体に発表する機会があってもよかったのではないかな。

### 堀内司書より

学校図書館には元々美術書が充実していたのが良かった。授業者から具体的なジャンルを示してもらえると援助しやすい。

## 2) 成果と課題

### (1) 成果

○司書と授業者がうまく連携できていた。学校図書館に充実していた美術書を上手に活用した授業であり、司書が作成データベースである図書一覧は大いに授業者を援助できたものだと考えられる。授業中に司書が困った生徒にアドバイスして授業を支えていたのも良かった。

○情報カードの使い方が良かった。ノートと比べてカードは小さいため、書く抵抗感が少なく互いに交流しやすいと感じた。情報カードによって交流が上手に機能していた。

### (2) 課題

○情報カードの題名の書き方について、疑問形を推奨しながら指導することも大切である。

○美術書には著者の意見も入っているため、それを受けて自分はどう思うかなどを考えさせることも大切だと感じた。情報をうのみにしてしまう危険がある。

○今後も交流する時間を設けることで、根拠となるべきものはどのようなものかを考えさせたい。

### 3) 高等学校における学校図書館の利活用について

発表者 市立札幌新川高等学校 遠藤 彰 教諭  
市立札幌啓北商業高等学校 源田 久美子 教諭  
市立札幌旭丘高等学校 藤原 國晃 教諭



#### (1) 高等学校の特徴（他校種と異なる点）

- ・学校図書館司書は学校業務員のためフルタイムで働いていること。
- ・図書局は部活であり、顧問教諭がつきながら部活生徒中心に活動している。

#### (2) 「読書センター」としての役割

- ・学校内で図書利用を推進するような呼びかけを行っている。
- ・全国高文連に図書部門はない。北海道などの各地方に図書専門部が置かれている。
- ・全道高等学校図書研究大会を毎年秋に開催。ポップ作りや図書館報、季節の飾り、運営の実践などを報告し合っている。
- ・市立函館高等学校では図書局が文芸部とコラボし、文芸部が書いたノミネート作品（高校生直木賞？）を図書局が読んで選ぶイベントを行った。

#### (3) 「情報センター」としての役割

- ・高等学校では共通教科「情報」が必修となっており、パソコンは一人に一台ずつあたり、Wi-Fi 環境も整っている。
- ・高校生の94%はスマートフォンを所有している。（小学生36%、中学生60%）
- ・実際に授業や部活動における「調べる」「書く」活動はスマートフォンを利用している。
- ・インターネットはダイレクトに物事の「中心」にたどり着けてしまう。しかし、本はその物事の「周縁」までも触れることができるため知識や関心の分野が広がる可能性を秘めている。そこにこそ図書館の価値があるのではないか。

#### (4) 「学習センター」としての役割

- ・市立札幌旭丘高等学校の総合的な学習の時間の「Sunrise Time」では、小論文やレポート作成のために図書館が利用されている。例) 先輩の引用資料を展示するなど
- ・他校でも辞書を使ったり、進路情報や入試対策に合わせた本を用意したりしている。

#### (5) 多様な生徒の「居場所」として

- ・図書館の利用者は残念ながら減少傾向である。
- ・現在は落ちついた環境で自学自習できる場所、共通の趣味をもつ友達と出会える場所となっている。
- ・本を読む行為は作者や登場人物と対話していることであるため、本との出会いが子どもの人生や考え方を変える可能性がある。

#### 4) 講評

助言：札幌市教育委員会 指導主事 牧野 弘幸 様

(1) はじめに

- ・大人子ども共に読書離れが課題とされている。
- ・情報に溢れる社会の中で子どもたちはシャワーを浴びるように情報に対して受け身である。
- ・PISA では読解力が 15 位（過去最低）に下がっており、その要因として①読書離れ②考える力の低下③聞いた内容をまとめて発表する力の足りなさなどが挙げられる。学び方の指導の見直しが必要である。

(2) 今回の研究授業の評価

- ・司書と担任が上手に連携していた。
- ・単なる調べ作業ではなく、交流を取り入れることで生徒の頭の中がアクティブになっていた。
- ・授業者のフィードバックによって生徒が課題・目的意識をもつことができていた。
- ・学級の雰囲気が高く、担任によって醸成されたものがあった。
- ・図書館の場の価値を生徒が実感していたので、他教科でもぜひ実践してほしい。

(3) 発展

##### ①課題探究型の授業

「発見の喜び」というものがある。調べて困っているときにふとしたことで自分が欲しかった情報を見つけたときの喜びは計り知れない。これこそ課題探求型の授業を支えるものではないだろうか。この喜びの中で発見したものを他の人と共有することで学びの深まりが期待される。

##### ②情報の扱い方

情報に溢れる社会のため、何が正しく何が正しくないのかを見抜く力が求められる。インターネットの検索ボタンを押しても調べたことにはならない。調べたものをそのまま写しても意味は薄い。調べるときに当人の思考が介在しているかどうか重要である。情報について考えたり選んだりするような活動を取り入れるべきである。

##### ③交流の手立て

今回の授業では「新たな視点」を発見するために4人程度のグループ内における交流があった。その前にペアで互いに発表し合う活動があっても良かったかもしれない。事前にペアで発表しておくことで、4人グループのときの話し合いが膨らむ可能性がある。

##### ④学校図書館から他教科へ・家庭へ

国語だけではなく他教科でどのように実践すればよいのかを考えていくべきである。そのためにも教員同士の連携や共有が大切である。また家庭で読書する子どもが減っていることも課題である。読書習慣が続くような工夫を模索していくべきである。

##### ⑤他校種交流の可能性

高校生が小学生に読み聞かせをする実践があった。高校生は小学生という相手に伝えるという意識から、本の内容理解が深まったり、伝え方を工夫したりすることで学びを深めることができていた。このように異学年や他校種を交えた授業も効果的である。

司会 綿谷 聡（札幌市立白石中学校教諭）

記録 窪田 貴文（札幌市立新川中学校教諭）

牧 里美（札幌市立明園小学校教諭）

### Ⅲ 第2回実務研修会 報告

今年度の「第2回実務研修会 図書館クリニック」は、7月26日(金)に札幌市立常盤中学校で行われた。参加者は午前・午後あわせて約30名。

開会にあたり、初めに本協議会の冨田会長から挨拶と講師、アドバイザーの紹介があった。講師として株式会社ポプラ社教育コンテンツ事業局教育コンテンツ営業部シニアディレクター西山朋光氏、アドバイザーとして道立図書館企画支援課主査の小川靖子氏を迎えた。

前半は「百科事典をつかいこなそう～ポプラディアの活用例」という題で演習を行った。始めに、西山氏から画像を用いてポプラ社の概要が紹介された。会社見学に来る中学生に「日本では、どこでも同じ値段で書籍を購入できる。物品ではなく文化・教養を使える媒体として保護されている。だからこそ正しいことを伝えることを大切にしている。」と教えるという話が印象に残った。その後、国語辞典と百科事典の違い、百科事典を調べる時に手がかりになる「つめ」「見出し語」などの用語の説明があり、グループごとにハテナシート上級編の問題に取り組んだ。ハテナシートについて、初級編では語句を確かめる活動を中心に、上級編では文章に即して調べることをポイントに作られているとの解説があった。特に、上級編はアクティブラーニングへの入り口として、子ども達に「工夫すれば調べられるのではないか。どこかに解答か解決につながるヒントがあるはずだ。調べてみよう。」という思いをもってもらえるように作られているようだ。また、情報化社会



ハテナシートに取り組む様子

後半の部は、学校図書館の改善を行った。札幌市立常盤中学校の担当教諭である笠嶋美幸先生から、学校図書館を利用するにあたっての悩みを教えてもらった。スペースの有効活用、カウンターや書架の配置、書籍の配置などを改善し、開放感のある調べ学習をしやすい図書館にしたいという願いが提示された。それを受けて、参会者でグループを作り、グループごとに学校図書館をどのように改善したらよいか考え、発表した。アドバイザーの小川靖子氏から、講評と具体的なアドバイスをいただき、カウンターの位置を変え



講師

株式会社ポプラ社 教育コンテンツ事業局 教育コンテンツ営業部 シニアディレクター  
西山 朋光氏



アドバイザー

道立図書館企画支援課主査  
小川 靖子氏

に対応するために「ポプラディアネット」を立ち上げ、文責を明確にするだけでなく、外部サイトについてもポプラ社が健全だと判断したものを掲載しているとの解説があった。画像や音声が使え、書き足すことができることがネットをつかう良さであるようだ。確かに、最近の子ども達は文字だけでなく画像を見せることで理解が深まることが多く、これからはネットの活用も視野に入れる必要があると感じた。



笠嶋 美幸教諭



館内を見て回る

午後からは、実際にレイアウトを変更する作業を進めた。カウンターは入り口の右側に移動した。カウンター用の机、後ろにあった棚を取り除くと、隠れていたガラス戸から日の光が差し込んだ。そこに、図書館前に置かれていたベンチを設置した。書籍は、すべて取り出し、NDC 順に書架へ入れ替えた。その際、古いもの、利用されないものを除架した。また、収納スペースから書架や百科事典が



書籍をすべて出す



圧迫感のあった書架を移動してすっきりした読書スペース（上）と学習スペース（下）。この後、机の配置を変えた。

見つかり、活用することになった。学習スペースの机は、全員、ホワイトボードが見えるように配置を変えた。かなり大掛かりな作業となった。特に、書籍の並び替えは、分類ごとの書架の割り振りが効率よく行えなかったため、手間取った。9番台は、新学期になって図書局の生徒の手を借りることとなった。

クリニック終了後、常盤中学校の教頭先生から「暑い中、作業をしていただき感謝している。開放感が生まれ、生徒が利用しやすくなったと思う。」という感想をいただいた。30度を超える暑さの中、休憩も取らずに作業をしてくださった参会者の皆様に感謝して閉会となった。後日、リニューアルした図書館に歓声が上がったそうである。

例年と違い百科事典の演習と抱き合わせだったため、時間配分が難しかった。実施校の図書担当教諭、学校図書館司書、司会の方と事前の打ち合わせをしっかりとしておく、作業がもっとスムーズに進んだと思う。

(文責 志村 知子)



改善案を発表



書架があったスペースにカウンターを移動。学習スペースが見通せるようになった。



入口から見た様子。カウンターがあった所にベンチが置かれた。

# 国語科学習指導案

日時 2019年12月12日(木) 5校時  
生徒 札幌市立屯田北中学校 1年6組33名  
授業者 T1 教諭 松森 亮介  
T2 学校図書館司書 堀内 久美子

## 1. 単元名 根拠を明確にして魅力を伝えよう ～「鑑賞文を書く」

## 2. 単元の目標

図書資料から読み取った情報をもとに鑑賞文を書く活動を通して、根拠のある論理的な文章を書く技能を高める。

- 具体的な指導事項……
- ① 獲得した情報を根拠として整理する技能 (知識及び技能)
  - ② 根拠のある論理的な文章を書く能力 (思考力、判断力、表現力等・書くこと)
  - ③ 情報を獲得する見通しをもつ技能 (図書館・学び方の指導)

新学習指導要領との対応……

### 1 [知識及び技能]

(2)ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。

- 1 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。

### 2 [思考力、判断力、表現力等] B書くこと

- (1)ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

## 3. 単元について

この単元では、「根拠→主張」という論理の整った文章を書く力と、自分の意見をもつために情報を獲得するという見通しをもつ力を高めることを目的としている。指定された絵画作品の鑑賞文を書くために情報を集め、整理し、記述していく活動を通して、それぞれの力を高めていきたい。

根拠と主張を意識させるにあたって、調べ活動は相性が良い。図書資料に掲載された「事実」を根拠として抜き出し、そこから「意見」を考える、あるいはすでに抱いていた意見の根拠となる事実を探すという思考により、根拠と主張を分けて意識することとなる。授業の中でそれらを視覚的に整理させることで、スムーズにねらいに迫ることができると思う。

今回のテーマにおける「主張」とは、「絵画作品のもつ魅力」である。基本的には授業の中で最初に目にした時に感じた思いを出発点に、調べる活動の中で輪郭をはっきりさせていく。ただし、図書資料から執筆者や社会による「魅力」を受け取り、それをただ書き写すことにならないよう、留意することが必要である。そのためには、図書資料から内容をメモする際に、「魅力(意見)」は書きとらないことを徹底させたい。仮に執筆者等の「魅



力」に共感することはあったとしても、それはメモはせず、後に自分の言葉で表現するよう適宜声をかけていく。

また、絵画の鑑賞においては、構図、テーマ、タッチなどといった様々な観点から見ることとなる。それは文学の鑑賞にしても、事物の説明にしても、あるいはただの感想にしても、何かを記述する場合は当然のことである。互いに調べた情報を交流する中で、多様な観点があることにも注目させたい。

### 調べ活動を行う目的

知識の獲得

自分の考え  
の形成

もう一つの目的は、図書資料を扱う意識の拡大である。調べるという活動は、資料などから情報を獲得すること自体が目的である場合だけでなく、自分の意見をもつことを目的として行う場合もある。つまり、対象について知識をもつことで初めて、それに対する意見・主張が生まれるのである。

絵画作品を鑑賞しようとして、自分の意見をなかなかもてなくても、その絵について調べ理解していく中で、自分の意見がつくられていく。それはもしかしたら執筆者の評価の受け売りかもしれない。反論かもしれない。あるいは全く新たな思いかもしれない。いずれにしても、「書くことがない」と手が進まない生徒にとって理解すべき内容である。実際にそうした活動を通して、実感させていきたい。

とはいえ、繰り返しになるが、できる限り調べた資料に書かれた評価の受け売りとなってしまうことは避けたい。そのためには、調べる前に絵画作品についてまず鑑賞文を書かせる機会を作り、そこで生まれた印象を活用させたい。

## 4. 生徒の実態

書くことにおいては、毎時間 200 字作文を書かせ、数時間に一度 400 字程度の作文を書かせてきているので、記述への抵抗感は比較的少ない。しかし、思ったことや理由を思いつくままに書き連ねるだけの生徒が多く、論理の整った文章を書く力には課題が多く見られる。

調べることにおいては、これまで以下のような活動に取り組んできている。

| 時期  | 教科 | 概要      | 扱った資料         | 備考           |
|-----|----|---------|---------------|--------------|
| 5月  | 国語 | 図書館レポート | 図書資料          | 自由課題         |
| 9月  | 国語 | 仮説検証文   | アンケート、インターネット | アンケートは自クラス生徒 |
| 11月 | 総合 | 個人調査学習  | インターネット       |              |

いずれも授業時間は意欲的に取り組んでいるものの、家で個人的に調べようとする生徒は非常に少なく、家庭学習などでもそうした内容の取り組みはとても少ない。

今回の学習を通して、目的のために調べる必要性や意義を理解させるとともに、調べようとする意欲を高めることもねらいとしていきたい。

## 5. 教材について

以下の8枚の絵を教材として提示する。



葛飾北斎

「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」



ゴヤ

「マドリッド、1808年5月3日」



雪舟

「秋冬山水図」



ミレー

「落穂拾い」



ピカソ

「ゲロニカ」



ブリュッゲル

「ネーデルラントの諺」



ミケランジェロ

「最後の審判」



レオナルド

「モナリザ」

いずれも、本校図書館や市立図書館の図書から十分な情報を得ることが可能であり、それを読むことで絵を理解し、解釈することができるだろうというのが選別理由である。また、同時に浮世絵や時代背景、キリスト教などといった、より深く調べる要素があるという点もその選別理由の一つである。

## 6. 指導計画 4時間

|           | 学習のねらい               | 生徒の活動  | 知 | 思 |   |   | 主 |
|-----------|----------------------|--|---|---|---|---|---|
|           |                      |  |   | 話 | 書 | 読 |   |
| 1         | 記述（1回目）と調べる<br>意欲の喚起 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●指定された作品を見て、鑑賞文を書く。</li> <li>●グループで交流し、良いところや改善点を確認する。</li> <li>●鑑賞文の例を読みながら、より良い鑑賞文を書くために必要な手立てを考える。</li> <li>●次時にて図書館で作品について調べる見通しをもつ。</li> </ul> |   |   | ○ | ○ |   |
| 2         | 作品や作者について調べ、情報を整理する  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループごとに作品について調べ、情報カードにメモをとる。</li> </ul>  | ○ |   | ○ | ○ |   |
| 3<br>(本時) | 交流を通して調べる観点を広げる      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●前時に書いた情報カードを整理し、調べた観点を交流する。</li> <li>●交流したことを踏まえて、再度必要な情報を調べる。</li> <li>●情報カードを整理し鑑賞文に使う根拠となる情報を選ぶ。</li> </ul>                                     | ○ |   | ○ |   |   |
| 4         | 記述（2回目）              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●前時の学びを踏まえて、鑑賞文を書く。</li> <li>●本単元での学びを交流する。</li> </ul>  | ○ |   | ○ |   |   |

## 7. 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・調べるための観点の広がりを意識して、目的に沿った情報を図書資料から書き取ることができる。

### (2) 本時の展開 (3/4)

| 過程                                   | 主な発問・指示・説明   | 生徒の活動   | 指導と評価  |
|--------------------------------------|--|---|--|
| モジュール<br>10m<br><br>導入<br>5m         |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●発声練習、ミニプリ、漢字学習</li> <li>●前時の学習を想起する。</li> <li>●本時の課題を把握する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>*口頭確認</li> <li>*PC 提示</li> </ul>                |
| <b>課題： 視点を広げ、根拠として使える多様な情報を手に入れる</b> |  |   |  |
| 展開<br>30m<br><br>G 交流<br>(7m)        | <p>①指 各自が書いた情報カードを、似た内容で分類し、机の上に整理しなさい。</p> <p>②発 自分が調べなかった観点や本を確認して、視点を広げましょう。特に自分が思う魅力の根拠として使えるような情報に注目しなさい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各自が書いた情報カードを、観点ごとに分類し、整理する。</li> <li>●自分が調べなかった観点や図書を確認し、この後の調べ活動の参考とする。新たに得た指針はノートにメモする。</li> </ul>                                | <p>知 情報の分類<br/>(分類されたカード)</p> <p>思 新たな観点の獲得<br/>(ノートのメモ)</p>                           |
|                                      |  |   |  |
| 全交流<br>(8m)                          | <p>①指 枚数の少ないまとまりの題名を発表しなさい。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループごとに枚数の少ない観点を口頭で発表し、全体交流を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・浮世絵</li> <li>・キリスト教</li> <li>・当時の出来事</li> </ul> </li> </ul> |  |
| 調査<br>(15m)                          | <p>①指 もう 15 分だけ時間を取ります。他の人のカードを見て、自分の根拠に使えるような情報を新たに調べなさい。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●交流を経て得た指針をもって、再度図書資料から情報を得る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>*T2 は T1 と共に、レファレンスを行う。</li> </ul>              |
| 整理<br>10m<br>選択<br>(5m)              | <p>①指 自分の主張の根拠となりそうな事実が書かれたカードを 2～3 枚選び、印をつけなさい。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分が調べたカードを見渡し、主として根拠に用いるカードを選ぶ。</li> </ul>  |  |
| 振返<br>(5m)                           |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次時、再び鑑賞文を書くことを確認する。</li> <li>●本時の振り返りを記述する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>*用紙配布</li> <li>主 学習事項の把握と課題意識 (反省用紙)</li> </ul> |

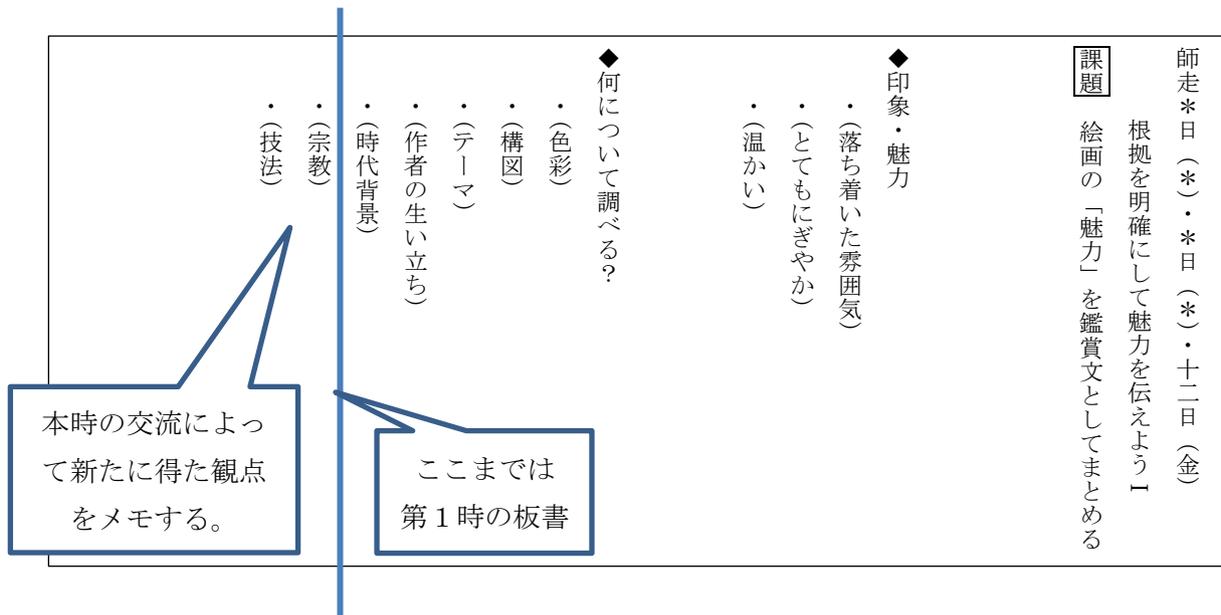
### (3) 本時の評価

- ・調べるための観点の広がりを意識して、目的に沿った情報を図書資料から書き取ることができたか。

#### (4) 評価基準

- A …前時には考えなかった観点から、自分の鑑賞文の根拠となりそうな情報を調べることができた。
- B …前時には考えなかった観点から、情報を調べることができた。
- Cへの手立て … 他者と自分の情報カードを見比べさせて、次に調べるべき図書を考えさせる。

#### (5) 板書計画



## 8. 参考資料

(1) 第1時・第2時における生徒の書いた反省（同一生徒3名を掲載）

| 生徒 A | 生徒 B | 生徒 C |
|------|------|------|
| 「星   | 今    | 途    |
| 戸    | 今    | う    |

(2) 座席表

| カウンター   | TV  |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
|   |  |  |
|   |  |  |

| No | 書名                          | 著者名              | 出版社    | 出版年  | 巻数 | ゴヤ | 雪舟 | シレー | ピカソ | ティエポロ | ステファノ | レオナルド | 所在 | 備考   |
|----|-----------------------------|------------------|--------|------|----|----|----|-----|-----|-------|-------|-------|----|--|
|    | 『Art 1 誰も知らない「名画の見方」』       | 高階 秀爾            | 小学館    | 2010 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p32ゴヤ p54ピカ p74レオ・モナ p166グリ                  |
|    | 『NHKにんげん日本史 雪舟』             | 酒寄 雅志 監修<br>理論社  | 理論社    | 2011 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | 雪舟、水墨画                                       |
|    | 『原始・古代…ルネサンス美術(まんが西洋美術史)』   | 高階 秀爾 監修         | 美術出版社  | 1994 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p105レオ p132モナ p159ミケ p192審判                  |
|    | 『ハロツク…印象主義の美術(まんが西洋美術史2)』   | 高階 秀爾 監修         | 美術出版社  | 1994 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p79ゴヤ p153ミレ p172ミレ                          |
|    | 『後期印象主義 20世紀の美術(まんが西洋美術史3)』 | 高階 秀爾 監修         | 美術出版社  | 1994 | ・  | ・  | ・  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | p131ピカ・ゲル                                    |
|    | 『ひらがな日本美術史 6』               | 橋本 治             | 新潮社    | 2004 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p40富嶽  |
|    | 『ポプラデイズ 2』                  |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p216落穂                                       |
|    | 『ポプラデイズ 3』                  |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p17北斎  |
|    | 『ポプラデイズ 4』                  |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p41モナ p220ゴヤ p255審判 p346山水画                  |
|    | 『ポプラデイズ 6』                  |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p28水墨画 p140雪舟                                |
|    | 『ポプラデイズ 9』                  |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p23ピカ p120富嶽 p197グリ                          |
|    | 『ポプラデイズ 10』                 |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p209ミレ p272モナ                                |
|    | 『ポプラデイズ 11』                 |                  | ポプラ社   | 2011 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p188レオ                                       |
|    | 『まんが 日本美術史 2』               | 中島 純司            | 美術出版社  | 1996 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | 人物 p69秋冬                                     |
|    | 『迷宮美術館』                     | NHK 『迷宮美術館』制作チーム | 河出書房新社 | 2006 | ○  | ・  | ・  | ・   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | p8モナ p12富嶽 p18ピカ・ゲル p44ミレ p72ゴヤ p86審判        |
|    | 『迷宮美術館 2』                   | NHK 『迷宮美術館』制作チーム | 河出書房新社 |      | ・  | ・  | ・  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | p40ゲル p64ゴヤ                                  |
|    | 『迷宮美術館 3』                   | NHK 『迷宮美術館』制作チーム | 河出書房新社 | 2007 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p20雪舟 p74ピカ                                  |
|    | 『迷宮美術館 4』                   | NHK 『迷宮美術館』制作チーム | 河出書房新社 | 2007 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p12ゴヤ p34レオ・モナ p90ピカ                         |
|    | 『迷宮美術館 5』                   | NHK 『迷宮美術館』制作チーム | 河出書房新社 | 2008 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p46ピカ  |
|    | 『雪舟と志仁の乱(あるいて知ろう!歴史にんげん物語)』 | 三田村 信行           | フレーベル館 | 2004 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | 雪舟、秋冬  |
|    | 『浮世絵の歴史』                    | 小林 忠ほか           | 美術出版社  | 1998 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p124北斎 富嶽                                    |
|    | 『名画鑑賞事典 美の系譜』               | デザインツドギヤリフ       | ゆまに書房  | 2009 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p30レオ・モナ p40ミケ p94ゴヤ p110ミレ p134ミレ p154ピカ・ゲル |
|    | 『悪魔の美術と物語』                  | 利倉 隆             | 美術出版社  | 1999 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | p55審判 p135ゴヤ p142諺                           |
|    | 『怖い絵』                       | 中野 京子            | 朝日出版社  | 2009 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | p130ラド                                       |
|    | 『世界名画の謎 作品編』                | ☑バートカミンズ         | ゆまに書房  | 2000 | ○  | ○  | ○  | ○   | ○   | ○     | ○     | ○     | 自校 | p26モナ p40諺 p74ラド p98ゲル                       |
|    | 『世界名画の謎 作家編』                | ☑バートカミンズ         | ゆまに書房  | 2000 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | p24レオ p28ミケ・審判 p36グリ p60ゴヤ p102ピカ            |
|    | 『美の20世紀〈1〉ピカソ』              | アナトリー ポロツク       | 二玄社    | 2006 | ・  | ・  | ・  | ・   | ・   | ・     | ・     | ・     | 自校 | ピカ・ゲル  |

|  |               |          |      |   |   |   |   |   |   |     |   |
|--|---------------|----------|------|---|---|---|---|---|---|-----|---|
| 『ピカソー立体派の巨匠(名画の秘密をさぐる(7))』             | V・アントワーン      | 岩崎書店     | 1993 |   |   |   |   |   | ○ | 自校  | ピカ・ゲル   |
| 『アート・ギャラリーー現代世界の美術(12)ピカソ』             | 中山 公男ほか       | 集英社      | 1985 |   |   |   |   |   | ○ | 自校  | ピカ p64ゲル  |
| 『絵画のなかの動物たちー神話・象徴・寓話』                  | 利倉 隆          | 美術出版社    | 2003 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p58諺  |
| 『人間美の追求ールネサンスの時代』                      | アトニーメイソン      | 国土社      | 2004 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p21レオ・モナ p26ゾリ p31ミケ                            |
| 『アトリエから戸外へー印象派の時代』                     | アトニーメイソン      | 国土社      | 2004 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p9ミレ  |
| 『ミケランジェロ(ビジュアル版伝記シリーズ)』                | フリッツ・ヴァルケンソン  | BL出版     | 2009 |   |   |   |   |   | ○ | 自校  | ミケ p52審判  |
| 『モナ・リザー-私が描かれた理由』                      | 岡 庸子          | 出窓社      | 2007 |   |   |   |   |   | ○ | 自校  | レオ・モナ   |
| 『西洋美術史』                                | 高階 秀爾         | 美術出版社    | 2009 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p87モナ p132ミレ                                    |
| 『君はレオナルド・ダ・ヴィンチを知っているか』                | 布施 英利         | 筑摩書房     | 2005 |   |   |   |   |   | ○ | 自校  | レオ・モナ   |
| 『見てごらん!名画だよー直感こども美術館』                  | マリー・セリエ       | 西村書店     | 2007 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p58モナ   |
| 『ART BOOK ダ・ヴィンチ』                      | ラッセル・マカ・デボリーニ | 昭文社      | 2007 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | モナ  |
| 『西洋絵画名作101選』                           | 千足 伸行         | 小学館      | 2003 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p136ミレ  |
| 『西洋絵画史WHO'S WHOーカラー版』                  |               | 美術出版社    | 1996 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p193ミレ  |
| 『アアン・ゴッホ:荒ぶる魂を削る』                      | アナン・トルテロー     | 昭文社      | 2007 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p30ミレ   |
| 『西洋絵画の主題物語〈1〉聖書編』                      | 諸川 春樹         | 美術出版社    | 1997 |   |   |   |   |   | ・ | 自校  | p40ルツとナオミについて                                   |
| 『楽しい北斎の富嶽三十六景 富嶽百景 動物物画 他』             | 有泉豊明          | 目の眼      | 2017 | ○ |   |   |   |   |   | 中央図 | p18富嶽   |
| 『西洋名画の読み方1』                            | バトリック・デリンク    | 創元社      | 2007 | ○ |   |   |   |   | ○ | 中央図 | p?モナ p134審判 p188諺 p362マト                        |
| 『西洋名画の読み方2』                            | バトリック・デリンク    | 創元社      | 2008 |   |   |   |   |   | ○ | 中央図 | p198ゲル  |
| 『西洋名画の読み方4』                            | バトリック・デリンク    | 創元社      | 2013 |   |   |   |   |   | ○ | 中央図 | p?審判 p192モナ                                     |
| 『ブリューゲルとネーデルラント絵画の変革者たち』               | 幸福 輝          | 東京美術     | 2017 |   |   |   |   |   | ○ | 中央図 | p?諺   |
| 『もっと知りたいピカソ 生涯と作品』                     | 松田 健児         | 東京美術     | 2006 |   |   |   |   |   | ○ | 中央図 | ピカ・ゲル   |
| 『もっと知りたい 葛飾北斎』                         | 永田 生慈         | 東京美術     | 2019 | ○ |   |   |   |   |   | 中央図 | 北斎・富嶽   |
| 『もっと知りたい いミレー』                         | 安井 裕雄         | 東京美術     | 2014 |   |   |   |   |   | ○ | 中央図 | ミレ・落穂   |
| 『子どものための美術史:世界の偉大な絵画と彫刻』               | ヘザー・アレクサンダー   | 西村書店     | 2017 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 中央図 | p20レオ・モナ p24ミケ p26ゾリ p36ゴッホ・ヴァト p38北斎・富嶽 p80ピカソ |
| 『ふしぎびつくり!ニッポン美術たんけん 第2巻 ニッポン様式、大行進!』   | 辻 惟雄          | 日本図書センター | 2014 |   |   |   |   |   | ○ | 中央図 | p?雪舟  |
| 『ふしぎびつくり!ニッポン美術たんけん 第3巻美人・妖怪、なんでもござれ!』 | 辻 惟雄          | 日本図書センター | 2014 | ○ |   |   |   |   |   | 中央図 | p?富嶽  |
| 『教科書に出てくる日本の画家〈1〉近世の画家』                | 糸井 邦夫         | 汐文社      | 2012 | ○ |   |   |   |   | ○ | 中央図 | p8雪舟・秋冬 p36北斎・富嶽                                |
| 『人気絵師の名作を見よう!知ろう!』                     | 深光 富士男        | 河出書房新社   | 2017 | ○ |   |   |   |   |   | 中央図 | p16北斎、富嶽  |

## 2. 寄託図書研究部

### I 札幌市の寄託図書制度について

#### 1) 寄託図書制度とは

寄託図書制度は、1980年(昭和55年)に始まった。たくさんの児童・生徒が有効に図書を使えるように学習活動に役立つ図書を複冊でそろえ、市立小・中・高等学校で共同利用するものであり、札幌市独自の制度である。全国的に見ても、特筆すべきものである。

市の図書購入費の一部で図書をそろえ、「寄託図書館」に指定された学校で蔵書し貸出を行っている。制度が始まってから35年以上経過しているが、インターネットの進歩など時代に合わせて形を変え、札幌市全校において校務支援システムが配置されてからは、Webでの申し込みが97%にまで増加している。そして、現在も学校図書館の「読書センター」および「学習センター」・「情報センター」の機能を支える重要なものとなっている。

寄託図書館校は、全市の小中学校のうち36校が担当している。寄託校では担当者(教職員)と寄託司書(PTAや地域の方、もしくは校務助手さん等)が学校長の委嘱のもと日々の貸出・返却を行ってくださっているが、場合によっては職員室の教頭先生はじめ事務職員のお力添えによって運営されている。

#### 2) 学校図書館情報センターについて

寄託図書の運営の中心となるのが札幌市の学校図書館充実のために設置された「学校図書館情報センター」である。明園小学校内に設置されている。

その核となるのは年2回開かれる運営委員会である。構成メンバーは札幌市小・中校長会、同教頭会、札幌市教育委員会指導主事、生涯学習部学校施設課管理係、そして小・中学校の図書館関係のエキスパートの先生方であり、効果的な運営について協議する。

また、主な業務はセンターの専門員と市内各校から出ている事務局員で分担し、札幌市教育委員会と連携して年間10回程度の事務局会議を行いながら進めている。事務局員には、札幌市学校図書館協議会からも参加しており、活動の一翼を担っている。

学校図書館情報センターは利用校と寄託校そして配送業者の三つをつなぐ要として、日々円滑に貸出が進むよう業務に当たっている。

平成30年度の貸出冊数は、118,559冊、貸出回数は4,505回だった。

### II 今年度の活動について

学校図書館情報センターの事務局会議では運営委員会や担当者研修会の内容の精査、新規購入本の図書選定、広報紙の発行などを行ってきた。昨年度は、隔年で行われている寄託図書利用アンケートを札幌市の小中学校の全教職員対象に行った。その結果を運営の参考にしながら、活動を進めてきた。

全市的な傾向としては小学校の貸し出し冊数が減少し、中学校は増加している。理由として考えられるのが、中学校に学校司書が配置されたことにより、教員と連携を取り図書を積極的に利用しやすくなっているということである。小学校にも同じような環境を整えば、もっと利用しやすくなるのではないかと考える。

また、少子化で学校規模の縮小が続くと、寄託図書館校での運営の負担が大きくなっていくことが考えられる。将来を見越して方策を考えていかねばならないと考える。

(文責 事業部長 綿谷 聡)

### 3 学校図書館地域開放研究部

#### I 目的

学校図書館を地域には開放することにより、子ども及び地域住民の読書活動を盛んにし、読書を通じて子どもと大人、大人相互の交流の場を広げ、地域社会の教育力向上に役立てる。

#### II 札幌市学校図書館地域開放協議会

札幌市学校図書館地域開放事業の充実向上及び読書環境の整備、併せて各開放校相互の連携強化を目的とする。市内各学校図書館地域開放校で構成され、平成30年度現在で小・中合わせて120校となった。毎年5月に総会が開かれ、その後、運営委員長部会、校長部会、司書教諭部会、開放司書部会、経験者研究部会に分かれて部会をもつ。

秋の全体研修（今年度は絵本作家本田哲也氏講演会「魅力いっぱい郷土のいきものたち」を開催）のほか、運営委員長部会では区ごとに開放司書との合同会議をもち、全市代表者会議を開催している。開放司書部会ではお勧め本の紹介、手作り体験講習会のほか、トラック協会読み聞かせ広場への協力、道新絵本ワールドへの協力等を行っている。司書教諭部会も研修会を行っている。

ホームページを開設し、より地域へPRを図られるようになった。

#### 開放校～令和元年度現在 120校～

中央区・・・桑園小、大倉山小、日新小、幌南小、幌西小、二条小

北 区・・・拓北小、屯田小、新川小、新琴似西小、新陽小、篠路小、鴻城小、太平小、あいの里西小、新川中央小、新琴似小、幌北小、あいの里東小、北陽小、光陽小、新琴似北小、白楊小

東 区・・・栄北小、丘珠小、札苗緑小、札苗北小、札苗小、栄南小、中沼小、栄東小、栄町小、伏古小、美香保小、苗穂小、開成小、東光小、札幌小、元町北小、栄西小、元町小

白石区・・・東札幌小、本郷小、北都小、米里小、東橋小、北白石小、川北小、西白石小、南郷小、上白石小、本通小、幌東小

厚別区・・・青葉小、厚別西小、上野幌小、共栄小、小野幌小、もみじの森小、もみじの丘小

豊平区・・・西岡南小、平岸西小、平岸高台小、中の島小、みどり小、平岸小、東山小、西岡小、しらかば台小、福住小、あやめ野小、豊平小、西岡北小（R元年度新規）

清田区・・・清田緑小、北野小、平岡小、美しが丘緑小、清田南小、真栄小

南 区・・・藻岩北小、藤の沢小、真駒内曙中、藤野小、南小、常盤小、石山緑小、簾舞小、南の沢小、真駒内桜山小、藻岩小、澄川小

西 区・・・発寒西小、琴似中央小、西野第二小、平和小、手稲東小、手稲宮丘小、福井野小、発寒東小、発寒小、西小、八軒小、八軒西小、琴似小、二十四軒小、山の手南小、西園小、山の手小、発寒南小、八軒北小（R元年度新規）

手稲区・・・手稲北小、手稲西、新陵小、前田中央小、前田北小、富丘小、星置東小、稲穂小、西宮の沢小、手稲中央小



事業部



# I 感想文コンクール部

## 1 応募状況

応募学校数

| 校種 | 小  | 中  | 高 | 合計 |
|----|----|----|---|----|
| 校数 | 51 | 32 | 6 | 89 |

応募総数

| 校種 | 小   | 中   | 高  | 合計  |
|----|-----|-----|----|-----|
| 校数 | 185 | 214 | 36 | 435 |

応募作品内訳

| 校種 | 小学校 |    |    |    |    |    |     | 中学校 |    |    |     | 高校 | 総計  |
|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|
|    | 1   | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 合計  | 1   | 2  | 3  | 合計  | 全  |     |
| 自由 | 8   | 17 | 14 | 17 | 12 | 6  | 74  | 81  | 80 | 31 | 192 | 32 | 298 |
| 課題 | 10  | 20 | 18 | 15 | 8  | 5  | 76  | 4   | 9  | 3  | 16  | 3  | 95  |
| 指定 | 6   | 13 | 6  | 7  | 1  | 2  | 35  | 3   | 3  | 0  | 6   | 0  | 41  |
| 合計 | 24  | 50 | 38 | 39 | 21 | 13 | 185 | 88  | 92 | 34 | 214 | 35 | 434 |

## 2 審査に当たって

今年も多く各学校に札幌市読書感想文コンクールへの応募をいただいた。応募作品を見ると、夏休みの課題として読書感想文に学校全体や学年全体で取り組んだ学校もあったことがわかる。また、各校の応募担当の先生や国語科の先生には、夏休み明けの忙しい時期に、全ての作品に目を通し、校内選考をしていただいた。読書感想文コンクールの応募締め切り日が早い中、締め切り日までの提出にご理解とご協力をいただいたことに感謝いたします。

校内選考を経て出品された作品を読むと、本の世界と自分の生活を結びつけ、本との出会いが自分自身を変化させ、実生活と結びつけて考えたもの、自分自身の内面について深く考えたもの、読後の思考の深まりを感じさせるものなど、単なる本の世界にとどまることなく、そこからの広がりを感じることができた。また、読書感想文を織りなす一字一句にも書いている一人一人の思いがあふれ、読書生活が実生活の中に根付いていることを感じさせるものだった。

今年に応募作品数を上記の表にまとめた。昨年度と比較すると、応募総数は減少しているが、応募校数は増加している。各学校で広く読書感想文の取り組みを行っていると思われる。

小学校の感想文は、自由図書よりも指定図書と課題図書の合計が上回る結果になった。日頃から家庭や学校図書館などの本が近くにあり、すぐ手に取ることができる環境でありながらも、良書を読ませたいという働きかけを保護者や先生方がしてくださったのであろう。中学校、高等学校の感想文になると自由図書の割合が増加するが、自分で自由に幅広い図書を選び、読書しているという結果が表れていると推測できる。

学校での朝の読書活動の時間を通して本に触れる機会がある一方、現代の世の中にはスマートフォンやタブレットなどの機器があふれ、活字離れも危惧されている。大人たちの力で、現代を生きる子供たちに良書を手に入る機会を確保することは、これからの時代の中でも非常に有益なことである。

札幌市の特色ある教育の一つある「読書」に、札幌市学校図書館協議会が主催する「読書感想文コンクール」が一助となり、これからも札幌市の子供たちの読書生活が豊かになるための一端を担えたら幸いである。

(文責 コンクール部長 佐々木 康平)

## 2 情報部

### I 札幌市学校図書館協議会ホームページの更新

今年度も、ホームページのデザインと更新を（株）エアードライブ社に委託して行った。年間の更新回数は4回に増やし、年次総会、読書感想文コンクール表彰式、実務研修会などの取組を紹介し、札幌市学校図書館協議会の活動を広く紹介した。なお、更新に当たっては、組織の窓口を情報部が務め、必要な情報収集や更新に当たっての調整を進めていく。

### II ホームページの内容・構成

基本的なデザインは昨年度のものを継続し、写真を新しいものに変えた。構成も昨年度と同じく「年次総会」「実務研修会」「読書」「読書感想文コンクール」の4部からなり、図書館関係者などに有意義な情報を発信しようとしている。また、「新着情報」が冒頭にあり、ホームページ更新やSLA通信の発行を報告している。

### III 今後の運営について

更新までの様々な過程がある。即時性が求められる情報もあるため、情報部で業務を分担し計画的にSLA通信の作成やホームページの更新に当たりたい。また、今年度から更新回数が1回増えたが、広報としてより効果的な情報公開のタイミングを検討する必要がある。

#### 【札幌市学校図書館協議会ホームページ】

札幌市学校図書館協議会  
Sapporo City School Library Association Network  
お問い合わせはこちら  
011-591-1433

いつも楽しい学校図書館

年次総会 研究大会&実務研修会 研究誌「読書」 読書感想文コンクール

札幌市学校図書館協議会は札幌の学校図書館の様々な活動を支える団体です。  
創立65年の歴史があり、札幌市立の全幼稚園・小・中学校・高等学校並びに中等教育学校、  
本会の趣旨に賛同する札幌及び近郊の幼稚園・学校を会員として構成されています。  
札幌の幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校・高等学校の司書教諭・図書係・学校図書館司書の方々に参加していただき  
様々な研修を行ったり、毎年読書感想文コンクールを行い優秀作品を北海道指定図書読書感想文コンクールに応募しています。

今後も図書館に関係する皆様がより活用しやすく、また札幌市学校図書館協議会の活動が広く認知されるようなホームページを実現できるよう努力していく。

## 3 図書選定研究部

### I. 図書選定研究部の活動

図書選定研究部は、毎月2回の選定会を札幌市教育委員会3階入札室にて開催。

トーハンと図書館ネットワーク・サービスのご協力で新刊図書を提供していただき、北海道学校図書館協会と合同で行っています。

選定会には毎回60冊～100冊程の新刊図書が持ち込まれ、その図書を幼児・小学校低学年、中学年、高学年、中学校のグレード別に分けていきます。

その後それぞれのグレード別の複数の担当者が図書を読み込みながら、テーマ、絵や文章、表現法など様々な観点から意見交換を行いながら選定します。

意見交換では真剣な討論の中にも、笑いが絶えない明るく開かれた場となっています。様々な新刊図書をいち早く読めることにも喜びを感じる、読書好きな教員や学校図書館司書が、子どもたちによんでもらいたい図書を、自主的にコツコツと選定する活動を継続しています。

この選定の結果は、札幌市学校図書館協議会及び北海道学校図書館協会

(<http://www.hokkaido-sla.jp/topics/pdf/list>) 及び北海道学校図書館情報センター(イントラネット)の各ホームページで公開しているので、各校の担当者や一般教員の方も、すぐに見ることができます。

### II. 今後の課題

昨年、選定部が企画した研修に③kされた方を中心に、数名が新たに選定会に参加してくださるようになり、選定部からの積極的な発信も重要であると感じました。

優良図書の選定は一朝一夕でできようになるものでもなく、多岐にわたる知識や経験も必要なため、経験豊富な先生から若い先生にも引き継いでいけるような研修等も必要です。



# 札幌市学校図書館協議会会則

## 第1章 総 則

- 第1条 この会は、札幌市学校図書館協議会という。
- 第2条 この会は、札幌市立の学校・幼稚園、並びにこの会の趣旨に賛同する札幌及び近郊の学校・幼稚園で構成する。
- 第3条 この会の事務局は、事務局長の学校内に置く。

## 第2章 目的および事業

- 第4条 この会は学校図書館の運営について協議研究し、学校図書館による教育の充実とその発展を図ることを目的とする。
- 第5条 この会は、次の事業を行う。
1. 研究会
  2. 実務研修会並びに各種講習会
  3. 優良図書のおすすめ並びに共同選定
  4. 読書感想文コンクール
  5. 各種図書館視察研修・文学散歩
  6. 学校図書館ネットワーク事業
  7. 各種実態調査
  8. 公費による学校図書館職員配置に関する運動
  9. その他必要な事業

## 第3章 組 織

- 第6条 この会の目的を達成するために、研究部・事業部を置き、公務を遂行する。
- 第7条 この会は、次の役員と幹事を置く。  
会長1名、副会長3名、監査3名、事務局長1名、事務局員若干名、幹事若干名、参事若干名、顧問若干名
- 第8条 第7条における任務を次の通りとする。
1. 会長は、会を代表する。
  2. 副会長は、会長を助け、または代理する。
  3. 監査は、会の運営を監査する。
  4. 事務局長、事務局員及び幹事は、会務を処理する。
  5. 参事・顧問は、会長の相談に応ずる。
- 第9条 第7条における選出方法を次の通りとする。
1. 会長、副会長及び監査は、役員選考委員会において人選し、総会において承認を得る。
  2. 事務局長、事務局員、幹事及び参事・顧問は、会長が委嘱する。
- 第10条 役員任期は1年とし、補欠により役員となった者の任期は、前任の残りの任期とする。ただし、再任を妨げない。

## 第4章 会 議

- 第11条 この会の会議は、総会と役員会の二つを持つ。
- 第12条 総会は、年1回の定期総会において、予算の承認、予算の審議、役員を選出、その他重要事項を審議する。また、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
- 第13条 役員会は、会長、副会長、事務局及び参事をもって構成し、会長がこれを招集する。

## 第5章 会 計

第14条 この会の経費は、札幌市立の学校・幼稚園にあつては、札幌市教育委員会の補助金、並びに札幌及び近郊の学校・幼稚園の会費、及び協賛金等でまかなう。

※なお、会費は下記の通りとする。

- ・小、中、高等学校は、2,000円
- ・幼稚園は、1,000円

## 第6章 付 則

第15条 この会の細則は別に定める。

第16条 この改正会則は、平成7年5月25日より実施する。

# 選定図書 リスト



2019年1月

< 幼児 >

絵「ももすもも」 新井洋行 講談社 1000  
24P / 20×20cm 978-4-06-513067-4

「なまむぎなまごめなまたまご」など定番から、ちょっとアレンジしたものまで、キュートな「すもも」といっしょにいろんな早口言葉に挑戦してみよう！上手にかまずに読めるかな？

絵「なんげえはなしっこしかへがな」 北彰介・文 / 太田大八・絵 BL出版 1500  
32P / 31cm 978-4-7764-0881-9

「ながーい話をしてやろうかな」という語りで始まる、津軽の「果てなし話」。綿々とくりかえされる言葉が紡ぐ滑稽な昔話全7話を、生き生きとした津軽弁と味わい深い絵で収録する。

絵「うかいのうがい」 さくらせかい ブロンズ新社 1300  
P / 19×27cm 978-4-89309-653-1

ケガをした5羽のウたちを助けたハンさんは、ウたちに魚のとりかたを教えますが、うまくとることができません。何度も教えたので、のどを痛めてしまったハンさんが、がらがらうがいはじめると…。うがいにまつわるおはなし。

< 小学校低学年 >

◎「つきーとカーコのけんか」 おくはらゆめ 佼成出版社 1200  
58P / 20cm 978-4-333-02792-7

100回けんかしても、100回仲直りしようー。ねこのつきーとからすのカーコは、赤ちゃんのときからいっしょの友だち。ある日、どんぐり拾いをしていたカーコと出会ったつきーが、自分もどんぐりを拾い始めると…。

絵「星のひとみ」 サカリアス・トリベウス・原作 / 石井睦美・文 / せなけいこ・絵 KADOKAWA 1300  
P / 21×29cm 978-4-04-107708-5

クリスマスの前の晩。そりから落ち、雪にうもれた赤ん坊のひとみの中に、星のひかりが宿った。農夫に拾われた赤ん坊は、「星のひとみ」と呼ばれて…。フィンランドの大自然を舞台に、神秘的な力を描いた美しい物語。

絵「ほしじいたけほしばあたけ」 石川基子 講談社 1300  
32P / 27cm 978-4-06-513686-7

きのこの子どもたちを病から救うため、ほしじいたけとほしばあたけは、薬づくりの名人、きのこせんになのころへ向かうのですが…。長老きのこの知恵と勇気がつまった、驚きがいっぱいの楽しいきのこ絵本。

< 小学校中学年 >

◎「アイヌ文化の大研究」 中川裕・監修 PHP研究所 3000  
63P / 29cm 978-4-569-78827-2

古くから北海道や千島列島などに暮らしてきた日本の先住民族、アイヌ民族。衣服、行事、言葉、音楽・踊りなど、アイヌ民族の暮らしから文化、歴史までを、イラストや写真とともにわかりやすく紹介する。

知「教科書にでてくる地図記号①まちでみかける地図記号」日本地図センター ほるぷ出版 1800  
24P/31cm 978-4-593-58807-7

地図記号を楽しく覚えて、もっと便利に使えるようになるための本。1は、市役所や病院、神社など、わたしたちがくらすまちを地図で見た時に並んでいる記号と、その意味を写真とともに紹介する。

◎「昭和のお店屋さん」 藤川智子 ほるぷ出版 1600  
39P/29cm 978-4-593-56338-8

昭和のはじめごろ、日本はどんな様子だったのか? パラソル・ショール店、荒物屋、美容院、乾物屋、喫茶店、駄菓子屋…。ちょっと昔の日本のお店屋さんとお客さんの生活を、ていねいな絵で詳しく紹介する。

◎「まいて観察! たね図鑑③木・くだものたね」 おくやまひさし 汐文社 2600  
47P/27cm 978-4-8113-2533-0

植物のたねは色や形、大きさもさまざま。たねをまくと、どうなるのでしょうか? 実際に育てた写真を通して、たねの様子や成長過程をこの本で観察しましょう。3は、どんぐり、リンゴなど、木・くだものたねを紹介します。

◎「世界あっちこちくらし探検」 スージー・レイ・文/グレッグ・パプロツキ・絵 汐文社 2400  
48P/31cm 978-4-8113-2534-7

世界には約200の国があり、75億人が暮らしている。住む場所によって、数多くのちがった文化やくらしがある。買い物、外遊び、お手伝い、運動、お祭り、乗り物など、世界の人々の文化をイラストとともに紹介する。

絵「ねずみのマウリッツ」 イングリット&ディーター・シューベルト作/野坂悦子・訳 文化出版局 1500  
32P/26cm 978-4-579-40468-1

毎晩、「真珠の耳飾りの少女」に会いに行くねずみのマウリッツ。でもある晩、少女が泥棒に盗まれた。マウリッツは、絵からとびだした動物たちと力をあわせて少女を救いだそうと奮闘し…。

## < 小学校高学年 >

◎「うみべの文庫」 堀米薫 文研出版 1400  
159P/22cm 978-4-580-82369-3

宮城県塩竈市に住む長谷川ゆきさんは、集めていた絵本を東日本大震災で津波により失い、家庭文庫を開く夢を諦めかけた。そんな彼女のもとに支援の絵本が届けられ…。絵本と人の出会いを見てきたゆきさんの活動を追う。

◎「たまねぎとはちみつ」 瀧羽麻子 偕成社 1600  
273P/20cm 978-4-03-727310-1

内気で素直な千春は小学5年生。ふとしたことで修理屋のおじさんと知り合うが、そのお店には同じクラスの俊太もいて…。3人の特別な1年の物語。『Kaisei Web』連載を加筆・修正し単行本化。

◎「昨日のぼくのパーツ」 吉野万理子 講談社 1400  
219P/20cm 978-4-06-513907-3

小学6年生の大志は、「昨日のパーツ」=ウンコやおしっこ、について真正面から考える、「昨日のぼくのパーツ研究会」を友だちと立ち上げて…。トイレの悩みをかかえる、すべての人を助ける物語。

◎「クロードッグ」 今西乃子 金の星社 1300  
221P/20cm 978-4-323-07431-3

いじめを受けていた航は虐待された子犬を拾って飼うことに。子犬はいつしか航の心の拠り所となっていくが、そんな時、航はクロードッグを作る会社があることを知り…。「犬たちをおくる日」の著者がおくる衝撃の物語。

◎「みんなたいせつ 世界人権宣言の本」 東菜奈・構成・訳/渋谷敦志・写真 岩崎書店 1700  
43P/28cm 978-4-265-83061-9

第二次世界大戦への深い反省から生まれた「世界人権宣言」には、すべての人がしあわせに、自分らしく生きるための権利が書かれている。条文を簡単な日本語に直した「意識文」を、世界の子供たちの写真とともに掲載した絵本。

◎「あるけ！ねがいをこめて マザー・ジョーンズ」 モニカ・カリング フレーベル館 1600  
32P/26cm 978-4-577-04663-0

世の中から児童労働をなくす活動をしたアメリカ人女性、マザー・ジョーンズ。1903年、彼女は子どもたちとともにフィラデルフィアからデモ行進をスタートさせ…。大統領の家を目指して行進した16日間のものごと。

◎「南極点 夢に挑みつづけた男 村山雅美」 関屋敏隆 ポプラ社 1600  
44P/27×29cm 978-4-591-16066-4

地球で一番南の地点、南極点。1968年、日本の南極観測隊は、日本人として初めて南極点にたどりついた。この偉業には、多くの男たちの情熱があった。ひたすら夢をおいつづけた「南極野郎」の物語。

◎「食事から日本の歴史を調べる①縄文～弥生～奈良時代の食事」 永山久夫 くもん出版 2800  
47P/28cm 978-4-7743-2773-0

昔の日本に暮らした人たちのごはんをビジュアルに紹介。第1巻は、ゆたかな自然のめぐみを生かした縄文時代から、中国の影響を大きく受けた奈良時代までのごはんを収録。当時のごはんのレシピも掲載する。

◎「落語ねこ」 赤羽じゅんこ 文溪堂 1300  
158P/22cm 978-4-7999-0286-8

「心のこり」から成仏しそびれ、飼猫にとりついた落語家の幽霊。でも「心のこり」を忘れてしまったから、ややこしい。その猫をおじいちゃんからあずかった、小5の七海は…。ドジな落語家と少女との笑い涙の物語。

◎「ゆかいな床井くん」 戸森しるこ 講談社 1300  
185P/20cm 978-4-06-513905-9

床井くんは、6年生のクラスがえて、最初に暦のとなりの席になった男の子。ユーモアがあって、考え方のセンスがよくて、ちょっと変わっていて…。小学6年生の4月から卒業までの1年間の物語。

◎「ユンボのいる朝」 麦野圭 文溪堂 1300  
124P/22cm 978-4-7999-0293-6

机の引き出しの中の消しゴムは、菊池くんに万引きさせられたもの。秘密を抱えた幹は、毎朝見上げるビルの上のショベルカー「ユンボ」に力をもらっていた。そして、ユンボの作業員・博巳さんと話をするようになって…。

◎「決定版夢を育てる みんなの仕事300」 渡瀬昌彦 講談社 2800  
271P/24cm 978-4-06-513192-3

スポーツ選手、映画監督から、医師、研究者、公務員まで、さまざまな職業300種を紹介。大谷翔平、羽生善治、春風亭昇太、綿矢りさなど、各界のプロフェッショナルが実際の仕事内容を語るインタビューも収録する。

◎「ミッション・パンダ・レスキュー」 キットソン・ジャジンカ ハーパーコリンズジャパン 1600  
95P/27cm 978-4-596-58353-6

クマなのにタケを食べる、なんともかわいらしい珍獣、パンダ。その本当の姿や、直面している危機について紹介し、パンダのレスキューのために何ができるのかを考える。〈ミッション・アニマル・レスキュー〉シリーズ。

## < 中学校 >

◎「ジュリアが糸をつむいだ日」 リンダ・スー・パーク/ないとうふみこ・訳 徳間書店 1600  
255P/19cm 978-4-19-864748-3

親友パトリックと一緒に、カイコを育てて生糸をとる自由研究をすることになった7年生の韓国系アメリカ人ジュリア。でも「韓国っぽい」研究だと感じ、気乗りがしなくて…。アイデンティティの悩みに向き合う少女の思いを描く。

◎「天地ダイアリー」 ささきあり フレーベル館 1400  
212P/20cm 978-4-577-04698-2

木下広葉、潮風第一中学1年A組。マスクをしないと家から出られないぼくは、スクールカーストのなかで下層にいる。淡々と作業をすればよさそうな栽培委員会に入ったけれど、そこは個性的なメンバーばかりで…。

◎「まんがでわかる日本の行事12か月」 よだひでき ブティック社 1300  
168P/21cm 978-4-8347-9003-0

初もうで、ひな祭り、端午の節句、七夕、ハロウィン、大みそか…。日本の行事や祭りをはじめ、しきたり、国民の祝日、記念日、習慣などを、まんがで楽しく紹介します。

◎「脱・呪縛」 鎌田寛・著/こやまこいこ・絵 理論社 1300

219P / 19cm

978-4-652-20288-3

だれかのせい? なにかのせい? 自分のせい? その呪縛はだれのもの? 医師で作家の鎌田實が、生身で感じ得た「生きる意味」を、そのために持ってほしい「呪縛から脱する力」を、未来に進んでいく十代に向けて全力で語る。

知「クジラのおなかからプラスチック」 保坂直紀 旬報社 1400  
156P / 20cm 978-4-8451-1566-2

このままでは2050年に海の魚の重量を上回るともいわれているプラスチックごみ。その実態は? 人体への影響は? 日本はどう動いているのか? 海洋プラスチックごみ問題の最前線を伝える。

◎「風と行く者―守り人外伝―」 上橋菜穂子 / 佐竹美保・絵 偕成社 1800  
445P / 22cm 978-4-03-540550-4

「天と地の守り人」後のバルサを過去の回想を交えて描く、「守り人」シリーズ外伝。少女時代のバルサとジグロの旅が現在のバルサの旅と交叉し、ゆたかな物語が立ちあがる。

◎「風と行く者―守り人外伝―」 上橋菜穂子 / 佐竹美保・絵 偕成社 1000  
445P / 19cm 978-4-03-750200-3

「天と地の守り人」後のバルサを過去の回想を交えて描く、「守り人」シリーズ外伝。少女時代のバルサとジグロの旅が現在のバルサの旅と交叉し、ゆたかな物語が立ちあがる。ハードカバー版も同時刊行。

◎「おじいちゃんの大脱走」 デイヴィット・ウォリアムズ / 三辺律子・訳 小学館 1600  
383P / 20cm 978-4-09-290617-4

第二次世界大戦の時代、イギリス空軍のパイロットだったおじいちゃんがぼけてきた。ロンドン帝国戦争博物館に入り込んで、スピットファイアーに乗り込んで...。おじいちゃんと孫の、最高にゆかいな冒険物語。

◎「ナチス占領下の悲劇 プラハの子ども像」 早乙女勝元 新日本出版社 1800  
222P / 20cm 978-4-406-06295-4

ナチス占領下、プラハ近郊で起きた悲劇を伝える、子ども像。ナチスをたおすため、東西から進んだ米ソ兵士がトルガウの町で願った平和...。隠れた史実を掘り起こす、「プラハは忘れない」「エルベの誓い」の2作品を収録する。

知「点字ははじめの一步①点字の歴史」 黒崎恵津子・著 / 朝倉めぐみ・絵 汐文社 2800  
57P / 24cm 978-4-8113-2447-0

点字はどんなふうに使われている? 点字は役に立っている? 点字がない時代、視覚障害者はどうしていたの? 点字をつくり、そして受け継いできた歴史を紹介します。点字ページあり。

知「点字ははじめの一步②読む書く、きほんの『き』」 黒崎恵津子・著 / 朝倉めぐみ・絵 汐文社 2800  
56P / 24cm 978-4-8113-2448-7

指でさわって読む文字、点字の読み方と書き方の基本を紹介。文字、数字、アルファベット、記号・符号の覚え方、書き方のきまり、手紙の書き方などを解説する。点字一覧表(凸面・凹面)も掲載。

知「点字はじめの一步③点字とくらす」 黒崎恵津子・著／朝倉めぐみ・絵 汐文社 2800  
53P／24cm 978-4-8113-2449-4

学校生活や仕事場では、どのように点字を使っているの？ 私たちが手伝えることは？ 年齢も、生活環境も異なる3人の視覚障害者の、日々の生活や点字とのかかわりを紹介。点字ページあり。

◎「トリガー」 いうみく ポプラ社 1400  
210P／20cm 978-4-591-16073-2

音羽と亜沙見は、いつも一緒の親友同士。ところが亜沙見の姉が亡くなってから、日に日に彼女の様子がおかしくなり、突然家出をしてしまう。理由は出生の秘密。思春期の少女たちの危うく切実な心理を描く物語。

◎「太陽ときみの声 明日の、もっと未来へ」川端裕人 朝日学生新聞社 1200  
221P／19cm 978-4-909064-56-1

視力が落ちて1年。高校卒業を半年後に控え、一輝は進路について悩んでいた。ブラインドサッカーは楽しいけれど、将来の仕事には直結しない。もやもやしたまま、受験前最後の試合に臨むが…。『朝日中高生新聞』連載を書籍化。

◎「アンネのこと、すべて」 アンネフランクハウス・編 ポプラ社 3200  
P／29cm 978-4-591-15993-4

アンネが生きたのはどのような世界だったのか？ ユダヤ人は、なぜ迫害されなければならなかったのか？ 「アンネの日記」の著者アンネ・フランクの誕生から死、アンネの関係者の現在までをたどる。

◎「わたしを決めつけないで」 小林深雪・落合由佳ほか・著 講談社 1000  
221P／19cm 978-4-06-513911-0

かわいくないからって、自分を嫌いになりたくないんだよ…。「らしく」の呪縛に悩む、主人公たちを描いたアンソロジー。小林深雪「女子力なんてない!」、落合由佳「兄弟前夜」など4編を収録。

◎「すらすら読める日本の古典 徒然草」兼好法師／長尾剛・文／若菜等+Ki 汐文社 1800  
168P／22cm 978-4-8113-2528-6

「木登り名人の話」「知らんことは人に聞け」「無意識のなまけ心」…。教科書にも出てくる古典『徒然草』が、愉しくリズムのよい現代文と、美しい挿し絵で、すらすら読める。原文も収録。

◎「藤野先生と魯迅」 加来耕三 ポプラ社 1000  
P／22cm 978-4-591-16050-3

明治三十七（一九〇四）年一。中国からやってきた留学生・魯迅（周樹人）が、仙台医学専門学校に入学しました。この、たったひとりで異国の地にやってきた留学生を指導したのが、藤野厳九郎であった。魯迅はその恩と愛情を忘れることなく中国にもどった後も、藤野先生を生涯の恩師として慕いつづけたのでした。

2019年2月

## < 幼児 >

絵「おおかみのこがはしってきて」 寮美千子・文／小林敏也・絵 ロクリン社 1700  
31P／27cm 978-4-907542-66-5

おおかみのこが走ってきて、つるつと転んだ。それは氷がおおかみよりもずっと偉いから。氷を溶かす太陽は氷よりも偉い。ではいちばん偉いものって何だろう？ アイヌの深い知恵を伝える、命の物語。

## < 小学校低学年 >

◎「やぎこ先生いちねんせい」 ななもりさちこ・文／大島妙子・絵 福音館書店 1700  
109P／22cm 978-4-8340-8439-9

やぎやま小学校にやってきた、新人のやぎこ先生。着る服に迷って遅刻したり、夏休みの宿題を出し忘れたり…。校長先生に怒られてばかりのやぎこ先生が、生徒のこやぎたちと成長していく様子をユーモアたっぷりに描く。

## < 小学校中学年 >

◎「ブルガリアのむかしばなし 金の鳥」 八百坂洋子・文／さかたきよこ・絵 BL出版 1600  
40P／30cm 978-4-7764-0863-5

王に命じられて金の鳥をさがす旅に出た3人の王子。途中で出会ったおじいさんの忠告をきいた勇気ある末の王子は…。ブルガリアの幻想的なおはなし。世界のむかしばなし絵本シリーズ。

知「つらら みずとちきゅうのちから」 細島雅代・写真／伊地知英信・文 ポプラ社 1500  
35P／21×26cm 978-4-591-16107-4

つららは、どんなところでできるのかな？ つららは、どうして長くなるのかな？ 冬になると身の回りや自然の中で見かけるつらら。つららの知られざる魅力を、美しい写真とともに伝える。つららをつくる実験も紹介。

絵「介助犬レスキューとジェシカ」 ジェシカ・ケンスキー&パトリック・ダウネス/スコット・マグレー・絵 BL出版 1500  
32P／24×26cm 978-4-7764-0877-2

大けがで足を失い失意の底にある少女ジェシカのもとに、盲導犬から介助犬になったレスキューがやってきた。ふたりの息はぴったりで…。実話をもとにした絵本。

◎「子ねこリレー大作戦 小さな命のバトンをつなげ！」 今西乃子・著／浜田一男・写真 合同出版 1300  
135P／22cm 978-4-7726-1364-4

みんなができることをすこしずつ協力して、のらねこや捨てねこを助ける「子ねこリレー事業」を紹介。命のバトンをつなぐため、奮闘する獣医さんたちの活動をえがいたノンフィクション。

## < 小学校高学年 >

◎「売り声図鑑②江戸の長屋の春夏秋冬」 宮田章司 絵本塾出版 1800  
32P／27cm 978-4-86484-140-5

「江戸売り声」という切り口で、庶民の暮らしに迫るシリーズ。2は、季節を楽しむ達人だった江戸の人々の長屋の暮らしを、正月の羽根売り、風鈴売りなど、四季折々の売り声とともにイラストで案内する。

江戸の十二カ月も紹介。

- ◎「少女は森からやってきた」 小手鞠るい PHP研究所 1400  
157P/20cm 978-4-569-78835-7

両親の離婚によってアメリカの小学校から転校してきたエリカ。殻にとじこもって、友だちなんていないし欲しいとも思わなかった美幸は、宇宙人のようなエリカと出会って....

- ◎「ようこそ！葉っぱ科学館」 多田多恵子 少年写真新聞社 1500  
47P/19×27cm 978-4-87981-660-3

いつも狙われている「葉っぱ」。草食の虫や動物だけでなく、暑さ寒さや乾燥も強敵で。葉っぱにひそむガラスのトゲやダニ部屋のある葉っぱなど、生き残るために知恵を働かせている葉っぱを写真とともに解説する。

- ◎「ルイジンニョ少年 ブラジルをたずねて」かどのえいこ ポプラ社 1800  
132P/22cm 978-4-591-16118-0

ポルトガル語を教えてくれたルイジンニョ少年、多様な人々との生き生きした交流...。1959年に自費移民としてブラジルに渡航し、2年間滞在した経験を、みずみずしい筆致で描く。書き下ろしエッセイも収録。

## < 中学校 >

- ◎「世界のいまを伝えたい」 久保田弘信 汐文社 1500  
207P/20cm 978-4-8113-2564-4

むごたらしい戦争、それに巻き込まれてしまった罪なき人々...。イラク北部でのIS掃討作戦に、外国人として唯一従軍するなど、世界各地で活躍中のフォトジャーナリストが、アフガニスタンやイラクで見た“真実”を伝える。

- ◎「ことばハンター 国語辞典はこうつくる」飯間浩明 ポプラ社 1200  
174P/20cm 978-4-591-16072-5

国語辞典をつくるために、ことばを集め、説明を書く。そのために、毎日本やテレビ、インターネットや街の中などを観察し、ことばを探す、「三省堂国語辞典」編集委員の著者が、辞書をつくる仕事について綴る。

- ◎「子犬たちのあした ロンドン大空襲」ミーガン・リクス/尾高薫・訳 徳間書店 1600  
213P/19cm 978-4-19-864766-7

第二次世界大戦下、空襲のさなかに地下鉄の駅で生まれた新しい命。2匹の子犬の成長を縦糸に、毎夜の空襲に耐えて生きるロンドン市民の日常を横糸に綴る戦争児童文学。「戦火の三匹」の姉妹編。

- 知「からだのなかのびっくり事典」 奈良信雄・監修/加納徳博・絵 ポプラ社 1000  
159P/19cm 978-4-591-16041-1

体を洗いすぎると逆にくさくなる？ ふたつの鼻の穴は交代でサボっている？ 人間のからだのなぞをとりあげ、イラストとともにわかりやすく解説する。「ざんねん度」も掲載。

2019年3月

< 幼児 >

絵「いき」 中川ひろたか・作／北村裕花・絵 アリス館 1400  
28P／29cm 978-4-7520-0881-1

ふだん、あまり気にしていないけど、ぼくたちは空気の中の酸素を吸って生きている。人間だけじゃなくて、いろんな生き物が息をしている。でも最近、森が少なくなって、植物が吐く酸素の量が減ってきていて...

絵「でんしゃからバイバーイ」 いしづちひろ・作／きたむらしん・絵 くもん出版 800  
24P／19×19cm 978-4-7743-2823-2

大好きなでんしゃに乗りこんだら、靴をぬいで、座席にあがって、準備完了！窓から見える、駅員さんや大きな山にバイバーイ。読みながらいっしょに手を振って楽しめる絵本。

絵「おしいれじいさん」 尾崎玄一郎・尾崎由紀奈 福音館書店 900  
31P／27cm 978-4-8340-8440-5

ある家のおしいれに、おしいれじいさんがこっそり住んでいます。じいさんは、夜になると起きだし遊びはじめます。つりざおを見つけたじいさんは、さっそく使ってみることに。ぴゅーんとふりおろすと、はりにかかったのは...

絵「Dod By My Side パパといっしょ」 スーシー／高橋久美子・訳 トゥーヴァージンズ 1500  
P／24cm 978-4-908406-20-1

おもしろいことして、すぐ私を笑わせるパパ。どんなに忙しくても、私の話を聞いてくれるパパ。パパといっしょなら、どこにいたって、何をしてたって、私はうれしい...。父と娘のかけがえのない時間を美しい水彩画で描いた絵本。

< 小学校低学年 >

◎「ジャックのどきどきモンスター」 サム・ズッパルディ／福本友美子・訳 光村教育図書 1400  
32P／27cm 978-4-89572-236-0

ジャックはトランペットを吹くのが大好きな男の子。楽しみにしていた発表会の当日、ジャックの前にどきどきモンスターが現れて...。初めて不安に向き合う子どもの心情をやさしくていねいに描く。

◎「どうぶつかぞくアフリカゾウ よわむしトトといのちの石」 如月かずさ・作／田中六代・絵 講談社 1200  
74P／22cm 978-4-06-514169-4

アフリカゾウの子ども・トトは、具合が悪くなったお母さんのため、群れを抜け出し、「いのちの石」を探しに行くことに...。おはなしを楽しみながら動物にくわしくなれるシリーズ。

◎「ソテイー、がっこうへいく」 パット・ジトロー・ミラー・文／アン・ウィルズドルフ・絵 光村教育図書 1400  
32P／26cm 978-4-89572-234-6

1年生になったソフィーは、初めて学校に行きました。でも、学校は全然面白くないし、お友だちだっほしくありません。なのに、授業のときも、遊んでるときも、スティーブンという男の子が、いつも近づいてきて...

◎「おにいちゃんとぼく」 ローレンス・シメル・文／ファン・カミーロ・マヨルガ・絵 光村教育図書 1200  
32P／22×22cm 978-4-89572-237-7

目が見えないけれど、僕のお兄ちゃんはすごいんだ。記憶力がいいし、暗闇の中でも点字の本が読めて...。誰もが認められ、活かされるインクルージョンな日々を、透明感のある水彩と繊細な線画で描いた絵本。

◎「かんぺきなこども」 ミカエル・エスコフィエ・作／マチュー・モデ・絵 ポプラ社 1400  
26P／27cm 978-4-591-16108-1

マカロン夫妻の家に、ピエールというこどもがやって来ることになりました。最初のうち、ピエールは「かんぺきなこども」にみえたのですが...。「家族」について考えさせられる、フランスのユーモア絵本。

◎「どうぶつかぞくライオン レオ、たいせつなゆうき」 村上しいこ・作／こばようこ・絵 講談社 1200  
74P／22cm 978-4-06-514170-0

お母さんたちと群れで暮らす子どもライオンのレオとタオは、群れからはぐれた赤ちゃんライオンを見つけ...。おはなしを楽しみながら動物にくわしくなれるシリーズ。

◎「ちびしろくまのねがいごと」 小林深雪・作／庄野ナホコ・絵 講談社 1200  
74P／22cm 978-4-06-514578-4

ユールとミールは、ホッキョクグマの双子の男の子。春になって、巣穴の外に出たこぐまたちは、おかあさんのマネをして歩き...。おはなしを楽しみながら動物にくわしくなれるシリーズ。

◎「ジャックとまめのき イギリスの昔話より」 早野美智代・文／高島那生・絵 フレーベル館 1280  
34P／28cm 978-4-577-04682-1

め牛を豆つぶととりかえてしまったジャック。お母さんは怒って豆つぶを捨ててしまいます。しかし次の日の朝、庭には大きな豆の木が天までのびていました。ジャックは大喜びで豆の木を登っていきますが...。

◎「スキヤリーおじさんのとつてもたのしいえいごえじてん」 リチャード・スキヤリー BL出版 2500  
71P／31cm 978-4-7764-0885-7

日用品から色、遊具、道具や乗り物、食べ物、数の数え方まで、かわいい動物たちの絵を楽しみながら、英単語が学べるじてん絵本。英単語にはカタカナのふりがな付き。

### < 小学校中学年 >

知「北国からの動物記 クマゲラ」 竹田津実・文／写真 アリス館 1400  
37P／26cm 978-4-7520-0876-7

アイヌの神であるクマゲラ。冬の間クマゲラの仕事ぶりを見るために、森へと出かけてみると、作りかけの丸木舟のような木が...。北国からの動物記。見返しに写真あり。

知「スズメのくらし たくさんのふしぎ傑作集」 平野伸明 福音館書店 1300  
39P／26cm 978-4-8340-8442-9

とても身近なのに、そのくらしぶりが知られていないスズメ。なかまをふやすために、見事な工夫をしているスズメのくらしを、豊富な写真で紹介する。月刊『たくさんのふしぎ』から生まれた本。

◎「アンバー・ブラウンのなつやすみ」ポーラ・ダンジガー／むかいながまき・絵 文研出版 1300  
127P／22cm 978-4-580-82373-0

学年終わりの夏休みをパメラおばさんと海外で楽しく過ごすため、あこがれのロンドンとパリへ旅立ったアンバー。ところが旅行は、チキン・ボックス(水ぼうそう)のおかげで、いきなりつまずいてしまって…。

絵「とびきりおかしなマラソンレース 1904年セントルイスオリンピック」メーガン・マッカーシー 光村教育図書1500  
41P／25cm 978-4-89572-233-9

1904年のセントルイスオリンピックでのマラソン競技の様子を伝えるノンフィクション絵本。選手がお腹を壊したり、モモを盗んで食べたり、野良犬に追いかけられたり…。今では考えられないようなエピソードが満載。

◎「ボク、もぐらんぴあ 東日本大震災で全壊した水族館の物語」 朝日学生新聞社1300  
79P／22cm 978-4-909064-58-5

岩手県久慈市にある地下水族科学館「もぐらんぴあ」は、東日本大震災で大きな被害を受けた。2016年に再オープンするまでの軌跡を紹介。さかなクンのイラスト満載のお魚図鑑も収録。

絵「その手がおぼえてる」 トニー・ジョンストン・文／エイミー・ベイツ・絵 BL出版 1500  
32P／27×26cm 978-4-7764-0879-6

冬のある日やってきた小さなあなたの手を、母さんはやさしくにぎる。初めてあなたが立った日、母さんの手があなたをしっかりと支えてくれた。あなたは成長し、旅立つ時が来て…。親子の手が紡ぐ、穏やかでかけがえのない物語。

絵「お話の種をまいて プエルトリコ出身の司書プーラ・ベルプレ」  
アニカ・アルダムイ・デニス・作／パオラ・エスコバル・絵 汐文社 1800  
37P／29cm 978-4-8113-2589-7

1920年代、ニューヨーク公共図書館で働くことになったプーラは、故郷・プエルトリコの民話が本棚に一冊もないことに気づき…。司書、作家の枠にとらわれず活躍した「ラテンアメリカ文化の母」プーラ・ベルプレの物語。

## ＜小学校高学年＞

◎「イクバルの闘い 世界一勇気ある少年」フランチェスコ・ダダモ すずき出版 1600  
221P／22cm 978-4-7902-3348-0

パキスタンのじゅうたん工房で、休みなく朝から晩まで奴隷のように働かされる700万人の子どもたち。そんなある日、ひとりの少年が憤然と立ち上がった！実話をもとに描く衝撃の物語。

◎「モノ・ジョーンズとからくり本屋」シルヴィア・ビショップ フレーベル館 1400  
181P／21cm 978-4-577-04692-0

ロンドンにあるからくり本屋こと、〈モンゴメリー本の王国〉。そこには、からくりだけではない、もうひとつの秘密があった。知らずにその書店を引き継いだジョーンズ一家の女の子モノにもまた、家族にいない秘密があつて....。

◎「夕焼け色のわすれもの」 たかのけんいち 講談社 1400  
155P/20cm 978-4-06-514505-0

クラスメートの忘れ物を届けるため団地へ行った、小6の翔太と純。2人はそこで不思議な光景を目にする。次の日、翔太が祖父にそのことを話すと、もう団地には行かないほうがいいと言われ....。

◎「くまくらべ 世界のくまをくらべてみよう」 ケイティ・ヴィガーズ 東京書店 1380  
32P/31cm 978-4-88574-484-6

ヒグマ、ホッキョクグマ、ツキノワグマにジャイアントパンダ...。世界中のさまざまなくまの生態をかわいいイラストで紹介。さらに、食事、泳ぎ、木登り、足の速さなども比較します。見返しにイラスト地図あり。

◎「ミッション・シロクマ・レスキュー」 ナンシー・F・キャストルド、カレン・デ・シーヴ ハーパーコリンズ・ジャパン 1600  
95P/27cm 978-4-5965-8355-0

北極圏にすむシロクマは、地球上でいちばん大きくて、強いクマ。でも、地球温暖化のせいで絶滅の危機にある。シロクマのレスキューのために何ができるのかを考える。〈ミッション・アニマル・レスキュー〉シリーズ。

◎「ネコ博士が語る体のふしぎ HUMANBODY」  
ドミニク・ウォーリマン・文/ベン・ニューマン・絵 徳間書店 2300  
63P/30×30cm 978-4-19-864795-7

人間の体って、何でできているの？ 体の中には、いくつ骨があるんだろう？ 皮膚は、なんのためにあるの？ 40兆もの細胞でできていて、とても複雑なつくりになっている人体の謎を、ネコ博士がわかりやすく解き明かします。

◎「セリト、どうみえる？ セリトの願いは地球を救うこと」  
ソイラ・ゴンザレス・ベネガス・原作/絵/タケシタナカ・文 今人舎 1600  
39P/21×22cm 978-4-905530-78-7

セリトの住むキューバでは毎年巨大なハリケーンがやってくる。その原因は...。キューバ人イラストレーターが描いた色彩感覚豊かなイラストとタケシタナカの文章で、地球規模の環境問題を描いた絵本。英訳付き。資料編も掲載。

## < 中学校 >

◎「ぼくだけに見えるジェシカ」 アンドリュー・ノリス/橋本恵・訳 徳間書店 1500  
221P/19cm 978-4-19-864793-3

ファッションに興味を持ち、学校で孤立している男の子・フランシス。ある寒い冬の日、校庭のベンチにいと、ノースリーブの女の子が現われて...。幽霊の少女との友情を通して変わってゆく少年たちの姿を描く、心にしみる物語。

◎「国谷裕子と考える SDG sがわかる本」国谷裕子・監修 文溪堂 4500  
95 P / 30 cm 978-4-7999-0301-8

「みんなが幸せな世界」を実現するには？ 貧困、飢餓、健康と福祉、教育、ジェンダー平等…。国連で採択された「2030アジェンダ」で打ち出された「持続可能な開発目標(SDGs)」の17のゴールについて解説する。

◎「語りつごう沖縄②琉球王国から沖縄県へ」安斎育郎・監修 新日本出版社 2500  
39 P / 27 cm 978-4-406-06326-5

日本の一番南にある沖縄県。ほかの県とはちがう波乱に満ちた歴史がある沖縄の「むかし」「いま」「これから」について考える。2は、琉球王国が沖縄県になるまでの歴史や、沖縄戦の舞台になった理由に迫る。

◎「語りつごう沖縄③悲劇の沖縄戦」 安斎育郎・監修 新日本出版社 2500  
39 P / 27 cm 978-4-406-06327-2

ほかの県とはちがう波乱に満ちた歴史がある沖縄の「むかし」「いま」「これから」について考える。3は、日本で唯一の大規模な地上戦と言われる沖縄戦の実相を、豊富な写真とともに紹介する。

◎「音楽のあゆみと音の不思議②中世からバロックの音楽」小村公次 大月書店 3000  
40 P / 29 cm 978-4-272-40972-3

音楽が人びとの暮らしのなかでどのように楽しまれていたかに注目して、音楽のあゆみを、時代や社会の動きとともに紹介。2は、中世の音楽からルネサンス音楽、バロック時代の音楽までを取り上げる。見返しに年表あり。

◎「数字はわたしのことば ソフィー・ジェルマン」シェリル・バード文/バーバラ・マクリントック絵 ほるぷ出版 1600  
34 P / 27 cm 978-4-593-10021-7

女の子が数学を勉強するなんて、とんでもないことと言われていた時代。それでもソフィーは…。フェルマーの定理の一部を最初に証明した数学者、ソフィー・ジェルマンを、彼女の手紙や日記、歴史家による著作をもとに描く。

◎「つくられた心」 佐藤まどか/浦田健二・絵 ポプラ社 1400  
175 P / 20 cm 978-4-591-16205-7

新設のモデル校では、イジメ防止のアンドロイドが1クラスに1体配置されている。やがてクラス内でアンドロイド探しが始まり…。近未来の東京を舞台に、AIと人間が共存する社会を描く。

◎「邪馬台戦記Ⅱ狗奴王の野望」 東郷隆/佐竹美保・絵 静山社 1700  
261 P / 20 cm 978-4-86389-498-3

このナカツクニ(邪馬台国)は大きくなりすぎた。ひそかに苦悩する女王・卑弥呼。人々を養うためには東の国との貿易が不可欠だ。卑弥呼の命を受けた少年ワカヒコは…。日本のルーツと邪馬台国の謎に迫る古代冒険小説。

## < 高等学校 >

- ◎「戦争のころの少年少女たち」 岐阜空襲を記録する会・編 岐阜新聞社 1111  
P / 26cm 978-4-87797-260-8  
戦争は教育を歪め、子どもたちの体や心を苛んだ！岐阜空襲の悲劇を風化させてはならない！生々しい戦争の爪痕が残された「岐阜市平和資料室」所蔵の写真や歴史資料に新たな解説を加え、平和を願う市民の声に応えた待望の一冊！戦争体験者が少なくなる中、当時の証言には、鮮明で貴重な記憶が残されています。(宣伝文)
- ◎「奇跡の本屋をつくりたい くすみ書房のオヤジが残したもの」久住邦晴 ミシマ社 1500  
P / 17cm 978-4-909394-12-5  
「なぜだ！？売れない文庫フェア」「中高生はこれを読め！」「ソクラテスのカフェ」…ユニークな企画を次々と生み出し、地元はもちろん、遠方からも愛された札幌・くすみ書房の店主。閉店後、病が発覚し、2017年8月末、他界。その著者の遺稿を完全収録。(宣伝文)
- ◎「ほっかいどう先人探訪 北の歴史を彩った53人」読売新聞北海道支社編集部 柏艚舎 1800  
P / 20cm 978-4-434-25449-9  
日本列島を構成する四つの大きな島のうち、最も北にあるこの大地が「北海道」と名付けられてから150年。読売新聞は、北海道の歴史を彩った様々な人物を紹介する企画「先人探訪」を、北海道版に連載。箱館戦争を戦った榎本武揚ら歴史上の人物から、昭和の大横綱大鵬や小説家の三浦綾子ら、21世紀を生きる私たちにもなじみのある人物、さらには北海道の名付け親、松浦武四郎を含め、53人を紹介。(宣伝文)
- ◎「世界に一軒だけのパン屋」 野地秩嘉 小学館 1600  
263P / 19cm 978-4-09-388547-8  
北海道十勝に店を構える、創業68年の「満寿屋」。不可能といわれた国産小麦100%使用を成功させた、行列の絶えない奇跡のパン屋の物語。『STORY BOX』連載を単行本化。
- ◎「ヴィオラ母さん 私を育てた破天荒な母・リョウコ」ヤマザキマリ 文藝春秋 1300  
239P / 19cm 978-4-16-390962-2  
ヴィオラ演奏家という職業を選び、音楽と娘と自分の人生を真摯に愛する規格外の母リョウコ。昭和の破天荒シングルマザーが鼻息荒く生きて来た道を、娘のヤマザキマリが綴る。『CREA』連載を改題、加筆・修正して単行本化。
- ◎「本と鍵の季節」 米澤穂信 集英社 1400  
296P / 20cm 978-4-08-771173-8  
高校2年の図書委員、次郎と詩門は、先輩から亡くなった祖父が遺した金庫の鍵の番号を探り当ててほしいと言われ…。図書室に持ち込まれる謎に、ふたりの男子高校生が挑む。全6編を収録。『小説すばる』掲載に加筆し単行本化。
- ◎「海わたる聲」 中尾則幸 柏艚舎 1800  
P / 20cm 978-4-434-25520-5

昭和二十年八月二十二日の朝、増毛沖と鬼鹿沖で樺太からの引揚げ船三隻が、相次いでソ連潜水艦の魚雷と艦砲射撃の標的にさらされた。泰東丸と小笠原丸が沈没、第二新興丸は大破し、千七百人を超える引揚げ者が犠牲となった。彼らは何故、大戦終結直後に命を奪われなくてはならなかったのか。日本人が忘れてはならない悲劇、「留萌沖三船殉難事件」を元に綴られた感動のドキュメンタリーノベル。(宣伝文)

2019年4月

### < 幼児 >

絵「やるとおこられそうなこと」 川之上英子・作／川之上健・絵 岩崎書店 850  
P／18×19cm 978-4-265-83067-1

ズボンを頭にかぶって「うさぎ」。半分に切ったキウイを目のところにもってきて「びっくりしたひと」。スパゲッティで...? くすっと笑えて思わずやってみたくなる、面白いはずらが登場するユニークな絵本。

絵「ももんちゃんあそぼう おんぶおんぶのももんちゃん」 豊田一彦 童心社 800  
24P／21cm 978-4-494-01562-7

ももんちゃんとひつじさんが走っていたら、疲れちゃったひつじさんが「ももんちゃん、おんぶ」だって。ももんちゃんがひつじさんをおんぶして走っていると、きんぎょさんや、さぼてんさんもやってきて...

絵「ガンピーさんのドライブ」 ジョン・バーニンガム ほるぷ出版 1400  
32P／24×24cm 978-4-593-10080-4

ガンピーさんが、ドライブにでかけると、途中でうさぎ、ねこ、ひつじ、こうし、やぎたちが一緒に行くと乗り込んだ。雨が降り、山道をのぼらなくなってしまった車を押すことになるが...。「ガンピーさんのふなあそび」の姉妹編。

絵「おばけのマーलとたのしいオーケストラ」 なかいいい・絵／けーたろう・文 中西出版 1200  
24P／×cm 978-4-89115-361-8

マーलは古い洋風ホテルにすむおばけのシリーズ第9弾! 「カシミア」と、近くのホールの「えんそうかい」へおでかけすることに。こいきなカシミアから楽しみ方を教えてもらいながら、マーलははじめてのえんそうかいを迎えますが…。マーलと札幌交響楽団のコラボレーションが実現しました。(宣伝文)

### < 小学校低学年 >

◎「カイとティム よるのぼうけん」 石井睦美・作／ささめやゆき・絵 アリス館 1400  
139P／22cm 978-4-7520-0861-3

「きょうからぼく、ひとりでねむることにするよ」6歳の誕生日にそう宣言したカイくん。そんなカイくんの部屋にあらわれたのは、422歳(!)の「おてつだい妖精」で...?! あたらしくどこか懐かしいファンタジー。

◎「ビーバのそらのたび」 マグナス・ウェイトマン／のざかえつこ・訳 フレーベル館 1400  
40P／30cm 978-4-577-04737-8

ビーバーのビーバと冒険家のアキタが、いろんな生き物の家をさがして、気球でぐると世界一周! 建

築家である絵本作家が、ビーバーからシロアリ、ニワシドリまで、13種類の生き物たちの家を描く。

◎「ありちゃんあいうえお かこさとしの71音」かこさとし 講談社 1300  
79 P / 20 cm 978-4-06-514269-1

「いぬちゃん いそぐ」「がまちゃん がんぼる」「ぼすとのそばに ぼぷらのき」…。50音ならぬ71音を子どもたちに覚えてもらうための表題作と、2人の孫を見つめた「まごまごのうた」を収録した、かこさとしの詩集。

◎「たべものやさんしりとりたいかいかいさいします」シゲタサヤカ 白泉社 1200  
P / 21 × 21 cm 978-4-592-76246-1

商店街で「しりとり大会」が開催されることに。おすしやさんにパン屋さん、ケーキ屋さん、ラーメン屋さん、八百屋さん…。食べ物たちが、優勝目指して奮闘！笑いあり、涙ありで、心も満腹になる絵本。

### < 小学校中学年 >

絵「みんなとちがうきみだけど」ジャクリーン・ウッドソン・作/ラファエル・ロペス・絵 汐文社 1600  
P / 28 cm 978-4-8113-2591-0

教室に入ると、みんながきみとは違っています。それは肌の色かもしれませんが、服かもしれませんが。でも、きみのそばには、勇気あるもうひとりのきみが立っていて。「みんなとちがう」子どもたちに贈る、温かなメッセージ絵本。

知「イチからつくるポテトチップス」 岩井菊之・編/中谷靖彦 農文協 2500  
36 P / 27 cm 978-4-540-18138-2

イチからポテトチップスをつくってみよう！加工用のジャガイモでポテトチップスをつくる工程を写真とともに解説。油糧用ヒマワリの栽培や植物油の自給率、海水からの塩づくりなども説明する。

絵「ノロウェイの黒牛 イギリス・スコットランドのむかしばなし」なかがわちひろ・文/さとうゆうすけ・絵 BL出版 1600  
40 P / 30 cm 978-4-7764-0864-2

身の毛もよだつ怪物とされるノロウェイの黒牛と結婚してもいいというむすめ。むすめは黒牛にかけられた呪いを知り…。スコットランドに伝わるふしぎな恋のはなし。世界のむかしばなし絵本シリーズ。

絵「ちいさな魔女とくろい森」 石井睦美・作/岡田千晶・絵 文溪堂 1500  
32 P / 27 cm 978-4-7999-0314-8

満月の夜、ちいさな魔女は一羽のカラスをつれて、おおきな魔女と一緒に北の国にむかいます。その森は病気で、魔女たちがきてくれるのを待っていて…。森を守るちいさな魔女の成長を描く。

絵「らくごえほん てんしき」 川端誠 角川書店 1400  
P / 31 cm 978-4-04-107986-7

ある日、「てんしきはあるか？」と医者に尋ねられた和尚。さっぱり分からないのに、「ありません」と知っているふりをしてしまった和尚に、いたずら好きな小坊主がとった行動とは？日本語の楽しさが詰まった落語絵本。

絵「ポリぶくろ、1まい、すてた」ミランダ・ポール・文／エリザベス・ズーノン・絵 さえら書房 1500  
P／24×28cm 978-4-378-04147-6

アフリカのガンビアの小さな村で、アイサトという女の人が破れたポリ袋を地面に捨てました。やがてゴミは2枚に、10枚に、ついには100枚に。ゴミの山に気づいたアイサトは、自分たちでなんとかしようと立ち上がり…。

◎「嵐をしずめたネコの歌」アントニア・バーバー・作／ニコラ・ベイリー・絵 徳間書店 1700  
62P／22cm 978-4-19-864827-5

ある年の冬、「嵐の大ネコ」があばれて海が荒れました。年をとった漁師と暮らすネコのモーザーにだけ、その姿が見えていて…。イギリスの小さな漁村の伝説をもとにした、勇気あるネコと漁師の心あたたまる物語。

◎「てがみのひみつ」 寺井広樹・原作／ビーゲンセン・文／鈴木びんこ 絵本塾出版 1300  
32P／25cm 978-4-86484-144-3

かなは、段ボール箱に入れて捨てられていた仔犬を拾い、「シロ」という名前をつけました。シロが虐待にあっていたと知って、大切に育てました。数年後、シロが交通事故で死んでしまい、かなはシロに手紙を書くことに…。

### < 小学校高学年 >

◎「かがやけ！虹の架け橋 3.11大津波で3人の子どもを失った夫妻の物語」漆原智良 アリス館 1300  
111P／20cm 978-4-7520-0886-6

東日本大震災で、わが子3人を失った、遠藤さん夫妻。生きる望みを失いかけたふたりを支えたのは、木工遊具「虹の架け橋」だった。木工遊具の製作を通して、人が悲しみに直面しながらも生きていく姿を描く、著者渾身のノンフィクション。(宣伝文)

◎「チギター！」 蒔田浩平 ポプラ社 1300  
165P／19cm 978-4-591-16226-2

引っ込み思案で、卓球が好きな小学5年生の千木田寛仁。クラスで行うレクリエーションは一部の男子の強い主張でいつもサッカーやバスケットになっていた。そのことがずっと心に引っかかっていた千木田は…。

◎「いつか、太陽の船」 村中季衣 新日本出版社 1500  
170P／20cm 978-4-406-06337-1

宮城県・気仙沼で大地震にあった海翔は、家族みんなで北海道・根室に移住した。造船業を営む両親は、ここで再出発をはたすが、海翔は今も津波の記憶に苦しんでいた。そんなある日、海翔はほくろのあるカモメに出会い…。

◎「魔女裁判の秘密」 樹葉 文研出版 1400  
167P／22cm 978-4-580-82349-5

17世紀のオランダにタイムスリップした理沙。そこでは魔女裁判が行われ、魔女秤で魔女と判断されると、火あぶりの刑になってしまうという。理沙は、魔女の疑いをかけられているアリーナを救い出し、元

の時代に戻れるのか。

## < 中学校 >

◎「キャプテンマークと銭湯と」 佐藤いつ子・作／佐藤真紀子・絵 角川書店 1300  
241P／20cm 978-4-04-107705-4

サッカークラブのキャプテンだった周斗は、U-14活動初日、コーチから、大地にキャプテンを替えると告げられる。不安と苛立ちの中、周斗は偶然、かつて祖父とよく来た懐かしい銭湯を訪れたことで、逞しく成長していき…。

◎「カゲロボ」 木皿泉 新潮社 1400  
254P／20cm 978-4-10-352431-1

カゲロボというものがいるらしい。学校で、職場で、病院で、家庭で、街角で、カゲロボは私たちをずっと見守っていてくれるのだろうか？ それとも罰するためにいるのだろうか？ 『小説新潮』他掲載を改題して単行本化。

知「日本の伝統文化仕事図鑑①芸能・芸術・武道・食ほか」 ワン・ステップ・編 金の星社 3900  
79P／29cm 978-4-323-06186-3

日本の伝統文化にたずさわる、いろいろな仕事を紹介。芸能・芸術・武道・医業・遊戯・食・農林水産といったジャンルのさまざまな仕事を、豊富な写真をまじえて解説する。自分の好きな仕事を見つける、大切なきっかけとなる本。

知「ニュース年鑑2019」 池上彰・監修 ポプラ社 3500  
223P／25cm 978-4-591-16138-8

本書は、2018年1月から12月に起きたニュースのうち、代表的なものを88取り上げ、写真と図版も使ってわかりやすく紹介した本です。時事問題特有のむずかしい言葉も、用語解説でわかりやすく解説しており、ニュースの理解を助けます。監修は本シリーズでもおなじみとなり、多方面のメディアで活躍する池上彰氏がつとめます。(宣伝文)

知「スポーツ年鑑2019」 ポプラ社 3500  
223P／25cm 978-4-591-16139-5

世界の主要な大会からパラスポーツ、若手選手の活躍まで。平昌オリ・パラ、サッカーW杯、アジア競技大会をはじめ、約150の重要な出来事を、200点を超える写真でていねいに紹介。競技のルールや、試合観戦に役立つ情報も満載の1冊です。(宣伝文)

019年5月

## < 幼児 >

絵「ぞうのヘンリエッタさん」 リズ・ウォン／石津ちひろ・訳 岩崎書店 1400  
P／27cm 978-4-265-85149-2

静かな暮らしが好きなぞうのヘンリエッタさん。突然がちょうのひなを育てることになり、生活はがらりと変わります。ヘンリエッタさんは、すっかり疲れ果ててしまいますが…。ドタバタの子育てと「その後」を描いた絵本。

絵「もじもじこぶくん」 小野寺悦子・文／きくちちき・絵 福音館書店 900  
27P／20×27cm 978-4-8340-8455-9

アイスクリームを買いにきた、はずかしがりやのこぶたのこぶくん。注文できず、ほかのお客さんに割り込まれてももじもじ。なにも言えません。しかし、ありのありいちゃんのために勇気が出てきて…。

絵「うちゅうじんはいない!？」 ジョン・エイジー／久保陽子・訳 フレーベル館 1400  
32P／30cm 978-4-577-04767-5

宇宙人はいると信じて、遠い星にやってきた主人公。「必ずみつけてみせる」と意気込むが、まわりには岩と土しか見えなくて…。宇宙人はいるのか、いないのか？ 読者だけが答えを知っている、ユーモア絵本。

絵「はりねずみのぼうけん」 ディック・ブルーナ／まつおかきょうこ・絵 福音館書店 700  
28P／17×17cm 978-4-8340-8425-2

マフラーを買いに大きな町へ来た、はりねずみのはりこちゃん。町には車がたくさん走っています。お店の前でどのマフラーにしようか考えていたとき、猛スピードでやってきたトラックにはね飛ばされてしまい…。

絵「かめくんのさんぽ」 なかのひろたか 福音館書店 900  
28P／27cm 978-4-8340-8456-6

今日はいい天気、かめくんはごきげんで散歩に出かけます。わにくんや、かばくんも誘いますが、みんなお昼寝中。かめくんは、ひとりで散歩することに。ところが途中で転んでひっくり返ってしまっ…。

絵「いないいないばあさん」 佐々木マキ 偕成社 1200  
32P／25cm 978-4-03-232600-0

ぼくは、おばあちゃんとしっかり手をつないでいたのに、小さな橋を渡っていたら、おばあちゃんが消えてしまった。すると、橋の下から「ばあー」と顔を出して…。次はどこから現れる？ ポップでシュールなナンセンス絵本。

## < 小学校低学年 >

絵「たいよう 1000おくにひとつのたいせつなほし」  
ステイシー・マカナルティエー・原作／スティービー・ルイス・絵／千葉茂樹・訳 小学館 1400  
P／26×26cm 978-4-09-726824-6

銀河系には1000億個以上の星があるけれど、地球に住む人たちになくはない星といえば、そう、ぼく、太陽！ 太陽本人が語る宇宙科学絵本。自分で考える力を育みます。

◎「どうぶつのかぞくチーターちいさなハンター」 佐藤まどか・作／あべ弘士・絵 講談社 1200  
74P／22cm 978-4-06-514514-2

大きくなったチーターの3兄弟は、お母さんと別れて生きていかなければならない。自分たちだけで狩りができるのか？ おはなしを楽しみながら動物にくわしくなれるシリーズ。「チーターのまめちしき」も収録。

絵「いまのわたしにできること」 リサ・パップ・作／菊田まりこ・絵 WAVE出版 1400  
32P／27cm 978-4-86621-186-2

図書館から子犬をもらったマディ。命を育てることの責任について考えると同時に、捨てられた動物がたくさんいることを知りました。そんな動物たちのために何かできないか考え...。「わたしのそばで生きていて」のその後のお話。

絵「しぜんにタッチ！たべたらうんち！」 サンチャイルドビッグサイエンス編集部 ひさかたチャイルド1300  
27P／21×24cm 978-4-86549-170-8

あおむし、かえる、みつばち、かたつむり...。いろいろな生きものたちの、生きる基本である食べる姿、うんちを出す姿を写真で紹介。生きものたちの共通している点、違っている点を観察してみましょう。

絵「まほうのさんぼみち」 ロビン・ショー・作／せなあいこ・訳 評論社 1400  
32P／26cm 978-4-566-08046-1

パパとお散歩する道は不思議がいっぱい。水たまりにはワニ！ 鉄道には恐竜！ 大きなおうちには眠り姫！ でも、本当のお楽しみは、その先にあって...。本が大好きな女の子とパパのお話。

絵「イワシ むれでいきるさかな」 大片忠明 福音館書店 900  
27P／26cm 978-4-8340-8450-4

数え切れないほどのイワシが集まって、群れを作っています。コアジサシやブリ、イワシクジラ、人間などに狙われて、食べられて、次第に群れは小さくなっていきます。でも、残ったイワシたちはやがて...

絵「ワニをつかまえたこぎるのおはなし」 メイ・ダランソン・文／ケルスティ・チャプレ・絵 徳間書店 1500  
26P／20×22cm 978-4-19-864842-8

ジャングルの奥深くに、小さな小さな子ぎるがいました。ある日、ひとりででかけた子ぎるは大きなやしの実を木からとろうとして川へ落ちてしまいました。そこへおおきなワニが...。フランスで50年以上愛されている楽しい絵本。

## < 小学校中学年 >

◎「ブランの茶色い耳」 八束澄子・作／小泉るみ子・絵 新日本出版社 1400  
109P／21cm 978-4-406-06348-7

家族で動物保護センターに行ったみほは、耳の先だけ茶色くて、アーモンド形の瞳は真っ黒の犬、ブランと出会う。ケージにはりついて震えている姿に、みほの胸がキュンとなった。「だいじょうぶだよ」と、心をこめてささやき...

◎「ねえさんといもうと」 シャーロット・ゾロトウ・文／酒井駒子・絵と訳 あすなろ書房 1300  
P／25cm 978-4-7515-2951-5

小さいいもうとは、いつもねえさんといっしょです。さんぼに行くときも、遊ぶときも、おやつを食べるときも。ところが...。幼い子の成長をみずみずしく描いた珠玉の名作が、酒井駒子の絵で、今あざやかによみがえる。

◎「うみどりの島」 寺沢孝毅・文／あべ弘士・絵 偕成社 1400  
32P／30cm 978-4-03-332920-8

北の海にうかぶ天売島。300人がくらすこの小さな島に、100万羽の海鳥がやってくる。海鳥の子育てと人のくらしをとおして、北海道天売島の1年を描く。見返しに海鳥たちの解説等あり。

絵「すだつきたのかわせみ」 手島圭三郎 絵本塾出版 1700  
32P／31cm 978-4-86484-145-0

かわせみの夫婦が、湖のがけに子育ての巣穴を作りました。巣穴ができると、たまごをうみ、温めます。秋になり、3羽のひなが巣穴から出てきて…。厳しい自然の中で力強く生きる動物の姿を描く、ダイナミックな版画絵本。

◎「大渋滞」 いとうみく・作／いつか・絵 PHP研究所 1400  
158P／22cm 978-4-569-78857-9

あたしたち家族は、ママの妹の結婚式に出席するために、車で名古屋へむかっている。でもこの旅行は最後の家族旅行。旅行が終わったら、ママとパパは離婚する。あたしはモヤモヤした気持ちを抱えていて…。

## < 小学校高学年 >

◎「災害にあったペットを救え」 高橋うらら 小峰書店 1500  
159P／20cm 978-4-338-32103-7

日本で飼われている犬やネコの数は約2000万匹。もし大災害が起こったら、ペットたちは…。災害にあったペットを救う獣医師チーム「VMAT」の活動を紹介します。飼い主としての備えも収録。チェックリスト付き。

絵「えほん東京」 小林豊 ポプラ社 1500  
44P／25×26cm 978-4-591-16220-0

ぼくはおじいちゃんと東京のまちを散歩した。すると、都会のまちなみに江戸の風景が重なり、そこに生きた人たちの声も聴こえてきて…。美しい色彩とユニークな手法で、東京のまちの歴史の旅を愉しめる絵本。

◎「和の文化を発見する水とくらす日本のわざ③伝統 打ち水・風呂・ししおどしなど」 中庭光彦 汐文社 2800  
47P／28cm 978-4-8113-2588-0

世界でもめずらしいくらい、きれいで安全な水に恵まれた日本。水を神聖なものとしてとらえ、水で清めたり、いやしの存在としてきた古くからの日本の水の文化を紹介します。

知「マイクロワールド人体大図鑑 ホルモンと免疫」 関啓子・編集責任 小峰書店 2800  
43P／29cm 978-4-338-32306-2

体をととのえて守るしくみ、電子顕微鏡で見る人体の不思議を解説。1体を調節するしくみ 2体を守るしくみ 3眼に見えない病原体の3章で構成。

◎「竜之介先生、走る！熊本地震で人とペットを救った動物病院」 片野ゆか ポプラ社 1400

247P/20cm

978-4-591-16253-8

大災害がおこったら、ペットといっしょに、どうやって生きのびる!? 熊本地震のとき、「ペット同伴避難所」を開いて多くのペットと飼い主を救った獣医師の汗と勇気のリアルストーリー。「ペット防災」を考えるのに役立つ。

◎「おれんち、動物病院」 山口理 文研出版 1400  
159P/22cm 978-4-580-82378-5

動物ぎらいの勇希と獣医の父。父に反発しながらも、動物病院にやってくる動物たちとふれあう中で、勇希は次第に心を開いていき…。小さな動物たちを通じ、生きることの意味と少年の成長をえがいた、さわやかな物語。

### < 中学校 >

◎「徳治郎とボク」 花形みつる 理論社 1400  
232P/19cm 978-4-652-20305-7

ボクのお祖父ちゃんの名前は徳治郎。一度決めたルーティーンは、正月だろがなんだろうが変えない頑固者。そんなお祖父ちゃんのガキ大将だったころの話を聞くうちに、ボクは子どものお祖父ちゃんが大好きになっていき…。

◎「瓶に入れた手紙」 ヴァレリー・ゼナッティ・作/伏見操・訳 文研出版 1500  
223P/20cm 978-4-580-82389-1

でも、もし、この手紙があなたのもとへたどり着き、最後まで読んでくれたとしたら…。2003年9月9日、エルサレムのヒレルカフェで実際に自爆攻撃があった日に生まれた物語。

◎「呉書三国志」 斉藤洋 講談社 1600  
351P/20cm 978-4-06-221061-4

人望を備え、戦では先頭に立って戦う父・孫堅。孫堅の長男で、父譲りの激しい気性と勇気で江東の小霸王と呼ばれた孫策。孫堅の次男で、やがて呉の大帝となる孫権。児童文学の大家が描く、戦乱の世を生き抜いた父子の物語。

### < 高等学校 >

◎「天皇と日本人」 ケネス・ルオフ/木村剛久・訳 朝日新聞出版 810  
237P/18cm 978-4-02-295005-5

憲政史上初の生前退位を迎えた日本。平成以後、「国民の天皇」はどうなっていくのか。気鋭のアメリカ人歴史家がタブーを破って迫る。エズラ・ヴォーゲルらとの対話も収録。ハーバード大学の講義、講演、雑誌掲載論文を書籍化。

◎「思いつきで 世界は進む」 橋本治 筑摩書房 780  
219P/18cm 978-4-480-07196-5

世界も日本も、バカが偉くなってしまい、それに疑問をもつことにも麻痺している今日この頃。そんな世の中に起きた日常の変化から世界的な事象までを見渡した時評集。PR誌『ちくま』連載を書籍化。

◎「死にがいを求めて生きているの」 朝井リョウ 中央公論新社 1600  
473P/20cm 978-4-12-005171-5

植物状態のまま眠る青年と見守る友人。美しい繋がりに見えるふたりの“歪な真実”とは？平坦な日常、現代の闇と祈りを込めて描く。競作企画「螺旋プロジェクト」の平成編。『小説BOC』連載を加筆修正し単行本化。

◎「不死鳥少年 アンディ・タケシの東京大空襲」石田衣良 毎日新聞出版 1600  
398P/19cm 978-4-620-10839-1

〈アンダイング=不死身〉とあだ名をつけられた日系二世の少年・時田武14歳。父の国の大空襲から母と家族を守り、炎そのものとなった街を駆ける…。3.10東京大空襲の物語。『毎日新聞』連載を単行本化。

◎「人生の選択」アルフォンス・デーケン・原案/堀妙子・文/池田宗弘・画 藤原書店 1800  
P/22×27cm 978-4-86578-203-5

ナチの学校への入学を拒否した12歳の少年。命がけで選んだ道、それは「生と死を考える」原点となった…。「死生学」を提唱したアルフォンス・デーケン神父の少年時代を、彫刻家・池田宗弘の画とともに描く絵物語。

◎「世界のすごいお葬式」 ケイトリン・ドーティ/池田真紀子・訳 新潮社 1700  
238P/19cm 978-4-10-507091-5

葬儀会社を営む著者は旅に出る。インドネシア、メキシコ、ボリビア、スペイン、アメリカ、日本…。そこで出会ったのは、風変わりだが本気で死を悼む優しい弔いの形だった。風変わりでも本気な8つのお葬式を紹介する。

◎「東田君、どう思う？」 東田直樹・山登敬之 KADOKAWA 640  
285P/15cm 978-4-04-106516-7

発達障害や支援についての話題から、記憶や生き方、嘘や愛についてなどの哲学的なテーマまで。自閉症の作家・東田直樹と精神科医・山登敬之の往復書簡を収載。対談やコラムも収録。

2019年6月

＜ 幼児 ＞

絵「あまがえるのかくれんぼ」 たてのひろし・作/かわしまはるこ・絵 世界文化社 1200  
P/28cm 978-4-418-19808-5

あまがえるのラッタ、チモ、アルノーがかくれんぼをして遊んでいると、ラッタの体に変な色になっていました。一体どうしたのでしょうか。絵本作家・館野鴻と生物画家・かわしまはるこによる、愛しき小さな者たちの成長の物語。

絵「えんふねにのって」 ひがしちから BL出版 1300  
32P/27cm 978-4-7764-0912-0

幼稚園に通うまきちゃんは、えんふねに乗るのが大好き。まきちゃんの幼稚園は川のそばにあるので、えんふねで行くのです。そんなある日、えんふねと子どもたちに、ちょっと困った、でもとってもしずけなことが起こって…。

絵「ぼっちとぼっち くつしたのおはなし」まつばらのりこ 岩崎書店 900  
P / 18 × 19 cm 978-4-265-85157-7

ぼっちとぼっちは仲良しのくつした。ある日、頭に穴があいたぼっちがいなくなってしまった。ぼっちはどこ? もしかして捨てられちゃった? 心配でたまらなくなったぼっちは…。お互いを思いやる気持ちを描いた絵本。

絵「おなかがすいたよジョーンズさん!」リチャード・スカリー・作/木坂涼・訳 好学社 1400  
P / 24 cm 978-4-7690-2235-0

ジョーンズさんの農場は夕ご飯の時間。動物たちはお腹がペコペコ。馬や牛、羊やにわとりたちがそれぞれの鳴き声でジョーンズさんに呼びかけ…。色々な動物たちの鳴き声とその動物の大好きな食べ物が次々に登場する楽しい絵本。

絵「みかづきちゃんうまれたよ」 東君平 亜紀書房 1200  
P / 22 cm 978-4-7505-1586-1

しずかなしずかなよるでした。みかづきさまが、でています。うまれたうまれた、みかづきちゃん…。シンプルな切り絵と詩的でリズム感のある文章がクセになる、天才絵本作家の幻の作品を復刊。

絵「おおかみさんいまなんじ?」 中川ひろたか・文/山村浩二・絵 学研プラス 1200  
P / 25 cm 978-4-05-204873-9

夜中の12時になったら、おおかみが追いかけてくるよ。よい子のひつじさんたち、くれぐれも気をつけるようにね…。幼稚園・保育園で人気の伝承遊び「おおかみさんいまなんじ?」を題材にした絵本。

### < 小学校低学年 >

絵「アレックスとまほうのふね」キャサリン・ホラバード・文/ヘレン・クレイグ・絵 徳間書店 1500  
23 P / 20 × 25 cm 978-4-19-864861-9

「ぼくのまほうのふねにのらない?」空想好きな男の子アレックスは、おかあさんといっしょに魔法の船で、わくわくする冒険に出発し…。胸がはずむ、とびっきりの時間を描いた絵本。

絵「あなたはちっともわるくない」 安藤由紀 復刊ドットコム 2000  
31 P / 24 cm 978-4-8354-5674-4

ぼくが悪い子だからお母さんにぶたれるんだ。そう思っていたちびくま。でも「それは違うよ」と教えてもらい…。虐待を知り、虐待をのりこえる絵本。巻末に虐待についての解説と、児童虐待防止法の概要を収録。

絵「ロバくんのみみ」 ロジャー・デュボアサン・作/こみやゆう・訳 好学社 1600  
P / 26 cm 978-4-7690-2236-7

水に映った自分をみて、長くてピンと立った耳がかっこ悪いと思い込んだロバくん。友達の動物たちの耳を一生懸命まねしてみますが…。「いまのあなたがいちばん素敵」と教えてくれる、あたたかい気持ちになる絵本。

## < 小学校中学年 >

◎ 「ぜんぶわかる！アリ」 島田拓 ポプラ社 2000  
69 P / 27 cm 978-4-591-16268-2

日本で身近に見られる「クロオオアリ」、南米で見られる「サシハリアリ」…。知っているようで知らないアリの秘密を200点以上の写真で紹介します。アリの飼い方も掲載。ジャケットそでにクイズあり。

◎ 「めぐみの森」 藤原幸一 新日本出版社 1500  
31 P / 27 cm 978-4-406-06351-7

動植物が共生する原生林。その森に生きる先住民は「人の暮らしを豊かにする森のめぐみを動物たちが教えてくれた」と話す。だが今、その森と動植物が消え去ろうとしていて…。守るべき「豊かさ」とは何かを問いかける写真絵本。

絵 「ひをふくやまとあおいぬま」 安藤美紀夫・作 / 長谷川知子・絵 子どもの未来社 1500  
40 P / 27 cm 978-4-86412-155-2

いつも怒っているらんぼうな山ピンネシルは、青くすんだやさしい沼ピルカトーに結婚をもうしこみます。沼が山からのあらっばい結婚のもうしこみを断ると、ど、ど、ど、どっと、山はすさまじいうなりごえをあげ火をふき…。

◎ 「奄美の生きもの調査 奄美の森でカエルがないた」 松橋利光・写真と文 / 木元侑菜・解説 アリス館 1400  
40 P / 26 cm 978-4-7520-0890-3

1年中あたたかく雨が多い奄美大島には、カエルがたくさんすんでいる。奄美大島にしかいない大きなカエル、オットンガエルの産卵までの行動を中心に、カエルたちの生態を写真で紹介する。見返しにも写真あり。

◎ 「こんどこそは名探偵」 杉山亮・作 / 中川大輔・絵 偕成社 1000  
149 P / 22 cm 978-4-03-345450-4

探偵・ミルキー杉山といっしょに謎解きを楽しみ、犯人を当てよう！バイト先で起こった「ひっこしてつだい事件」「ミス・ラビットにはかなわない」など、3つの事件を収録する。

絵 「ちいさな島のおおきな祭り」 浜田桂子 新日本出版社 1500  
32 P / 27 cm 978-4-406-06353-1

竹富島は沖縄県のちいさな島。10月、島では種子取祭が行われる。キョングンとよばれるお芝居に、はじめて出演することになった小学校1年生のなつみは、いまからわくわくして-

絵 「ドラゴンのお医者さん ジョーン・プロクター」 パトリシア・バルデス・文 / フェリシタ・サラ・絵 岩崎書店 1600  
P / 29 cm 978-4-265-85130-0

ジョーンは両生類や爬虫類が大好き。自然史博物館で働くようになった彼女は、論文が評価され、やがてロンドン動物園で初の女性学芸員となる。そして2頭のコモドラゴンの飼育と研究を任せられ…。知られざる女性の伝記絵本。

## < 小学校高学年 >

- ◎「日本カエル探検記」 関慎太郎 少年写真新聞社 1600  
56 P / 19 × 27 cm 978-4-87981-671-9

カエルを撮り続けてきた著者が感じるカエル減少。その理由とは? 日本列島にすむカエル全48種のすみかを訪れて観察し、減った理由を探ってみると…。カエルの生き方やその魅力、カエルが暮らす水辺環境などを伝える。

- ◎「ナマコ天国」 本川達雄 偕成社 1600  
44 P / 28 cm 978-4-03-437270-8

ナマコは逃げない、隠れない。2つに切れば2匹に増える!? これが、ナマコの生きる道。人間やほかの動物たちとはまるでちがうナマコの生態を、楽しく描きます。本川達雄作詞・作曲「超人!?ナ・マーコ」の楽譜つき。

- ◎「あみちゃんの魔法のことば」 ふじもとみさと 文研出版 1400  
119 P / 22 cm 978-4-580-82391-4

手足がほとんどない障がいをかかえて生まれてきた、あみちゃん。27年後、あみちゃんは結婚しました。子供のころから努力を続け、けんめいに生きるあみちゃんが伝える、心あたたまる15の物語。

- 絵「おーい、こちら灯台」 ソフィ・ブラッコール・作/山口文生・訳 評論社 1600  
50 P / 31 cm 978-4-566-08048-5

小さな島のでっぺんに建つ灯台に、新しい灯台守がやってきた。レンズを磨き、油をつぎ足し、遠くの海まで光を送る。船を安全に導くために…。灯台での暮らしを情感ゆたかに描く絵本。

- ◎「ミッション・オオカミ・レスキュー」 キットソン・ジャジンカ ハーパーコリンズ・ジャパン 1600  
95 P / 27 cm 978-4-596-58357-4

人間に「悪い獣」とされ、殺されつづけた結果、オオカミは世界中で数を減らし、日本では100年前に絶滅してしまった。オオカミのレスキューのために何ができるのかを考える。〈ミッション・アニマル・レスキュー〉シリーズ。

## < 中学校 >

- ◎「天才ルーシーの計算ちがひ」 ステイシー・マカナルティ/田中奈津子・訳 講談社 1500  
287 P / 20 cm 978-4-06-515262-1

雷に打たれ、数学の天才になってしまったルーシー。飛び級で大学にも行けることになった12歳のある日、おばあちゃんはルーシーに、「1年間中学校に通う」「友だちを1人作る」「数学以外の本を読む」などの課題を出して…。

- ◎「かんたんレベルアップ絵のかきかた①風景をかこう」 女子美術大学付属高校・中学校・監修 汐文社 2500  
47 P / 27 cm 978-4-8113-2597-2

目に見えるものをていねいに観察しながら絵をかくコツを紹介。1は、自然風景や建物風景を取り上げ、観察のしかたや、かきかたのポイントを解説する。コラムや参考作品集も収録。

◎「かんたんレベルアップ絵のかきかた②人物をかこう」女子美術大学付属高校・中学校・監修 汐文社 2500  
47P / 27cm 978-4-8113-2598-9

2は、人物の手や顔、全身の観察のしかたや、かきかたのポイントを解説する。コラムや参考作品集も収録。

◎「かんたんレベルアップ絵のかきかた③静物をかこう」女子美術大学付属高校・中学校・監修 汐文社 2500  
47P / 27cm 978-4-8113-2599-6

3は、野菜や花などの身のまわりの静物を取り上げ、観察のしかたや、かきかたのポイントを解説する。コラムや参考作品集も収録。

◎「考える読書 第64回青少年読書感想文全国コンクール入賞作品集」全国学校図書館協議会 毎日新聞出版 2000  
293P / 22cm 978-4-620-52087-2

第64回青少年読書感想文全国コンクール応募作品の中から、小学校の部(低学年・中学年・高学年)、中学校の部、高等学校の部の内閣総理大臣賞ほか受賞作品を紹介。「考える読書」の意義と豊かさを伝えてくれる作品が満載。

◎「たいせつな人へ」 マイケル・モーパーゴ／パルー・絵／杉田七重・訳 あかね書房 1300  
155P / 22cm 978-4-251-07308-2

弟の戦死をきっかけに、戦うことを決めたフランシス。厳しい訓練を受け、ナチスドイツに占領されたフランスへ向かうが…。イギリスの児童文学作家、モーパーゴが、叔父フランシス・カマルツの生涯を描いた物語。

◎「月の光を飲んだ少女」 ケリー・バーンヒル／佐藤見果夢・訳 評論社 1600  
334P / 19cm 978-4-566-02463-2

毎年、赤ん坊をいけにえに捧げるその町は、悲しみに閉ざされていた。でも、赤ん坊は善良な魔女ザンに助けられ、離れた場所で幸せに暮らしている。ある年ザンは、助けた赤ん坊ルナに、うっかり月の光をのませてしまい…。

知「親子で学ぶお金と経済の図鑑」 子どものための「お金と経済」プロジェクト 技術評論社 2780  
199P / 26cm 978-4-297-10522-8

お金と経済のしくみをわかりやすく解説した、親子で楽しめるオールカラーの図鑑。お金の歴史や電子マネー、金融、保険、税金といった身近な経済や、貿易、為替など世界経済について、イラストや図表を使って説明する。

知「身近でできるSDGsエシカル消費①エシカル消費ってなに？」山本良一・監修／三輪昭子・著 さえら書房 2500  
38P / 27cm 978-4-378-02491-2

社会問題の解決を考えた新しい消費のカタチ「エシカル消費」。1は、エシカル消費の言葉の意味や考え方、消費者の持っている力、エシカルな商品の代表的なしくみといえる「フェアトレード」などについて解説する。

知「身近でできるSDGsエシカル消費②エシカル消費でSDGsを！」山本良一・監修/三輪昭子・著 さえら書房 2500  
38P/27cm 978-4-378-02492-9

2は、エシカル消費が国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」とどのようにつながっているのかをわかりやすく解説する。

知「身近でできるSDGsエシカル消費③エシカル消費をやってみよう！」山本良一・監修/三輪昭子・著 さえら書房 2500  
38P/27cm 978-4-378-02493-6

3は、消費者や市民団体、学校、企業、地域で、どのようなエシカル消費の取りくみが行われているかをわかりやすく紹介する。

◎「世界は『 』で満ちている」 櫻いいよ PHP研究所 1200  
238P/19cm 978-4-569-78862-3

ある日を境に突然、学校で孤立してしまった由加。以来、同じく一人きりで過ごしている幼なじみの男の子・悠真に話し掛けるようになるが…。リアルで胸に迫る、青春小説。

2019年7月

### < 幼児 >

絵「タコやん」 富安陽子・文/南伸坊・絵 福音館書店 1300  
30P/26cm 978-4-8340-8465-8

ある日、海の中からノタコラペタコラやってきた、タコのタコやん。タコと遊ぶのはいやだなあ。しょうちゃんは、心の中で思いました。ところが、タコやんはゲームでも、サッカーでも、8本の足を使って変幻自在に大活躍!

絵「こくん」 村中季衣・作/石川えりこ・絵 童心社 1300  
34P/21×23cm 978-4-494-01631-0

退院したちさとは、歩行器を使って、園に戻ってきた。手伝ってくれるというしゅん君。きっぱりと断ったちさとは、ステージの階段や滑り台に、自分だけの力で挑戦し…。新しい一歩を踏み出した子どもたちの物語。

絵「あついあつい」 垂石眞子 福音館書店 900  
23P/22cm 978-4-8340-8461-0

暑い日照りの中、涼しい所を探してペンギンがやってきました。やっとみつけた日かげでひと休み。ところが、それはアザラシのかけ。「ぼくだって暑いんだよ」というアザラシといっしょに、涼しいところを探しにいくと…。

絵「ゴリラさんだめです」 キューライス・作/絵 イースト・プレス 1150  
P/24cm 978-4-7816-1793-0

うさぎのうさやまさんが畑を耕していると、こわそうなゴリラがやってきました。「ゴリラさん、畑に入ったらだめですよ」と言ったけど、ゴリラは畑に入ってきて、うさやまさんの大切なにんじんを2本もとってしまい…。

絵「ほんだな」 新井洋行 偕成社 600  
19P / 18cm 978-4-03-102860-8

「りんごちゃん」「くまくま」「ぶるるんバス」…。本だなにある本を呼ぶと、「はーい」と出てきて、ごあいさつ。本の中の楽しい1ページも見られます。本とのかけあいを楽しめる、ゆかいな絵本。

絵「しろちゃんとはりちゃん なつのいちにち」たしろちさと ひかりのくに 1280  
31P / 27cm 978-4-564-01885-5

白うさぎのしろちゃんと、はりねずみのはりちゃんは大の仲良し。森の家で一緒に暮らしています。ある日、1本だけ残っていたアイスクャンディーの取り合いで、大げんかになってしまい…。友だちの大切さがわかる絵本。

絵「きょうは泣き虫」 たけがみたえ 好学社 1450  
P / 27cm 978-4-7690-2338-8

月の光をひとりじめしたいクワガタは、みんなに意地悪して大威張り。ところがある日、カブトムシに相撲で投げ飛ばされ、すっかり弱虫に。ひとりぼっちで過ごしていたが、満月の夜みんなが楽しそうに遊んでいるのを見て…。

### < 小学校低学年 >

絵「きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる」かさいまり・文 / 星野イクミ・絵 アリス館 1500  
35P / 31cm 978-4-7520-0888-0

植物食恐竜のサンは、ティラノサウルスに追いかけて海の中へ。そして何万年、何千万年が経ち。北海道むかわ町穂別でみつかった「むかわ竜」をモデルにした絵本。

絵「なっちゃんのなつ」 伊藤比呂美・文 / 片山健・絵 福音館書店 900  
27P / 26cm 978-4-8340-8466-5

なっちゃんがひとりで川原にでかけてみると、今は夏のまっさかり。草が生い茂り、花が咲き、虫たちがうようよしています。夕立におそわれ、家に帰ると、おばあさんからお墓参りにいこうと誘われ…。日本の夏を描いた絵本。

絵「だいじょうぶの絵本③わたしがすき」安田由紀 復刊ドットコム 2000  
32P / 24cm 978-4-8354-5675-1

失敗したり、叱られたりすると、自分が嫌いになることもある。でも、嬉しかったこと、好きなものを思い浮かべて、自分を好きになろう。生きていく力の源となる「自己肯定感」を持つことの大切さを伝える絵本。シリーズ最終巻。

絵「あれあれあれれ」 つちだのぶこ ポプラ社 1300  
32P / 26cm 978-4-591-16249-1

「このあいだ買っておいたあれ、ないんだけど」「あれ、あそこにあるでしょ」…。みんなが言ってる「あれ」って何？ 無意識に口にしてしまう「あれ」という言葉に注目し、コミュニケーションの面白さを描いた愉快的絵本。

◎「しぜんにタッチ！なつのおうさまかぶとむし」須田研司 ひさかたチャイルド 1300  
29P / 21×24cm 978-4-86549-174-6

子どもたちに人気の昆虫、かぶとむし。他の虫と闘っても勝つことが多く、雑木林の王者ともいわれるかぶとむしの強さの秘密を、超拡大写真や、変形ページのしかけとともに紹介します。

絵「夏とおとうとと」 ふくだいわお 光村教育図書 1300  
32P / 24×26cm 978-4-89572-238-4

ある夏の日。虫取りに出かけようとする、お母さんが弟のしゅんも連れて行けと言った。公園の遊具で遊びたがったり、虫取りのじゃまをしたり。ぼくはしゅんに「離れてついて来い」って言って先に行ったけど...

### < 小学校中学年 >

◎「はじめての恐竜図鑑 恐竜大行進A to Z」ダスティン・グロウィツク/土屋香・訳 誠文堂新光社 2500  
152P / 31cm 978-4-416-51999-8

アベリサウルスからズニケラトプスまで、恐竜たちをABC順に紹介。迫力のイラストと共に、大きさや種類、特徴などを説明する。むかわ竜をはじめ、日本の恐竜とその仲間たちも特別収録。ジャケット裏はポスター仕様。

◎「ころべばいいのに」 ヨシタケシンスケ ブロンズ新社 1400  
P / 27cm 978-4-89309-660-9

わたしには、嫌いな人がいる。イヤなことを言ったり、したりするから。誰かを憎んでいる時間があったくないのに、イヤな気持ちで自分じゃどうしようもない。そんなときは...。ヨシタケシンスケの発想えほん第4弾。

◎「ファーブル先生の昆虫教室③小さいからこそ生きのこる」奥本大三郎・文/やましたこうへい・絵 ポプラ社 1800  
175P / 21×21cm 978-4-591-16296-5

害虫を退治する益虫、擬態する虫...。昆虫のおもしろさ、ふしぎさ、巧みさを人々に伝えたフランスの昆虫学者ファーブルの研究を通じて、昆虫研究の楽しさを紹介する。『朝日小学生新聞』連載に加筆し書籍化。

◎「桂文我のでっち絵本 いちはちじゅうのもおくもく」桂文我・文/長野ヒデ子 BL出版 1300  
24P / 27cm 978-4-7764-0838-3

とてもよい子ですが、忘れっぽいでっちのかめきち。「平林」と書かれた手紙をだんなさんに届けるよう言われたものの、漢字の読めない、かめきちは、誰に届けていいのやら...。でっちさんが活躍する、楽しい落語の絵本。

◎「とねりこ通り三丁目 ねこのこふじさん」山本和子・作/石川えりこ・絵 アリス館 1400  
167P / 21cm 978-4-7520-0893-4

七夕、花火、お月見...。季節の行事がすてきな出合いを連れてくる！ねこのこふじさんと、とねりこ通りの住人たちの、一年間の物語。豆歳時記のコラムも掲載。『婦人之友』連載を改題、加筆修正して単行本化。

## < 小学校高学年 >

◎「望みがかなう 魔法の日記」 本田有明 PHP研究所 1400  
173P/20cm 978-4-569-78870-8

勉強も運動も苦手な友達の光平が、夏休みの間にすっかり変わった。その理由を光平は、「日記」に望みを書いたからだと言う。光平のまねをして日記を始めた竜也は...。「願いがかなうふしぎな日記」の続編。

知「シリーズ自然いのちひと②⑩プラスチック惑星・地球」藤原幸一・写真と文 ポプラ社 2000  
71P/27cm 978-4-591-16285-9

もはや地球は、「水の惑星」ではなく「プラスチック惑星」になりつつある。サルの親子の視点から、豊富な写真でプラスチックごみがあふれる地球の本当の姿に迫る。巻末に解説「地球に広がるプラスチック」も収録。

知「新装版親子で学ぶ防災教室 災害食がわかる本」今泉マユ子 理論社 1400  
111P/26cm 978-4-652-20313-2

災害の種類や身の守り方を説明すると共に、災害食を中心としたそなえについて詳しく解説。日常備蓄やサバイバルレシピを伝え、防災マップの作成や非常持出袋などについても紹介する。チェックリスト、備蓄品リストつき。

知「ミッション・ゾウ・レスキュー」アシュリー・ブラウン・ブリュエット ハーパーコリンズ・ジャパン 1600  
79P/27cm 978-4-596-58358-1

ゾウは動物園の人気者だが、野生では人間の村や農地にすみかを奪われ、絶滅の危機に直面している。ゾウのレスキューのために何ができるのかを考える。〈ミッション・アニマル・レスキュー〉シリーズ。

知「ミッション・ウミガメ・レスキュー」カレン・ロmano・ヤング ハーパーコリンズ・ジャパン 1600  
79P/27cm 978-4-596-58359-8

青い海を悠々と泳ぐウミガメは、美しくゆたかな海のイメージそのもの。だがいまウミガメは絶滅の危機にある。ウミガメのレスキューのために何ができるのかを考える。〈ミッション・アニマル・レスキュー〉シリーズ。

## < 中学校 >

◎「moja もじゃ」 吉田桃子 講談社 1300  
204P/20cm 978-4-06-515401-4

毛深いのを見られるのも嫌だし、それを剃っているせいでついたキズも見られたくない。毛深いことをコンプレックスに感じている中2の理沙が本当の自分に出会うまでの、ひと夏の青春を描く。

◎「しずかな魔女」 市川朔久子 岩崎書店 1300  
173P/20cm 978-4-265-05793-1

「しずかな子は、魔女に向いている」という文章の出てくる本を探しています。不登校の草子は毎日を過ごす図書館で、はじめてレファレンスを希望した。やがて司書の深津さんから手渡されたものは...

◎「さわこのじてん」 今美幸・今佐和子 北海道新聞社 1500  
159P/20cm 978-4-89453-953-2

重い障害のある娘と、どうにかして言葉を交わしたい。脳性まひによる肢体、知的・聴覚障害のある娘・さわこの成長に合わせて母が手作りしてきた、世界に一冊の「じてん」。じてんの実物やエピソードを写真とともに紹介する。

◎「わたしが障害者じゃなくなる日」 海老原宏美 旬報社 1500  
149P/19cm 978-4-8451-1589-1

わたしが病気であることと、「障害がある」ことは、別のこと。わたしの生きづらさをつくりだしているのは、この世の中、この社会。難病をかかえる著者が、これまでの経験とともに、障害のみかたが変わるメッセージを送る。

◎「自由への道 奴隷解放に命をかけた黒人女性ハリエット・タブマンの物語」池田まき子 学研プラス 1500  
199P/20cm 978-4-05-204912-5

少女は、奴隷主から逃亡し、秘密組織「地下鉄道」で奴隷を救うリーダーとなった。アメリカで紙幣にとりあげたい女性偉人第1位に選ばれたハリエット・タブマン。不屈の精神で自由を追い求めた彼女の生涯を描く。

◎「名もなき花たちと戦争混血孤児の家『エリザベス・サンダース・ホーム』」小手鞠るい 原書房 1300  
168P/20cm 978-4-562-05668-2

肌や目の色が違うから、敵国の子だから。敗戦後の日本で見捨てられた「混血孤児」たちと、その母となる道を選んだ澤田美喜。差別と闘い、懸命に生きた二千人の「家族の物語」。

◎「あの空はキミの中」 舞原沙音・作/柚庭千景・絵 ポプラ社 1400  
303P/19cm 978-4-591-16301-6

女子だから-12歳の夏、陽向がそう自分に言いかせて諦めた野球への情熱が、15歳の春、かつてのライバルとの再会で再び動き出す！夢を追いかける少女の成長を描く青春小説。『エブリスタ』掲載に加筆修正。

◎「お絵かき禁止の国」 長谷川まりる 講談社 1400  
189P/20cm 978-4-06-516091-6

ハルは中学3年。マンガが好きでちょっとオタクな女の子。そんな彼女の胸をときめかせたのが、同級生のアキラだったのだが…。誰にも言えない恋に悩む中3女子の卒業までの1年間を描く。

## < 高等学校 >

◎「アイヌ文化で読み解く『ゴールデンカムイ』」中川裕・著/野田サトル・イラスト 集英社 900  
254P/18cm 978-4-08-721072-9

漫画「ゴールデンカムイ」のアイヌ語監修者にしてアイヌ文化研究の第一人者が、言語・物語や信仰から食生活まで、漫画の名場面をふんだんに引用しながらアイヌ文化を解説する。原作者・野田サトルの描き下ろし漫画も収録。

◎「よたんぼう」 桂歌蔵 KADOKAWA 1600  
238P/20cm 978-4-04-107862-4

芸の世界に飛び込んだおれを待ち受けていたのは、理不尽だらけの前座修行。兄弟子に反発し、才能の壁にぶち当たり、やがて師匠の元を飛び出すが…。桂歌蔵が亡き師匠・桂歌丸へのオマージュを込めて捧げる、青春落語小説。

◎「栗本薫と中島梓 世界最長の物語を書いた人」里中高志 早川書房 1900  
387P/20cm 978-4-15-209865-8

栗本薫と中島梓、2つの名前を持ち、世界最長の物語をはじめ、生涯に400冊以上の著作を書き上げた稀有な創造力の持ち主は、いかに生まれ、どのような生涯をたどったか？ 関係者への取材と著作から検証する。

◎「夢見る帝国図書館」 中島京子 文藝春秋 1850  
404P/20cm 978-4-16-391020-8

友人から依頼された「日本で最初の国立図書館の小説」を綴りながら、涙もろい大学教授や飄々たる文藝大生らと共に思い出をたどり、友人の人生と幻の絵本の謎を追い…。本を愛した人々の物語。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

◎「ソングジュの見た星 路上で生きぬいた少年」リ・ソングジュ、スーザン・マクレランド 徳間書店 2000  
373P/19cm 978-4-19-864863-3

軍の指揮官になる夢、家、そして両親。11歳のころ、ソングジュはすべてを失った。ひどい飢饉のなか、彼は6人の仲間と力を合わせ、路上で生きていくことに…。16歳のときに脱北した著者が、北朝鮮での過酷な少年時代を綴る。

◎「徴用工の真実 強制連行から逃れて13年」早乙女勝元 新日本出版社 1800  
223P/20cm 978-4-406-06355-5

終戦を知らず、13年も厳冬の北海道を逃げた中国人徴用工。自由独立を訴えた3・1抗日運動から100年、韓国のジャンヌ・ダルクと呼ばれた少女…。日本軍国主義の加害面を現地取材した2作品を収録。見返しに年表あり。

◎「平和のバトン」 弓狩匡純 くもん出版 1500  
159P/20cm 978-4-7743-2777-8

被爆体験証言者の記憶を、1年をかけて油絵に描いて記録する、広島の高校のプロジェクト。今を生きる高校生たちが、証言者と密に接することで、戦争や原爆を見つめなおしていくさまを綿密に取材して描いたノンフィクション。

2019年8月

＜ 幼児 ＞

絵「ロージーのひよこはどこ？」 パット・ハッチンス・作/こみやゆう・訳 好学社 1500  
P/21×26cm 978-4-7690-2237-4

めんどりのロージーが産んだ卵からひよこがかえった。ところが白い殻だけを残して、ひよこがいな

い！ロージーは大慌てで、にわとり小屋の下や、かごの中、手押し車の中などを探すが、見つからず...

絵「すごい虫ずかん ぞうきばやしをのぞいたら」じゅえき太郎・作／須田研司・監修 角川書店 1300  
41P／27cm 978-4-04-107582-1

おばあちゃんちの裏山には、大好きな虫がいっぱいいるんだ。強くてかっこいいカブトムシにクワガタムシ、ぴかぴか光るタマムシや、セミにだって会えるんだ！身近な虫たちを、大迫力の絵で楽しめる絵本。虫の解説付き。

絵「かげパ」 富安陽子・作／しまだともみ・絵 ひさかたチャイルド 1300  
32P／29cm 978-4-86549-186-9

夜、目が覚めると、僕の影が窓からこっそり出て行くところだった。青い月の夜、世界中の影たちが、影の国にあつまって、パーティーをひらくんだって！「かげパのうた」の譜面と、歌が聴けるQRコード付き。

絵「さかさまたんけんたい」 すずきみほ 偕成社 1400  
32P／28cm 978-4-03-232610-9

さかさまになったら、なにが見える？水道のホースがへびに、開いたノートがちょうちょに、ふすまの模様が人の顔に...。部屋の中をさかさまに見て、いろいろなものを発見しよう！寝そべって、天井を見るだけでも楽しいよ。

### < 小学校低学年 >

◎「ミッチの道ばたコレクション セミクジラのぬけがら」如月かずさ・作／コマツシンヤ・絵 偕成社 1200  
78P／21cm 978-4-03-439440-3

なんでも集めるのが好きなミッチはある日、クジラのかたちをした木のかげらをひろいました。家に帰ったミッチがうっかり、木のかげらにむぎ茶をかけてしまうと、木のかげらは小さなクジラになって...

絵「キリンのあかちゃんがうまれた日」 志茂田景樹・文／木島誠悟・絵 ポプラ社 1500  
36P／27cm 978-4-591-16314-6

「きたのどうぶつえん」のキリンのスカイは、この頃、あっちへうろうろ、こっちへうろうろ、落ちつきません。それもそのはず。スカイはもうじき、おとうさんになるのです...。おとうさんの視点から描いた、いのちの誕生の物語。

絵「ほんのなかのほんのなかのほん」 ジュリアン・ベール・作／シモン・バイイ・絵 くもん出版 1600  
53P／29cm 978-4-7743-3028-0

空は青く澄んでおでかけびより。パパとママと遊びにきたトムくんは、本が1冊落ちていることに気づきました。本を開いてみると...。本の中に2冊の絵本が綴じ込まれていて、読み進めるうちに不思議な感覚になる絵本。

絵「つき」 ステイシー・マカナルティエー・原作／スティービー・ルイス・絵 小学館 1400  
P／26×26cm 978-4-09-726843-7

みんな、空を見て。地球のいちばんの友だちといえば、そう、わたし、月！地球と月との密接で不思議

な関係を、月本人がわかりやすく語る宇宙科学絵本。自分で考える力を育みます。

- ◎「きょうふ！おばけまつり」 吉田純子・作／つじむらあゆこ・絵 あかね書房 1000  
74P／22cm 978-4-251-04539-3

ポーちゃんは、こわがりなおばけ。夏祭りのリンゴ飴が食べたくて、ひとりでお祭りへ。ところが、お祭りには恐ろしいおばけが集まっています…。こわ〜いおばけがいっぱいの、こわいけどこわくない楽しいお話。

### < 小学校中学年 >

- ◎「つながる」 長倉洋海 アリス館 1400  
38P／26cm 978-4-7520-0892-7

家族、友達、地域、国…人とつながることは、自分が生きるための根っこをのばすことになる。写真を撮る旅で出会った世界各地の人びと、美しい光景、動物や花ばなを通して「つながる」ということを考える。見返しに写真あり。

- ◎「手と手をぎゅつとにぎったら」 横田明子・作／くすはら順子・絵 佼成出版社 1300  
96P／22cm 978-4-333-02806-1

特別支援学校って、いったいどんな学校で、どんな子たちが通っているんだろう。初めて特別支援学校を訪れた虹川小学校4年生のわたるにとって、そこは驚きの連続で…。知的障害クラスの児童たちとの心の交流を描いた物語。

- ◎「うそつきタケちゃん」 白矢三恵・作／たかおみゆみこ・絵 文研出版 1300  
127P／22cm 978-4-580-82376-1

転校ばかりで、仲のいい友だちをあまりつくらないようにしているぼく。今度の転校先で出会ったタケちゃんは、うそばかりつくお調子者だった。ある日、タケちゃんが「オバケと友だちになろう」なんて言い出して…。

- ◎「ぼくは気の小さいサメ次郎といいます」 岩佐めぐみ・作／高島純・絵 偕成社 1200  
117P／22cm 978-4-03-501130-9

見た目は怖そうだけど、実はとっても気の小さいサメ次郎。ある日1通の手紙を拾ったことで、カメ次郎と知り合う。なぜかサメ次郎を怖がらないカメ次郎。サメ次郎は、自分も手紙を書くことに…。クジラ海のお話シリーズ。

- ◎「はりねずみのルーチカ⑧ 人魚の島」 かのゆうこ・作／北見葉胡・絵 講談社 1300  
158P／22cm 978-4-06-516303-0

むしあつい夏。はりねずみのルーチカたちは、涼しくなるような遊びをしようと、トゥーリの提案で、ふねに乗って海に出かけることに。嵐に遭い、くじらに助けられて、小島に辿り着いたルーチカたちは…。

## < 小学校高学年 >

- ◎「生命のれきし はじめて読む進化の本」キャサリン・バー、スティーブ・ウィリアムズ・文  
／エイミー・ハズバンド・絵／しまだようこ・訳 絵本塾出版 2000  
32P／27cm 978-4-86484-153-5

地球の生命の進化。そのおどろくべき物語は、40億年ほど前、火山とあふれる溶岩の、熱くてそうぞうしい世界から、はじまりました。最新の科学にもとづき、生命の進化について紹介する絵本。

- ◎「ヒロシマ 消えたかぞく」 指田和・著／鈴木六郎・写真 ポプラ社 1650  
41P／23×23cm 978-4-591-16313-9

あの日ヒロシマに落とされた原子爆弾が、にぎやかに暮らす鈴木六郎さん一家を消し去った。愛情あふれる家族写真の数々から、何気ない日常こそが大事であると気づかされる。家族で平和を考えるために最適の写真絵本。

- ◎「手紙 ふたりの奇跡」 福田隆浩 講談社 1400  
207P／20cm 978-4-06-515581-3

秋田に住む小6の穂乃香は、調べ学習で使ったインターネットで「祖父の思い出」という作文で入賞をした耕治のことを知る。穂乃香は亡き母の少女時代の大切な思い出の謎を探すため、長崎に住む耕治の小学校へ手紙を送り...

- ◎「じいじが迷子になっちゃった」 城戸久枝・著／羽尻利門・画 偕成社 1600  
184P／22cm 978-4-03-645090-9

敗戦直後、3歳でたったひとり中国に残された城戸幹(中国名・孫玉福)は、25年を経て自力での帰国を果たし...。中国残留孤児の父の半生を綴った「あの戦争から遠く離れて」の著者が母となり、子へと家族の歴史を語りつぐ。

- 絵「エベレスト 命・祈り・挑戦」サングマ・フランシス・文／リスク・フェン・絵 徳間書店 2800  
72P／32cm 978-4-19-864891-6

およそ5千万年前に誕生した世界でいちばん高い山、エベレスト。その誕生の理由や生息する動植物、伝説、登山家たちなど、さまざまな角度からエベレストとヒマラヤ山脈の魅力をさぐる。

- ◎「走れ！メープル 犬の車いすができるまで」菅聖子・文／山本遼・写真／篠本映・絵 小峰書店 1500  
179P／20cm 978-4-338-08163-4

愛犬の病気をきっかけに、犬の車いすを作った忠さん。やがて同じ悩みを抱えた飼い主たちから依頼が舞い込み、5000匹以上の犬たちに自由の翼を届けて...。動物の車いすを20年以上作り続けてきた、ひとりの匠の物語。

- ◎「12歳で死んだあの子は」 西田俊也 徳間書店 1600  
254P／19cm 978-4-19-864893-0

小6の3学期に病気で亡くなった鈴木元育朗のお墓に行こう。中2になった洋詩たちは、「鈴木に会いに行く会」を計画し、動きはじめるが...。「死」って？「本当の友だち」って？揺れ動く子どもたちの気持ちを繊細に描く。

## < 中学校 >

絵「父さんはどうしてヒトラーに投票したの？」 ディディエ・デニクス・文／PEF・絵 解放出版社 1800  
39P／27cm 978-4-7592-2276-0

ミュンヘンにほど近い小さな町で楽器店を営む両親と障がいをもって生まれてきた妹と暮らす少年ルディ。彼の眼を通して、ヒトラーの台頭からナチスの支配、第二次世界大戦、そしてドイツの敗北までを描いた物語。

◎「天を掃け」 黒川裕子・著／中村ユミ・絵 講談社 1500  
266P／20cm 978-4-06-516169-2

必要なら、何百夜かけてでも全天を搜索する。それが掃天-。短距離走者として期待されながらも、走れなくなった駿馬は、中学2年生の初夏、たったひとりで小惑星探索にいとむすばると出会う。駿馬はすばるを天文部に誘うが...

知「はじめての万葉集上」 萩原昌好・編／中島梨絵・絵 あすなる書房 1600  
124P／20cm 978-4-7515-2926-3

「万葉集」を年代別に4期にわけてわかりやすく紹介する、10代から楽しく学べる万葉集入門。上では初期万葉時代と白鳳万葉時代を取り上げ、その時代のできごとや、額田王など代表的な万葉人のうたを解説する。

知「はじめての万葉集下」 萩原昌好・編／中島梨絵・絵 あすなる書房 1600  
127P／20cm 978-4-7515-2927-0

下では平城万葉時代と天平万葉時代を取り上げ、その時代のできごとや、大伴家持など代表的な万葉人のうたを解説する。

知「地球から宇宙をめざせ！」 アレクサンドラ・ミジェリンスカ&ダニエル・ミジェリンスキ 徳間書店 2400  
105P／28cm 978-4-19-864875-6

アポロ月面着陸から50年！国際宇宙ステーション、宇宙探査機、宇宙望遠鏡、火星のテラフォーミング...。「マップス」で世界各国を描いた絵本作家が、宇宙への、人類のさまざまなチャレンジを描く。

◎「タイムマシンって実現できる？」 二間瀬敏史・監修 誠文堂新光社 1400  
155P／21cm 978-4-416-61934-6

過去や未来に自由に行けるとしたら？ 相対性理論や量子論、高次元時空や超弦理論などの最新の物理学や宇宙論を交えて、タイムマシンの実現可能性についてわかりやすく解説する。

2019年9月

## < 幼児 >

絵「かわにくまがおっこちた」 リチャード・T・モリス・著／レウィン・ファム・絵 岩崎書店 1500  
P／31cm 978-4-265-85150-8

むかしむかし、あるところに川が一本ながれていました。でも、川は自分が川だということを知りませんでした。川にくまが落っこちるまでは...。ゆっくり始まり、どんどん加速していく川下り冒険絵本。

絵「スノーウィとウッディ」 ロジャー・デュボアザン・作／石津ちひろ・訳 好学社 1500  
P／26cm 978-4-7690-2238-1

北極で暮らすシロクマのスノーウィは、かもめのキティに話を聞き、ヒグマのウッディがすむという緑豊かな国に泳いで渡りました。出会った2匹は初めはけんかをしますが、助け合ったことで仲良しに。でも冬眠の季節がきて...

絵「ガンピーさんのサイ」 ジョン・バーニンガム／谷川俊太郎・訳 BL出版 1500  
32P／26cm 978-4-7764-0911-3

ガンピーさんがアフリカで会ったのは、親をなくしたサイの子ども。そこでガンピーさんは...。いつもあたたかいまなざしで子どもや動物たちを見つめ続けた、ジョン・バーニンガムの最後の作品。

絵「プールのひは、おなかいたいひ」 ヘウオン・ユン／ふしみみさを・訳 光村教育図書 1400  
40P／23×27cm 978-4-89572-240-7

おなか痛くて、水泳教室を見学してばかりいる女の子。先生にだっこしてもらい、勇気を出して水に入ると...。苦手を克服した子どもの成長を描いた絵本。

絵「どっち？」 まつおかたつひで ハッピーオウル社 1400  
32P／23cm 978-4-902528-66-4

ドライブに出かけたかえるちゃん。色々な昆虫に出あいます。もんきちょうの男の子と女の子は色が、バッタの男の子と女の子は大きさが違うんだって。セミはどう違うのかな？ 昆虫のオス、メスの違いがお話を通してわかる絵本。

絵「うみのあじ」 たけがみたえ あかね書房 1400  
32P／31cm 978-4-251-09926-6

はじめて海にやってきた犬のべら。おべんとうの番をまかされるけど、おいしそうな潮のにおい、しょっぱい海の水にびっくり。磯をながめていたら、なにかと目が合って...。海の楽しさをめいっぱい味わう犬を生き生きと描く。

### < 小学校低学年 >

絵「ちきゅう」 ステイシー・マカナルティ・原作／デイビッド・リッチフィールド・絵 小学館 1400  
P／26×26cm 978-4-09-726825-3

こんにちは！ わたしは地球。初めまして、じゃないよね。だって、みんなわたしの上に暮らしているんだから。地球ができてから現在までのことを、地球本人がわかりやすく語る宇宙科学絵本。自分で考える力を育みます。

絵「いっぽんのきのえだ」 コンスタンス・アンダーソン／千葉茂樹・訳 ほるぷ出版 1600  
32P／26×26cm 978-4-593-10031-6

木の枝を折りとって、うるさくつきまとうハエをおいはらうアジアゾウ、木の枝をつえにして、沼地を渡るゴリラ...。動物たちが道具をつかう様子がわかる、自然科学の知識絵本。

◎「すみれちゃん、おはよう！」 ばんひろこ・作／丸山ゆき・絵 新日本出版社 1300  
61P／22cm 978-4-406-06370-8

団地の階段をかけおりて、みさきと弟のこうすけは、「あっ」と立ちどまりました。コンクリートのわれめにすみれの花が咲いていたのです。2人が、すみれのまわりに「すみれちゃんおふまないで」と書くと...

絵「自転車がほしい！」 マリベス・ボルツ・文／ノア・Z・ジョーンズ・絵／尾高薫・訳 光村教育図書 1400  
33P／26×26cm 978-4-89572-239-1

友だちの中で、ルーベン是自己だけ自転車を持っていない。もうすぐ誕生日だが、家にそんな余裕がないことはわかっていた。ある日、女の人が落とした1枚のお札を拾ったルーベン。家で確認すると、それは自転車が買える額で...

絵「丘のうえのいっぼんの木に」 今森光彦 童心社 1400  
36P／27cm 978-4-494-01567-2

たんぼに囲まれた小さな丘に、大きな木がいっぼんありました。木の名前は、エノキ。春、オオムラサキの幼虫が落ち葉から顔を出して...。切り絵で綴る、里山の生きものの命を育むいっぼんの木の物語。

知「きんぎょびじゅつかん」 松沢陽士・写真／高岡昌江・文 ほるぷ出版 1500  
32P／21×23cm 978-4-593-58308-9

真っ赤なからだ。白地に赤のもよう。暗闇のような黒や、灰色がかった青...。魚なのに、海にも川にもいない、きれいな金魚たちの秘密とは？美術館で絵を楽しむように、金魚の見方や楽しみ方にふれる写真絵本。

絵「カルメラのねがい」 マット・デ・ラ・ペーニャ・作／クリスチャン・ロビンソン・絵 ずずき出版 1500  
33P／27cm 978-4-7902-5390-7

カルメラは今日がお誕生日。7歳になったから、お兄ちゃんと一緒に町に出かけられます。早足でずんずん進むお兄ちゃんについて行くと、コインランドリーの前でタンポポを見つけました。綿毛を吹こうとするとお兄ちゃんは...

## < 小学校中学年 >

◎「ずっとずっと、ともだちだよ...病院勤務犬ミカのお話」 若月としこ 岩崎書店 1300  
117P／22cm 978-4-265-08317-6

聖マリアンナ医科大学病院の勤務犬ミカは、お医者さんや看護師さんたちといっしょに、患者さんの治療に参加し、みんなを笑顔にしてくれました。2018年末に引退するまで、みんなの心に寄り添い、愛されてきたミカのお話。

絵『『危険なジェーン』とよばれても』 スザンヌ・スレード・文／アリス・ラターリー・絵 岩崎書店 1600  
P／25cm 978-4-265-85129-4

うらぎりものと言われても、信念はゆるがない。世界の平和のために力をつくし、アメリカ人女性としてはじめてノーベル平和賞にかがやいたジェーン・アダムズの生涯を描いた伝記絵本。

絵「じゅんぴはいいかい？」 末吉里花・文／中川学・絵 山川出版社 1500  
P／27cm 978-4-634-14001-1

食べ物を食べる時、物を手にするとき、人や動物がハッピーになる方を選ぶように、見えない世界のほんとうのはなしを見にいこう。人、地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動「エシカル」の理念を伝える絵本。

◎「しゅくだいかけっこ」 福田岩緒 PHP研究所 1200  
78P／22cm 978-4-569-78882-1

運動会までに速く走れるようになりたい！クラスで一番足が遅いゆうまは、むかし陸上選手だった町内のおじいちゃんに出会った。それから、運動会に向けてかけっこの特訓が始まり…。

◎「ぼかりの木」 こうだゆうこ・作／黒須高嶺・絵 学研プラス 1300  
119P／22cm 978-4-05-205054-1

公園にある、でっかいクスノキの下にいて、誰もいないのに、軽く、ぼかりって感じで、たたかれることがある。ある日、勇太がクスノキに登ると、小さな女の子があらわれて…。

◎「うちに帰りたくないときによむ本」川崎二三彦・監修／北原明日香・絵 少年写真新聞社 1800  
P／19×27cm 978-4-87981-675-7

うちに帰りたくないぼくとあいつは、毎日遅くまで公園で過ごした。ある日、あいつは体中にけがをしていた。すると、おせっかいなおばさんが話しかけてきて…。児童虐待の早期発見や援助のしくみを子ども向けにやさしく描く。

### < 小学校高学年 >

◎「読む喜びをすべての人に 日本点字図書館を創った本間一夫」金治直美 佼成出版社 1500  
128P／22cm 978-4-333-02812-2

5歳で失明した本間一夫は、成長するにつれ、自分の力で本が読みたいと願うようになる。そして13歳のとき入学した盲学校で「点字」と出会い…。盲人に読書の喜びを伝えようと、国内最大の点字図書館を創るまでの人生を描く。

知「北極と南極の『へえ〜』くらべてわかる地球のこと」中山由美・文と写真 学研プラス 1400  
112P／22cm 978-4-05-204698-8

北極と南極、より寒いのはどっち？女性で初めて記者として南極観測越冬隊に参加し、その後も北極と南極の両方を何度も取材してきた著者が、北極と南極のちがいや、そこから見えてくる地球環境の変化などを紹介する。

◎「友だちをやめた二人」 今井福子 文研出版 1400  
150P／22cm 978-4-580-82379-2

結衣と七海は幼なじみ。引っ込み思案の結衣と、活発な七海とは性格が正反対。ずっと親友になりたいと思っている2人だけど、いつもすれ違い。あるとき2人は大ゲンカをしてしまい…。

◎「池上さん教えて！世の中の『お金』のこと」池上彰・著／谷和也・絵 KADOKAWA 700  
189P／18cm 978-4-04-631899-2

キャッシュレス時代のお金のしくみとは？ジャーナリスト・池上彰が、お金の成り立ち、税金のしくみなど、社会をめぐる「お金」のことを、マンガやイラストを交えながらクイズ形式でわかりやすく伝えます。

知「ふしぎないきもの ツノゼミ」丸山宗利・小松貴・知久寿焼・写真と文 あかね書房 1500  
48P／22×28cm 978-4-251-09927-3

ツノゼミは外国の虫だと思われがちですが、日本にも住んでいます。野山の妖精・ツノゼミのふしぎなかたちと、謎いっぱいの生態を、美しい写真で紹介。つかまえかたや標本の作り方なども掲載。

知「知っておきたい！モノのしくみ」ジョン・ファーンドン・文／ロブ・ビーティ・絵 東京書籍 1800  
80P／30cm 978-4-487-81249-3

子どもの「なんで？」を解消！電子レンジ、スマホ、天気予報…。身の回りで役立っているテクノロジーの原理を、その背後のサイエンスも交えて、わかりやすいイラストとともに丁寧に解説。迫力のパノラマページあり。

知「食事で変わる子どもの未来 食生活パーフェクトブック」上西一弘・監修 少年写真新聞社 1600  
135P／21cm 978-4-87981-672-6

子どもたちの将来の健康を考えた食生活のための入門書。朝食欠食や、不必要なダイエット、偏食など、子どもたちの食生活の課題を取り上げ、その問題点をわかりやすく解説し、正しい食の知識とその実践方法を紹介する。

◎「売り声図鑑③江戸のくらしとリサイクル」宮田章司・文／瀬知エリカ・絵 絵本塾出版 1800  
32P／27cm 978-4-86484-154-2

「江戸売り声」という切り口で、庶民のくらしに迫るシリーズ。3は、リサイクル都市江戸のくらしを、古着売り、傘の古ぼね買い、いかげ屋など、修理や回収の売り声とともにイラストで案内する。

知「知っておきたい！地球のしくみ」ジョン・ファーンドン・文／ティム・ハッチンソン・絵 東京書籍 1800  
80P／30cm 978-4-487-81251-6

子どもの「なんで？」を解消！なぜ昼と夜があるの？水はどこへ行くの？地球のしくみを、その背後にある理学的知識も自然に理解できるように、わかりやすいイラストとともに丁寧に解説。迫力のパノラマページあり。

知「知っておきたい！人体のしくみ」ジョン・ファーンドン・文／ティム・ハッチンソン・絵 東京書籍 1800  
80P／30cm 978-4-487-81250-9

子どもの「なんで？」を解消！血はなぜ赤いの？ホルモンってなに？人体のしくみを、その背後にある理学的知識も自然に理解できるように、わかりやすいイラストとともに丁寧に解説。迫力のパノラマページあり。



## < 高等学校 >

- ◎「あなたの右手は蜂蜜の香り」 片岡翔 新潮社 1550  
280P/20cm 978-4-10-352611-7

あたしのせいで動物園に入れられた「あなた」を必ず救い出す。そう誓った日から、雨子はヒグマの飼育員になるため邁進するが…。大切なものを守り抜こうとする少女とクマとの、切なく温かな、究極の愛の物語。

- ◎「限界病院」 久間十義 21 1500  
386P/20cm 978-4-10-391804-2

過疎地域にあるバトラー病院は深刻な財政危機を抱えていた。新任院長は大胆な改革案を打ち出そうとするが…。危機に瀕する地方病院を舞台にさまざまな思惑が蠢く医療長編。インターネットサイト『m3.com』掲載を書籍化。

- ◎「若い読者のための『種の起源』」 チャールズ・ダーウィン／鳥見真生・訳 あすなる書房 2500  
224P/20cm 978-4-7515-2937-9

ダーウィンは、どのように独自の思考を組み立てたのか？生物学の礎「種の起源」のボリュームを圧縮し、言葉も平易に置き換えてリライト。歴史的名著のエッセンスを凝縮したコンパクト版。現代科学の動向に関するコラム付き。

- ◎「水辺のブッダ」 ドリアン助川 小学館 1600  
317P/20cm 978-4-09-386541-8

川辺で生きるホームレスの望太と、都会の闇に溺れゆく孤独な少女・絵里。絶望と希望。死とエロス…。世の中の片隅で懸命に生きるふたりの、人生の再構築を描いた長篇小説。『本の窓』連載を書籍化。

- ◎「季語を知る」 片山由美子 KADOKAWA 1600  
253P/19cm 978-4-04-703678-9

時に解釈の分かれる季語。古今の歳時記をひもとき、季語の本意と疑問点を明らかにする。実作・鑑賞に役立つ季語論。『俳句』連載にエッセイを加えて書籍化。

- ◎「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 ブレイディみかこ 新潮社 1350  
252P/20cm 978-4-10-352681-0

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。傑作エッセイ。『波』連載を書籍化。

2019年10月

## < 幼児 >

- 絵「おばあさんとあひるたち」 ホープ・ニューウェル・作／奥山玲子・画 復刊ドットコム 1850  
31P/31cm 978-4-8354-5686-7

温かい羽毛布団が欲しくなったおばあさんは、羽毛をもらおうと、あひるを12羽飼うことに…。アニメーターとして活躍していた頃の奥山玲子が、ホープ・ニューウェルのお話をもとに描いた紙芝居の絵本

化。

絵「あなあなはてな」 はらぺこめがね アリス館 1300  
32P/27cm 978-4-7520-0897-2

どうしてあながあいてるの？ちくわ、ドーナツ、パイナップル、マカロニ、れんこん…。どんなあなにも理由があります。おいしさを作る、あなのひみつを紹介します。

絵「ジャータカものがたり はじめてのともだち」中川素子・再話/バーサンスレン・ボロルマー・絵 小学館 1400  
P/19×27cm 978-4-09-725023-4

インドの王様の象、アーナンドは何不自由なく暮らしていましたが、いつも寂しそうでした。そこへ、やせこけた犬が迷い込んできて…。子どもたちに生きるための知恵を伝える、おしゃかさまの前世の物語「ジャータカ」の絵本。

◎「とつきとおか赤ちゃんが生まれるまで」ミランダ・ポール・文/ジェイソン・チン・絵 汐文社 1600  
P/27cm 978-4-8113-2609-2

もうすぐお姉ちゃんになる女の子。赤ちゃんの誕生を心待ちにする10か月間、お母さんのおなかの中では何が起きているのでしょうか？女の子とその両親が新しい家族を迎えるまでを描く、いのちの絵本。大人向けの解説も収録。

◎「ねこがさかなをすきになったわけ」 ひだのかなよ みらいパブリッシング 1400  
P/27cm 978-4-434-26377-4

ねことさかなのあいの“ひみつ”。けんぶち絵本の里大賞受賞作。

絵「じゃがいもひめとさつまいもひめ」 はらぺこめがね すずき出版 1200  
P/23cm 978-4-7902-5387-7

あるところに、とっても仲の悪い姫たちがおりました。似たもの同士のじゃがいもひめと、さつまいもひめは、いつもけんかばかり。ふかしたら、どっちがほくほくか勝負がはじまって…。

絵「おもいおもい」 木坂涼・作/どうなつみ・絵 教育画劇 1100  
26P/22cm 978-4-7746-2185-2

みんなで大きなおもいを運んでいると、どこかからだれかの泣き声。おもいが「重い重いってひどいわ」と大泣きしています。みんなはびっくりして、今度は大事に運んでいくと…。リズムカルな文章の、愉快でほくほくする絵本。

◎「いえでをしたてるてるぼうず」 にしまきかやこ こぐま社 1200  
36P/20×22cm 978-4-7721-0243-8

お出かけするみんなにお願いされ、頑張っているいい天気にしたのに、家に置いていかれた、てるてるぼうず。「こんなおうちにいたくない！」と家出して…。みんなに忘れられ、プンプン怒って、家を飛び出したてるてるぼうずのお話。

絵「きのこのばけもの」 唯野元弘・文／石川えりこ・絵 すずき出版 1400  
P／27cm 978-4-7902-5385-3

ある夜、なまけもの男は、山できのこのばけものと出会いました。きのこのばけものに気に入られた男は大好きなものと怖いもの話をしました。きのこのばけもの怖いものを知った男は家に戻り…。群馬県に伝わる昔話の絵本。

◎「どうぶつパンパン」 ザ・キャビンカンパニー 白泉社 1300  
P／24cm 978-4-592-76255-3

とある夜、パン屋さんの中でひとりでうごき出した大きなパン生地は、なんと動物になった。カメ、クマ、ゾウ…。うまれた動物たちがオープンに入ると。へんてこでおいしい、どうぶつパンの絵本。

◎「じょうききかんしゃビーコロ」 ミノオカリョウスケ 童心社 1400  
36P／20×27cm 978-4-494-01568-9

機関車工場で働く小さな機関車ビーコロは、修理に来た機関車を動かすのが仕事。工場には、デゴイチやシロクニなど、いろいろな機関車がやっくる。小さいけれどよく働くビーコロは、いつか工場の外を走りたいと思っていたが…。

◎「でんぐりごろりん」 ふくだじゅんこ 大日本図書 1300  
32P／22cm 978-4-477-03170-5

とんがりさんかく、おにぎりくん。でんぐりごろりん、でんぐりこ。あれれれ、まあなくなっちゃった。つぶつぶなかよし、ぶどうちゃん。でんぐりごろりん、でんぐりこ。あらあらばらばら、ころころりん。次に登場するのは…?

絵「グリドングリドン」 宮西達也 ひかりのくに 1200  
32P／27cm 978-4-564-01888-6

ぐうたらな王様が、「グリドングリドン」と唱えると何にでも変わる魔法のドングリを手に入れた。好き放題したあげく、猫に変身するが…。『おはなしひかりのくに』掲載を再編集。

絵「もじのないえほん なんにかわるかな？」 パット・ハッチンス ほるぷ出版 1400  
32P／21×26cm 978-4-593-10129-0

いろんなかたちのつみき、つみき、つみきで、なにができるかな？ つみきでおうちを作ったら、火事になった。つみきで消防車をつくって消火したら、今度はつみきで船をつくって…。文字のない絵本。

### < 小学校低学年 >

絵「かぜがふくふく」 田島征三 フレーベル館 1400  
32P／25cm 978-4-577-04683-8

ある秋の日、ネノくとキフちゃんの兄妹は、畑でお父さんのお手伝い。風に吹かれて舞いおちた葉っぱとともに、ふわりと空に運ばれて…。絵本作家・田島征三が、秋の実りと豊かな自然とのふれあいをえがく。

絵「おかしなおきゃくさま」 ペク・ヒナ／中川ひろたか・訳 GaKKen 1500  
42P／30cm 978-4-05-205104-3

ある雨の日、ぼくがお姉ちゃんと留守番をしていたら、とつぜん、おかしなお客さまがやってきた。お客さまの気分は、変わりやすい天気のようにころころと変わり、大騒ぎに…。韓国の人気No.1絵本作家によるゆかいな絵本。

絵「ともだちになったミーとチュー」 ヤン・ホンレン・文／エレヌ・ルヌヴー・絵 樹立社 1500  
P／24×24cm 978-4-901769-87-7

ネズミをみたことのないネコ、ミー花。ネコをみたことのないネズミ、チュー灰。きれいな家のなかであったミー花とチュー灰はおたがいのことばがわからなくても、ピアノを通してなかよくなり…。

絵「タンザニアのおはなし なかよしの水」 ジョン・キラカ／さくまゆみこ・訳 西村書店 1500  
30P／22×31cm 978-4-89013-999-6

日照りつづきで困った森のどうぶつたち。水を探しにいくと川を見つけました。しかし水をもらうには、ワニにいけにえを差し出さなければなりません。どうしたらいいか話しあいますが…。アフリカのティンガティンガ絵本第2弾。

絵「おそろしいよる」 きむらゆういち・作／殿内真帆・絵 すずき出版 1400  
P／27cm 978-4-7902-5386-0

静かな夜。こぶたが家でたったひとりで本を読んでいると、パッと電気が消えて、あたりはまっ暗になりました。その時、ギギギ〜とドアが開き、誰かが入ってきた！こぶたはテーブルの下に隠れて…。

絵「まめざらちゃん」 あさのますみ・文／よしむらめぐ・絵 白泉社 1200  
P／27cm 978-4-592-76253-9

デパートからダダさんの食器棚にやってきた、小さなかわいいお皿のまめざらちゃんの夢は、ごちそうを盛り付けてもらうこと。いつもお醤油や調味料ばかり注がれて、しょんぼりしていたある日、意外な出来事がおきて…。

絵「こどもかいぎ」 北村裕花・作／絵 フレーベル館 1300  
32P／28cm 978-4-577-04833-7

今日は大事な“こどもかいぎ”の日。「怒られたときはどうすればいいか」について話し合います。しかし、話はだんだんとそれていって…。真剣に議論する子どもたちを、迫力のあるイラストで描いた絵本。

◎「ねこの町のホテルブチモンド ハロウィンとかぼちゃの馬車」 小手鞠るい・作／くまあやこ・絵 講談社 1200  
74P／22cm 978-4-06-516877-6

ねこの町のホテルで開かれるハロウィンパーティ。会場になる古い別館の修理をしていた犬の大工のハリソンさんが、ある夜、忘れ物をとりに別館へ戻ると、誰もいないはずなのに明かりと笑い声が…。すべての見開きに挿絵入り。

絵「ぼっとんころころどんぐり」 いわさゆうこ 童心社 1100  
24P／21×23cm 978-4-494-00599-4

秋にひろくぬぎのどんぐりは、春や夏、どうなってるの？くぬぎのどんぐりがどうやって生まれ、新しい木に育つのか、迫力あるイラストで紹介。どんぐりクッキーのつくり方、どんぐりを使った遊びなども掲載する。

絵「きょうのぼくはどこまでだっではしれるよ」荒井良二 NHK出版 1600  
32P/29cm 978-4-14-036135-1

きょうもあしたも特別な日。毎日ほかやいている。愛馬“あさやけ”とともにお祝いの旅に出た“ぼく”は、たくさんうれしくて、しあわせな瞬間に出会い…。日常にちりばめられたまばゆいひとコマを豊かな色彩で描く。

◎「ホカリさんとあきのがみ」 はせがわさとみ・作/かわかみたかこ・絵 文溪堂 1300  
43P/22cm 978-4-7999-0334-6

ホカリさんは、小さなまちのゆうびんやさん。ある日、コンサートに出るといふコオロギから、招待状の配達をお願いされました。しかし招待状の宛先は、空の星で…。楽しくてあたたかい3つの小さな物語。

絵「あいぼうはどこへ？」 ジョシュ・ファンク・文/ステイヴィ・ルイス・絵 イマジネーション・プラス 1600  
P/26×26cm 978-4-909809-12-4

ニューヨーク公共図書館のライオン、フォーティテュードとペイシェンスは、毎日入り口の前で図書館を訪れる人を待っている。ある日、いなくなってしまったペイシェンスを探しに、フォーティテュードは大きな図書館の中へ…。

## < 小学校中学年 >

絵「ゾウ」 ジェニ・デスモンド/福本由紀子・訳 BL出版 1700  
41P/30cm 978-4-7764-0894-9

陸でいちばん大きな哺乳類のゾウ。何を食べているのかな？大きな耳はなんのため？長い鼻はどう使うの？野生のなかではどんなふうにいるの？ゾウのあれこれを、こどもの目で楽しく伝える。

知「巨大空港」 鎌田歩 福音館書店 1500  
30P/23×31cm 978-4-8340-8479-5

世界の空とつながる空港に、朝いちばんの飛行機がやってきました。きょうも空港の1日がはじまります。人、もの、車、そして飛行機のにぎやかな1日を描いた絵本。ターミナルを図解した約1.2mの観音開きページあり。

◎「怪談研究クラブ」 笹原留似子・作/絵 金の星社 1300  
172P/20cm 978-4-323-07447-4

クラブ員になるための資格は、こわいもの、こわい話が好きなこと！「怪談研究クラブ」を結成した小4のるい子たち。「人魂」を研究テーマに、部員たちの“暗躍”が始まる！

絵「だいすきな先生へ」 デボラ・ホプキンソン・文/ナンシー・カーペンター・絵 評論社 1400  
40P/22×27cm 978-4-566-08052-2

親愛なる先生。あなたは決して叱らなかったけど、私は困った生徒でしたよね…。今は大きくなった

女の子が、自分も「先生」として働く前日に、だいすきな先生への思いをつづる。時を経ても色あせないすてきなきずなを描く絵本。

◎「地球が危ない！プラスチックごみ①海洋プラスチック」高田秀重・WWFジャパン 汐文社 2600  
35P / 27cm 978-4-8113-2629-0

海洋プラスチックって何？／どうして海にプラスチックごみが流れ込むの？／ごみは川から海へ流れ込む細くなってもなくなるプラスチック／大きなプラスチック 小さなプラスチック／動物たちは、プラスチックをえさと間違えて食べてしまう／こんなところにもプラスチックが！／人間もプラスチックを食べている？！／家庭から流れ出るプラスチックが海を汚す／水再生センターでもとりきれないプラスチック [ほか] (目次より)

◎「ほら、ここにいるよ」 オリヴァー・ジェファーズ／tuperatupera・訳 ほるぷ出版 1600  
40P / 29cm 978-4-593-10023-1

地球のこと、世界の人々のこと、言葉のこと、過ぎていく時間のこと…。世界的絵本作家オリヴァー・ジェファーズが、この世界のすばらしさや不思議さ、生きていくために大切なことを伝えるメッセージ絵本。

絵「ライオンになるには」 エド・ヴィアー／きたむらさとし・訳 BL出版 1500  
32P / 29cm 978-4-7764-0917-5

正しい道はひとつじゃない。やさしくて詩を書くのが好きなライオンのレオナルドが、アヒルのマリアンヌと友だちになった。ほかのライオンたちは、レオナルドにライオンらしく獰猛に振る舞うように言うが…。

◎「捨て犬・未来とどうぶつのお医者さん」今西乃子・著／浜田一男・写真 岩崎書店 1300  
149P / 22cm 978-4-265-08038-0

飼い主のかあちゃんととうちゃんにかわいがられているけど、もうひとり忘れてはいけない人がいる。それは、動物病院の獣医さん、ヒロシ先生で…。捨て犬・未来の視点で、獣医の仕事や、動物たちの命と向き合う思いを伝える。

絵「チェックポ」 イ・チュニ・文／キム・ドンソン・絵／おおたけきよみ・訳 福音館書店 1500  
41P / 25×28cm 978-4-8340-8436-8

オギはおばあちゃんが縫ってくれたチェックポ(風呂敷のような布)で教科書やお弁当を包んで学校に行きます。オギはお友達の新品のかばんがうらやましくて…。暮らしのささやかな工夫や手仕事の大切さに気づかされる韓国の絵本。

## < 小学校高学年 >

◎「風を切って走りたい！夢をかなえるバリアフリー自転車」高橋うらら 金の星社 1400  
157P / 20cm 978-4-323-06096-5

子どものころから物作りが大好きだった堀田健一さん。ある偶然の出来事から、世界に一つの自転車作りが始まり…。体の不自由な人のため、40年間で2600台もの自転車を作り続けてきた堀田さんの挑戦を描く。

◎「シャイローと歩く秋」フィリス・レイノルズ・ネイラー／さくまゆみこ・訳 あすなろ書房 1400  
207P／20cm 978-4-7515-2940-9

夏の嵐を越え、ビーグル犬のシャイローは、名実ともにマーティの家族となった。幸せをかみしめるマーティだが、そこに新たな影が…。「シャイローがきた夏」の続編。

## < 中学校 >

◎「義足と歩む ルワンダに生きる日本人義肢装具士」松島恵利子 汐文社 1500  
185P／20cm 978-4-8113-2596-5

ルワンダ大虐殺によって手や足を奪われた人たちの願いをかなえ、未来へと歩む手助けをするため、義足を配付する活動を20年以上続けている日本人の義肢装具士、ルダシングワ真美。その活動を紹介する。

◎「小中学生のための初めて学ぶ著作権 新装改訂版」岡本薫 朝日学生新聞社 1300  
279P／21cm 978-4-909064-84-4

インターネットや携帯端末の出現で、著作権は一部のプロだけでなく、すべての人々に関わるものとなった。著作権とはどういうものなのかをわかりやすく解説する。クイズも掲載。

◎「夢のつかみ方 挑戦し続けるカー元宝塚トップスターが伝える」早霧せいな 河出書房新社 1350  
188P／19cm 978-4-309-61717-6

自分を信じて、あきらめないこと。それが夢をつかむ第一歩。2度の受験不合格、身長と歌のコンプレックスを乗り越え、宝塚男役トップスターに就任した早霧せいなが、夢の見つけ方、夢を叶えるための行動を綴る。

◎「北海道の大自然と野生動物の生態をモチーフに絵本創作法を語る」手島圭三郎・川嶋康男 絵本塾出版 2700  
183P／24cm 978-4-86484-150-4

板に魂を吹き込んで生み出す造形は、木版画家の魂の化身。日本を代表する木版画家にして、木版画絵本のパイオニアである手島圭三郎が、木版画絵本の真髄や秘技など、アトリエから生み出される木版画の誕生秘話を語る。

知「メダカからはじめるアクアリウム」月刊アクアライフ編集部・編 エムピージェー 1250  
143P／21cm 978-4-909701-20-6

水草や流木などを使って自然の川を再現するアクアリウム。メダカや熱帯魚等の飼育方法やその生態をマンガを交えてわかりやすく解説し、魚に合わせた水槽の選び方などを紹介する。メダカの産卵についても取り上げる。

知「ギネス世界記録2020」クレイグ・グレンディ・編 KADOKAWA 3300  
250P／28cm 978-4-04-911033-3

世界一大きな手作りシャボン玉、彫像など、あらゆる世界一が詰まっているのが『ギネス世界記録』です。今年は例年よりさらに日本版オリジナルページを拡充。オリンピック・パラリンピック関連の記録を大々的に掲載。（「近刊情報」より）

2019年11月

＜ 幼児 ＞

絵「ねことねこ」 町田尚子 こぐま社 1000  
24P / 20×22cm 978-4-7721-0244-5

黒いねこ、白いねこ、茶色いねこ…。1ぴき1ぴき全然ちがう、ねことねこ。だけど、よおーく見てみて。おなじところはどこかな？個性あふれるねこたちの「おなじところ探し」がテーマの楽しい絵本。

絵「ゾウのともだちフンパーディング」 ショーン・テイラー・作/クリア・アレクサンダー・絵 マイクロマガジン社1600  
P / 29cm 978-4-89637-892-4

人間の保育園にやってきた、大きなゾウのフンパーディング。かくれんぼは、ちょっと向いてない。すべりだいは、つぶしちゃう。だけど、みんなと遊びたい！受け入れる心をはぐくむ絵本。

絵「はたらくるまたちのクリスマス」 シェリー・ダスキーリンカー・文/A・G・フォード・絵 ひさかたチャイルド1400  
34P / 25×26cm 978-4-86549-185-2

今年最後の大事な仕事をクリスマスまでに仕上げようと、工事現場で休まずはたらくるまたち。クリスマス・イブの夜、帰り道でプレゼントを見つけ…。乗り物が大好きな子どもたちに贈る、クリスマス&「おやすみなさい」の絵本。

絵「もりのおくのクリスマスツリー」 ユーヴァル・ゾマー/石津ちひろ・訳 ほるぷ出版 1800  
32P / 32cm 978-4-593-10086-6

ぼくは、いっぽんの木。ひとりぼっちになったぼくは、ぶるぶる震えていた。夜の闇に向かって「だ、だ、だれがいる?」と呼びかけると…。森のいきものたちの声が聞こえてくる、あたたかなクリスマスのおはなし。

絵「ジムのおなかになりました」 ローレル・スナイダー・文/チャック・グリーンインク・絵 BL出版 1800  
48P / 28cm 978-4-7764-0852-9

ある朝、起きたらライオンになっていたジム。ママが焼いてくれたパンケーキよりも、ママを食べたくて…!?! ジムのとんでもない一日を描いた、奇想天外なストーリーの絵本。

絵「おたんじょうびのおくりもの」 村山桂子・作/やまわきゆりこ・絵 教育画劇 1150  
32P / 20×20cm 978-4-7746-2188-3

今日うさぎのみみーの誕生日。すっかり忘れていたぴよんぴよんは、誕生日の贈りものを考えました。あまり急なので、何もあげる物がありません。「どうしよう」と困っていると、その時、りんごが1つあったことを思い出し…。

＜ 小学校低学年 ＞

絵「とんでいったふうせんは」 ジェシー・オリベロス・文/ダナ・ウルエコッテ・絵/落合恵子・訳 絵本塾出版1500  
40P / 29cm 978-4-86484-152-8

みんなが持っている「思い出」のふうせん。ある日、おじいちゃんの手を離れてふうせんが飛んでいったのに、おじいちゃんは気づかなくて…。アルツハイマー病を発症した祖父と、優しい孫の姿を描いた絵本。

◎「ハヤクさん一家とかしこいねこ」マイケル・ローゼン・作／トニー・ロス・絵 徳間書店 1300  
114P／22cm 978-4-19-864927-2

いつも「早く早く」と慌てている、ハヤクさんちのお父さんとお母さん。今朝、寝坊したふたりは、息子のハリーを学校に送っていくのを忘れ、大急ぎで会社へ行きました。家においてけぼりになってしまったハリーを助けたのは...

絵「おおゆき」 最上一平・作／加藤休ミ すずき出版 1400  
P／27cm 978-4-7902-5389-1

ゆうきとだいきは雪国に住んでいます。今年もたくさんの雪が降りました。大みそかの朝、ゆうきたちの家の前の国道で、多くの車が動けなくなっていました。ゆうきたちも町の人たちも、困っている人たちを助けはじめ...

絵「せかいいちしあわせなクマのぬいぐるみ」サム・マクブラットニイ・文／サム・アッシャー・絵 徳間書店1600  
32P／29cm 978-4-19-864960-9

「はやくだれか、むかえにきてよ」女の子に置き忘れられてしまったクマのぬいぐるみは、何人もの子どもたちの手にわたって...。心がほんわかあたたかくなる、クリスマスにおこった小さな奇跡の物語。

絵「図書館のふしぎな時間」 福本友美子・作／たしろちさと・画 玉川大学出版部1600  
P／31cm 978-4-472-05993-3

おかあさんと国際子ども図書館へやってきたゆりかのまえに、イギリスの古い本のなかに住んでいる、「すこしはものしり」という妖精が現れ...。妖精の案内で、ふしぎな図書館めぐりがはじまります。

絵「やぎのグッドウィン」 ドン・フリーマン／こみやゆう・訳 福音館書店 1200  
35P／21×24cm 978-4-8340-8413-9

やぎのグッドウィンは、おいしいごみをくちやくちやくするのが大好き！ところが、それが思いがけない騒動を引き起こし...。著者が若いころに、じっさいに遭遇したやぎとの楽しい思い出をモチーフに描いた絵本。

絵「あおいアヒル」 リリア／前田まゆみ・訳 主婦の友社 1300  
48P／20×25cm 978-4-07-439776-1

おかあさんのいないあかちゃんワニを、大きくなるまで育てたあおいアヒル。ワニが立派になって安心していましたが、いつからか、いろんなことを忘れるようになり...。親子の役割が変わる瞬間を描き、世代を超えた愛情を伝える。

絵「ゆきのひにあえたら はっぱのしたのおんなのこ」ワン・ユーウェイ／長山さき・訳 ほるぷ出版1500  
32P／30cm 978-4-593-10053-8

絵描きのネコさんは、ある雪の降る日に、ふしぎな女の子と出会いました。女の子といっしょに暮らし始めると、家の中の植物にふしぎなことが起こり...。せつないのに、心があたたかくなる物語。

## < 小学校中学年 >

知「追跡!ごみのゆくえ 燃やすごみ」 吉田忠正・写真と文 ほるぷ出版 1900  
24P/31cm 978-4-593-58817-6

家庭から出された「燃やすごみ」はどこへ行くのか? ごみ集積所から、ごみ収集車による回収、清掃工場、焼却炉での焼却、再利用や埋立処分場へ運ばれるまでの過程を、写真とともにわかりやすく解説する。

◎「トゥートウルとふしぎな友だち真夜中の妖精」湯湯(タンタン)/平澤朋子・訳 あかね書房 1200  
90P/22cm 978-4-251-02021-5

耳が聞こえない7歳の少女トゥートウル。芝居が大好きなトゥートウルはあるお正月に、池の妖精ルールと仲良くなりますが…。中国の小さな村で紡がれるトゥートウルの物語。

◎「めっちゃ好きやねん」 新井けいこ 文研出版 1300  
119P/22cm 978-4-580-82377-8

関東から大阪へ転校した達人(たつと)。関西弁の「なんでやねん」を使うのは難しいし、言葉や会話のイントネーションも、うどんのつゆの色も違う。タイガースファンも多いし…。達人は大阪でうまくやっっていけるのか!?

◎「青いあいつがやってきた!?!」 松井ラフ 文研出版 1300  
111P/22cm 978-4-580-82387-7

「よおっ!」とつぜんぼくの目の前にあらわれた、全身青いヘンなやつ。今日一日ぼくといっしょにごす、だって!?!な、な、なんで!?(宣伝文)

知「だんだんできてくる①道路」鹿島建設株式会社・監修/イケウチリリー・絵 フレーベル館 2800  
31P/31cm 978-4-577-04804-7

おなじところから工事現場を見つめてみた。道路工事で活躍する重機などを紹介。

## < 小学校高学年 >

絵「小学館あーとぶっく⑭広重の絵本 遠くへてくてく」結城昌子 小学館 1500  
P/27cm 978-4-09-727707-1

東西を結ぶ重要な道で、53の宿場がある東海道。「おはよう」「こんにちは」など、道を行く人々へのあいさつとともに、歌川広重の名画「東海道五十三次」を紹介する。楽しみながら、アートの感性を養うシリーズ。

絵「小学館あーとぶっく⑮北斎の絵本 富士山みえたー!!」結城昌子 小学館 1500  
P/27cm 978-4-09-727708-8

大きな樽の間から見える富士山、雪をまとった富士山…。いろんな場所から見る富士山の美しい姿を描いた葛飾北斎の名画「富嶽三十六景」を、当時の人々の暮らしとともに紹介する。楽しみながら、アートの感性を養うシリーズ。

知「その道のプロに聞く生きもののワオ!」松橋利光 大和書房 1500  
127P/21cm 978-4-479-39329-0

サイのツノは毛のかたまり？ ヘビの鼻は口の中？ 生きものの保護や調査をしている人、ペットショップの店員、獣医師らその道のプロが、生きもののフシギな生態を豊富な写真とともに紹介する。

絵「きほんの木 大きくなる」 姉崎一馬・写真／姉崎エミリー・文 アリス館 1500  
48P／27cm 978-4-7520-0902-3

日本には、野山に生える野生の木が1000種類以上あります。そのなかから、ケヤキ、スギ・ヒノキ、カエデ、ブナ、カバノキなど、とくに大きくなる木10種類を取り上げ、写真とともに紹介します。

◎「もうひとつの曲り角」 岩瀬成子 講談社 1400  
252P／20cm 978-4-06-516880-6

小学5年のわたしと中1の兄は2か月前、母の理想の家へと引っ越してきた。英会話スクールが休講だったので、わたしはふと通ったことのない道へ行ってみたいくなる。ずっと先に白い花がさく家が見える路地へと入っていくと...

知「世界の鉱物・岩石・化石・貝・大図鑑」ダン・グリーン スタジオタッククリエイティブ 2700  
207P／29cm 978-4-88393-857-5

世界中の珍しい岩石や美しい鉱物、化石になった古生物、貝を写真と共に紹介。大きさがイメージしやすいよう、比較対象として子供や人間の手のイラストも掲載。「日本で発見された恐竜・古生物」「日本産の美しい鉱物」も収録。

絵「グレース・ホッパー プログラミングの女王」ローリー・ウォールマーク・文／ケイティ・ウー・絵 岩崎書店 1600  
P／28cm 978-4-265-85128-7

人生の50年以上を費やしてコンピューターの問題に取り組んだグレース。誰もがプログラミングができるようにと、人間の言葉を読み取るプログラムを作り...。プログラミングの女王、グレース・ホッパーの生涯を描いた伝記絵本。

◎「12のバレエストーリー」スザンナ・ディヴィッドソン、ケイティ・ディンズ、ミーガン・カリス、サラ・コートールド・再話／イボンヌ・ギルバート・ナノス／西本かおる・訳 小学館 2200  
255P／20cm 978-4-09-290630-3

心ときめくバレエの魔法の世界にご招待！「シンデレラ」「白鳥の湖」「ねむれる森の美女」など、バレエで上演される有名な物語12話を、美しい絵とともに収録する。

絵「プログラムすごろくアベベのぼうけんおどろきの上巻」佐藤雅彦・石澤太祥・貝塚智子 小学館 1500  
70P／26cm 978-4-09-725028-9

プログラムとして書かれた手順を楽しみながら辿っていくと、そこに物語が現れる。「プログラミング的思考」が身につく本。6つのプログラムを収録。『小学一年生』連載を加筆修正。ジャケットそでに切り取り式のしおり付き。

## < 中学校 >

◎「枕草子いとめでたし！」 天野慶・著／睦月ムンク・絵 朝日学生新聞社 1350  
167P／26cm 978-4-909064-83-7

1000年前に書かれたのにこの気持ちわかる！中学校や高校で習う古典の勉強にも役立つ！朝日中学生新聞の人気連載。(宣伝文)

◎「よくわかるがんの話①がんってどんな病気？」林和彦 保育社 3000  
79P/21cm 978-4-586-08609-2

消化器外科医、がん薬物療法医、緩和ケア医と、様々な立場から長年がんを見つめ続けてきたがん専門医の著者が、がんのあらましと、情報の入手や相談の仕方について、イラストを用いてわかりやすく解説する。

◎「よくわかるがんの話②がんの治療と生活は？」林和彦 保育社 3000  
79P/21cm 978-4-586-08610-8

消化器外科医、がん薬物療法医、緩和ケア医と、様々な立場から長年がんを見つめ続けてきたがん専門医の著者が、がんの診断・治療と生活のヒントについて、イラストを用いてわかりやすく解説する。

◎「よくわかるがんの話③がんは体のどこにできる？」林和彦 保育社 3000  
79P/21cm 978-4-586-08611-5

消化器外科医、がん薬物療法医、緩和ケア医と、様々な立場から長年がんを見つめ続けてきたがん専門医の著者が、胃がん・乳がん・白血病など、それぞれのがんについて、イラストを用いてわかりやすく解説する。

◎「日本のスゴイ科学者29人が教える発見のコツ」日本科学未来館・編著 朝日学生新聞社 1500  
135P/26cm 978-4-909064-94-3

医学から生物学、地学まで、スゴイ発見や発明をした29人の日本人科学者を取り上げ、研究の最前線を紹介。その思いや人となり伝える子ども記者のインタビューや豆知識付き。『朝日小学生新聞』連載に加筆・修正し再構成。

◎「わきだせ！いのちの水～日本伝統の上総掘り井戸をアフリカに～」たけたにちほみ フレーベル館 1500  
119P/20cm 978-4-577-04797-2

日本が誇る伝統の「上総掘り井戸」を応用し、開発途上国・難民キャンプにきれいでおいしい水を！現地の人びとへの指導に力を注ぎ、持続可能な国際支援を目指した大野篤志さんの実践を伝えるとともに、多様な生き方を考える。

◎「フラミンゴボーイ」 マイケル・モーバーゴ/杉田七重・訳 小学館 1500  
301P/19cm 978-4-09-290627-3

ナチスが侵攻してきたフランスで、何が起きたのか。フランスの南部、フラミンゴの生息地カマルグを舞台にした、フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年とロマの少女の切ないけれど優しい物語。

◎「マンボウは上を向いてねむるのか マンボウ博士の水族館レポート」澤井悦郎 ポプラ社 1400  
205P/20cm 978-4-591-16351-1

2017年、マンボウが世界に3種いることを海外の共同研究者とともに突き止めた「マンボウ博士」の著者。次の研究の舞台に選んだのは水族館!? マンボウの本当の姿を追い求める水族館レポート。

◎「先生、ウンチとれました 野生動物のウンチの中にある秘密」牛田一成 さ・え・ら書房 1400  
158P/20cm 978-4-378-03920-6

アフリカ奥地の森でゴリラに怒られ、ゾウに追いかけても、ただひたすら探し求めるものは…。腸の中にある細菌から動物の生命の秘密に迫る、動物のウンチ博士=腸内細菌学者によるワイルドでアカデミックなウンチ本。

◎「PEACE AND ME わたしの平和 ノーベル平和賞12人の生きかた」アリ・ウインター・文/ミカエル・エル・ファティ・絵  
かもがわ出版 2000  
37P/27cm 978-4-7803-1051-1

自由で平等な社会、個人の尊厳が尊重される社会を実現するために。ジャン・アンリ・デュナン、キング牧師など、ノーベル平和賞受賞者12人を取り上げ、それぞれの生き方や平和への思いを紹介する。

◎「お札に描かれる偉人たち 渋沢栄一・津田梅子・北見栄三郎」楠木誠一郎 講談社 1400  
205P/20cm 978-4-06-517030-4

2024年(令和6年)に変わるお札の肖像画のモデルとなる渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎は、いつの時代に何をした人たちなのか。その偉大な足跡が、今日の日本にとってどれだけの意味をもっているのか。3人の人生を辿る。

◎「生き抜くチカラ 物がキミに伝えない50のことば」為末大・著/まつおかたかこ・絵 日本図書センター 1300  
125P/19cm 978-4-284-20453-8

「走りながら考える。正解を求めすぎない」「努力」は「夢中」に勝てない」…。元陸上選手の為末大が、「どうすれば人は、自由に、しなやかに生きていけるのか」を、等身大のことばで子どもたちに伝える。

◎「きつねの橋」 久保田香里・作/佐竹美保・絵 偕成社 1400  
213P/22cm 978-4-03-540560-3

少年時代の藤原道長の護衛をしたり、盗賊・袴垂討伐に加わったり、不遇な齋院の姫を助けたり…。平安時代、京の都。源頼光の郎党・平貞道が、妖怪きつねの葉月と活躍する物語。

## < 高等学校 >

◎「イチから分かる北方領土」 北海道新聞社・編著 北海道新聞社 800  
126P/21cm 978-4-89453-951-8

日ロ間に初めて国境が画定した1855年以降の北方領土の歴史を、5つの時期に分けて検証。ほか、色丹島のルポ、道内と北方領土それぞれの地域での世論調査、北方領土問題に関する過去の主な条約や国際合意などを収録する。

◎「線は、僕を描く」 砥上裕将 講談社 1500  
317P/19cm 978-4-06-513759-8

両親を事故で失い、喪失感の中にあった大学生の霜介は、バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出逢った。なぜか湖山に気に入られた彼はその場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛は、それに反発し

…。

◎「祝祭と予感」 恩田陸 幻冬舎 1200  
186P/20cm 978-4-344-03490-7

「蜜蜂と遠雷」のスピノフ短編小説集。ピアノコンクールの審査員ナサニエルと三枝子の若き日の衝撃的な出会いとその後を描いた「獅子と芍薬」など、全6編を収録する。『小説幻冬』ほか掲載を単行本化。

◎「我々は生命を創れるのか」 藤崎慎吾 講談社 1100  
318P/18cm 978-4-06-516778-6

研究室で試作される「生」と「死」。最先端の合成生物学者や宇宙生物学者たちに連続取材し、「いのち」の本質を問う。キッチンでできる人工細胞のレシピ付き。講談社ブルーバック公式ウェブサイト掲載に書き下ろしを追加。

◎「キリン解剖記」 郡司芽久 ナツメ社 1200  
215P/19cm 978-4-8163-6679-6

キリンが亡くなりました。クリスマスも正月も、訃報で予定をキャンセルし…。これまでに30頭のキリンを解剖し、「8番目の“首の骨”」を見つけた著者が、キリンとの出会い、探求、発見の日々を綴る。

◎「土を贖う」 河崎秋子 集英社 1650  
253P/20cm 978-4-08-771200-1

全く無くなるわけではない。形を変えて、また生きられる。養蚕、ミンクの養殖、ハッカ栽培など、北海道で一度は栄えるも衰退した産業に携わる人間たちを峻烈に描いた短編集。『小説すばる』掲載を加筆・修正し単行本化。

2019年12月

### < 幼児 >

絵「かなしみがやってきたらきみは」 エヴァ・イーランド/いとうひろみ・訳 ほるぷ出版 1500  
25P/25cm 978-4-593-10061-3

かなしみは突然、くることがあるよ。でもね、かなしみを怖がらなくてもいいんだって、そう思ったらどうかな...? 「かなしみ」という感情とのつきあいかたを、よりそいながら、あたたかいまなざしで描く絵本。

絵「きょうりゅうたちもペットをかいたい」 ジェイン・ヨーレン・文/マーク・ティグ・絵 小峰書店 1500  
32P/31cm 978-4-338-12656-4

うちもペットを飼おうかと、お父さんとお母さんが言った。さあ、きょうりゅうたちはなにを飼う? 動物園でペットさがし!? 子どもたちをきょうりゅうになぞらえ、愛情たっぷりに描いた絵本。

絵「わたしのわごむはわたさない」 ヨシタケシンスケ PHP研究所 1000  
48P/17×17cm 978-4-569-78900-2

このわごむはわたしがもらったの。わたしのものなの。わたしがすきにしているのよ? すごくない? だれにもあげたりできないわ。だってこれはわたしのたからものなんだから...。ヨシタケシンスケのユーモア絵本。

絵「ひとりぼっちのモンスター」 アンナ・ケンプ・作／サラ・オギルヴィー・絵 フレーベル館 1400  
32P／27×27cm 978-4-577-04790-3

パーシバルに野菜をぶつけられた、デイブじいちゃん。「モンスターだって、いやなことをされたら悲しいんだぞ」と言う...。ロックを愛するおじいちゃんモンスターと勇敢なちびっこ騎士による、ラブ&ピースなストーリー。

絵「うさぎのみみしばり」 浜田広介・作／バーサンスレン・ボロルマー・絵 鈴木出版 1400  
P／27cm 978-4-7902-5391-4

町のとこやにやってきた、ちょっぴり緊張ぎみの山のうさぎ。はさみの音になると、耳がぴくぴく動いてとまりません。そこでうさぎは...。うさぎがとった思いがけない解決方法に、ほっと心なむ物語。

絵「おとうさんのこわいはなし」 かとうまふみ 岩崎書店 1400  
P28cm 978-4-265-08167-7

おとうさんのこわいはなしは、こわいけどすごくおもしろい！ おもしろいけど、やっぱり...こわい。ひとりじゃ聞けないから、3人で手をつないで「おとうさん！こわいはなしして！」と言うの。作者の実体験を元にした絵本。

絵「みーんなだいっキライ」 ナオミ・ダニス・文／シタ・アリーバス・絵／ダイラクサトミ・訳 文化局出版 1600  
32P／30cm 978-4-579-40469-8

今日は女の子の誕生日。だけど「ハッピーバースデーなんかうたわないで！」って言って...。「みんなキライだけど、あたしのことはスキっておもってほしい」という女の子の複雑で気まぐれな感情がそのまま描かれている絵本。

絵「へっこきへのた」 荻田澄子・文／つちだのぶこ・絵 文溪堂 1300  
32P／24cm 978-4-7999-0234-9

どんどろ島の悪い妖怪たちを退治するため、へのたは仲間たちと島に向かいます。島に着いたへのたたちは、イモ、栗、柿を食べて悪い妖怪たちのすみかへ...。放屁で妖怪たちを退治するという「神農絵巻」をベースにした絵本。

絵「おばけのジョージーこまどりをたすける」 ロバート・ブライト／こみやゆう・訳 好学社 1400  
P／21×21cm 978-4-7690-2242-8

ホイッティカーさんの家の屋根裏に住んでいるやさしいおばけのジョージー。ある春の日、こまどりが細い木の枝に巣を作り、卵を産んだのを見かけました。もし巣が落ちたら、ホイッティカーさんの帽子で受け止めようと考え...

## < 小学校低学年 >

◎「きみひろくん」 いたうみく・作／中田いくみ・絵 くもん出版 1100  
77P／22cm 978-4-7743-2876-8

スポーツも勉強もできて、みんなから好かれるきみひろくん。だけどきみひろくんには「ぼくにだけうそをつく」という、ちょっと困ったところがあって...。「友だち」や「家族」について考えるきっかけとなる物語。

◎「まじよのむすめ ワンナ・ビー」竹下文子・作／種村有希子・絵 偕成社 1300  
48P／22cm 978-4-03-313780-3

父さんは、魔法使い。母さんは、魔女。ふたりのあいだで育ったワンナ・ビーは、魔法の勉強が苦手でした。先生は、父さんと母さんをよんで「残念ですが、おたくのお嬢さんは、魔女には向いていないようです」と言い...

絵「ながーい5ふんみじかい5ふん」リズ・ガートン・スキャンロン、オードリー・ヴァーニック・文  
／オリヴィエ・タレック・絵／木坂涼・訳 光村教育図書 1400  
32P／24×24cm 978-4-89572-246-9

順番待ちの5分は長いけど、絶叫マシンの5分は一瞬。感じる時間の長さは、時計の時間と全然違う！5分は長い？ 短い？ 時間のおもしろさにふれる絵本。

◎「やまねこのこんにちは」 はせがわさとみ あかね書房 1200  
60P／21cm 978-4-251-01106-0

森の奥の小さな家にひっこしてきたやまねこ。ご近所さんにあいさつに行こうとすると、動物たちが自分のうわさをしているのを聞いてしまい...。森のなかまたちの、無邪気でやさしいやりとりが楽しい物語。

◎「カラスてんぐのジェットくん」 富安陽子・作／植垣歩子・絵 理論社 1300  
63P／21cm 978-4-652-20349-1

くちばしを持ち、飛ぶことのできる、カラスてんぐの男の子ジェットくん。ジェットくんの朝のごはんは、谷にわく霧です。朝ごはんを食べたら、大てんぐ先生の待つ学校へ出発し...。『おはなしひかりのくに』掲載に加筆。

絵「あいうえあそぼうとしょかんで」 草谷桂子・作／スギナマカナヨ・絵 子どもの未来社 1500  
36P／27cm 978-4-86412-160-6

「ただですよ ほんをよむのも かりるのも」「とどいたよ よそのまちから かりたほん」 カルタ形式の絵本で、図書館の魅力をまるごと伝えます。絵をコピーして、カルタとして使うこともできます。

◎「はるかちゃんが、手をあげた」 服部千春・作／さとうあや・絵 童心社 1000  
62P／21cm 978-4-494-02058-4

2年2組のほとんどの人は、まだ、はるかの声をきいたことがありません。はるかは、しゃべれないわけではありません。うちでは、だれとだってちゃんとしゃべれます。でも、学校で話すのは、こわくて、すぐはるかしくて...

絵「まちがいまちにようこそ」 斉藤倫、うきまる・作／及川賢治・絵 小峰書店 1400  
32P／27cm 978-4-338-26135-7

今日はお引っこし。これから、「まちがいまち」ってところで暮らすんだ。町には“あなばたけ”があったり、人々が“へいたいでんわ”を使っていたりして...。あたらしい、ことばあそび絵本。



絵「かがみとチコリ」 角野栄子・文／及川賢治・絵 講談社 1500  
32P／23cm 978-4-06-517215-5

築105年になる家の広間には、壁いっぱいの大きな鏡があります。その家に越してきたわかい夫婦の間に、チコリという名前のあかちゃんが生まれました。鏡はチコリが成長し、恋をし、大人になるまでを見守り...

### < 小学校高学年 >

◎「命のものさし」 今西乃子・著／浜田一男・写真 合同出版 1500  
174P／22cm 978-4-7726-1399-6

殺処分される命、食べられる命、動物園に展示される命...。動物の命の「光」と「影」に向き合い続けた公務員獣医師の目を通して、命の役割とは、命の尊厳とは何かを問うノンフィクション。殺処分された動物の写真等あり。

知「科学のふしぎ」 海部陽介、影森徹、島田達生、田近英一、渡部潤一・監修 講談社 2000  
191P／27cm 978-4-06-514861-7

NHKのスペシャル映像を豊富に使った、MOVEオリジナルDVDつき。迫力のある写真と精密なイラスト!「おどろき」で科学に興味を持つ!インターネットで、最新情報をアップデート!(宣伝文)

絵「絵本江戸のたび」 太田大輔 講談社 1600  
34P／25×26cm 978-4-06-517570-5

江戸時代の旅に出かけよう!朝の日本橋、箱根の関所、宇治橋と参道...。江戸のまちから伊勢神宮まで、昔の人の旅の様子を描いた「江戸絵本」。さがしもの絵本としても楽しめる。ジャケット裏に絵さがしの答えあり。

◎「図書館からの冒険」 岡田淳 偕成社 1500  
300P／22cm 978-4-03-540570-2

柴野崎小学校の図書館から涉がワープしたのは、地震と嵐で荒れはてた、シバノザキ島という不思議な島だった。涉はそこで父親をさがす少女サキと出会い、ふたりは島を救おうと動き出す。長編ファンタジー。

知「海は地球のたからもの①海は病気にかかっている」 保坂直紀 ゆまに書房 2500  
43P／27cm 978-4-8433-5567-1

海の役割や仕組み、汚染問題などを豊富なカラー図版でやさしく解説。重要項目や発展的な内容はコラムで詳しく説明する。1は、プラスチックごみ問題、温暖化、酸性化を取り上げる。

◎「森の診療所ものがたり カモの子がやってきた」 竹田津実 偕成社 1200  
154P／19cm 978-4-03-635520-4

市街地の家畜診療所の獣医師をしながら、ときどき自然の中の病んだ生きものの脈をとる仁科源二郎。ある日子どもたちが、ふ化してまもないカルガモのヒナを4羽連れてきて...



新しく越してきたシカゴの町で、大きな図書館をみつけたラングストン。そこで、自分と同じ名前の詩人が書いた本と出会い…。読書の喜びを通じて、小さな自信と生きる勇気を手に入れていく少年の物語。

◎「明日をさがす旅 故郷を追われた子どもたち」アラン・グラッツ／さくまゆみこ・訳 福音館書店 2200  
413P／21cm 978-4-8340-8385-9

1939年のドイツ、1994年のキューバ、2015年のシリア。それぞれの故郷を追われて旅立った3人の子どもたちの運命は、時を超えて、思わぬところで結びつくことに…。歴史的事実を踏まえた物語。

◎「故郷の味は海をこえて『難民』として日本に生きる」安田菜津紀 ポプラ社 1400  
231P／20cm 978-4-591-16420-4

彼らはなぜ、国を離れなくてはならなかったのか。日本に暮らす難民が、故郷の料理をふるまいながら語ってくれたことを紹介。彼らのたどってきた道のりをひもとく。Q&Aも収録。ウェブサイト『論座』連載を加筆し書籍化。

◎「未来の授業 私たちのSDGs探究BOOK」佐藤真久・監修 宣伝会議 1800  
125P／26cm 978-4-88335-475-7

2030年に向けて、世界の解決すべき課題を17にまとめた全世界共通の目標「SDGs」への関心と本質的な理解を促し、SDGsと日本の社会課題等を取り上げた書。探究活動を促す教材として小中高の授業で活用できる。

◎「星くずクライミング」 榎崎茜・作／杉山巧・画 くもん出版 1300  
261P／20cm 978-4-7743-3027-3

小学4年生でスポーツクライミングに出会い、練習を重ねてきた中学1年生のあかり。だがスランプに陥り、やめようと考えていた。そんなあかりが、目の不自由な人たちのスポーツクライミング、パラクライミングを知って…。

◎「この海を越えればわたしは」 ローレン・ウォーク／中井はるの、中井川玲子・訳 さえら書房 1800  
381P／20cm 978-4-378-01527-9

生まれてすぐ海へ流され、流れついた小島で育てられた少女クロウ。島民はクロウがハンセン病の療養所があったペニキース島から来たのではと疑っていた。12歳になったクロウは自分が何者かを知るため海を越える決心をする。

◎「アドリブ」 佐藤まどか あすなろ書房 1400  
239P／20cm 978-4-7515-2942-3

フルートとの電撃的な出会いから5年。天性の才能を認められ、難関の国立音楽院に入学したユージだが、クラシック音楽界の厳しさを目の当たりにし…。イタリア、トスカーナの小さな町に暮らす少年の青春音楽小説。

## あとがき ～ハミングバード・ブックシェルフ四条烏丸店に行つて～

札幌市学校図書館協議会 会長 富田 明好

(札幌市立清田中学校長)

この冬、京都へ行った時に、子どもの成長に寄与する素晴らしい本屋に出会った。その店の名は「ハミングバード・ブックシェルフ四条烏丸店」である。

「ラクエ四条烏丸」ビルの2階に行くと、ホールのテーブルに木製のシンプルな箱型本棚が置いてあった。文庫本が数冊入るものや四六判が数冊入るものなど、サイズ違いがある。Box shelf と名付けられている。ホールから店内をのぞくと、かなりの数の本が陳列されている。

店頭の看板には店主 柴田一哉氏の言葉があった。「0歳から15歳までの、読書の基礎体力をつけていくための選書。子どものいる親が読むための本をシーン毎に集めた選書。それらを販売しつつ、厳選された本棚そのものを提案したいと思います」。店内の本を見ると、是非子どもや保護者に読んでほしいと思う本が、新刊の本とともにそこそこにある。子育てに対するポリシーがある。この本屋はすごい。お店のスタッフに伺うと、スタッフお二人で選書をしているそうだ。自分が読んだ本で良いと思ったものを置いているとのこと。札幌市の学校図書館の選書も年々、充実度が高まっている。北海道学校図書館協会や札幌市学校図書館協議会で行っている推薦図書選定のメンバーや公立中学校に配置された学校図書館司書や各校の司書教諭の力が大きい。学校図書館にとっても本屋にとっても選書は心臓部である。人の力はやはり絶大だ。

また、紹介看板には、「子どもたちが自然に本を読むようになるためには」と題して、「家の中のいつでもアクセスできる場所に、自分の本が置いてあるということ、(中略) 親も子も、家の中に本の居場所が定まっているということが重要なのではないのでしょうか(一部を抜粋)と書いてある。この店は暮らしのあらゆる所に本がある生活をつくるための本棚屋なのだ。小さな木箱にも数冊本を入れると、それはもう素敵な本棚になる。そして様々なところに置ける。これはいい。学校では、朝読書の本を机や鞆の中に児童生徒は片付けている。一人一人のBox shelfを教室の棚に並べた本棚をつくってみたい。その日の気分によって本を読み分けたりすることができる。級友が読んでいる本の背表紙を見て、話をするのも楽しい。Box shelfは5面が板でできているので、置き方によっては、本が日焼けしにくい。

店内の本箱の多くは、壁面に階段状に組み上げられている。そこを幼児が登っていき、本を選び取る。実に楽しそうだ。幼稚園などにあるといいのではないか。

テーマ展示は、ホールに「果物と野菜」、店内に「新年・遊び」であった。テーマをどれ位の期間で替えていくのか尋ねた。本がある程度売れると随時替えていくそうだ。「随時」という発想が私にはなかった。季節ごととか月ごとというように計画的に行うことを考えていた。柔軟に考えてもいいのだ。どんどん替わるのも楽しいものだろう。

本棚ごとに書かれている選書のテーマは、例えば保護者向けだと「家族と生きていく」「自分一人の部屋」「プレジャー」など、示唆に富む言葉であった。

子どもたちが本に触れる学校図書館や読書環境などをよりよくする工夫はまだまだあるということ。「ハミングバード・ブックシェルフ四条烏丸店」は教えてくれた。これからも様々な場面で、人と人がつながりながら多くのことを学び、子どもと本を結ぶ学校図書館の充実を進めていきたい。



最後になりましたが、今年度も札幌市教育委員会をはじめ関係諸機関、諸団体の皆様に多大なる御支援と御協力をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

発行年月日 令和2年 3月31日

編集者 札幌市学校図書館協議会 事務局

発行者 札幌市学校図書館協議会

印刷・製本 (株)福祉印刷